

平成30年度

市民まちづくりアンケート

【集計結果】

まちづくりにあなたのご意見を

平成30年8月

帯広市

(政策推進部企画課)

目次

① アンケートの概要	1
② アンケート回答者の属性	2
○あなたの性別は？ ○あなたの年齢は？	2
○あなたの職業は？ ○あなたの居住年数は？	3
○お住まいの地区	4
③ 住みごころ	5
○帯広市の住みごころは？	5
④ 定住意識	7
○これからも帯広市に住み続けたい？	7
○住み続けたい理由は？	9
○移りたい地域は？	10
○移りたい理由は？	11
⑤ まちづくりに対する市民実感	12
○市民実感度順位	14
○市民実感度	16
⑥ 自由記述意見（まちづくりに対する意見・提案）	66
参考資料 市民まちづくりアンケート票	67
○市民まちづくりアンケート A票	68
○市民まちづくりアンケート B票	80
○市民まちづくりアンケート C票	92

1

アンケートの概要

◇目的

このアンケートは、帯広市の住みごこちやまちづくりについて、市民の皆様が「どのような実感をお持ちなのか」などを調査するために実施しています。
アンケート結果は、第六期帯広市総合計画を効果的・効率的にすすめるための政策・施策評価や市の仕事を効率的に行うための重要な情報として活用します。

◇内容

このアンケートは、次の2区分について実施しました。
(1) 帯広市の住みごこち・定住意識について・・・(問1～9)
(2) 市民実感について・・・(問10～26) ※
※市民実感についての設問は、調査票をA票、B票、C票の3つに分けて実施しています。

- ◇対象地域 帯広市内
- ◇対象者 満20歳以上の帯広市民
- ◇標本数 4,500人
※市民実感についての設問は、A票～C票それぞれ1,500人
- ◇標本抽出方法 無作為抽出
- ◇調査方法 郵便による発送・回収
- ◇調査時期 平成30年4月20日(金)～5月15日(火)

◇回収結果

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H30年度	4,500	4,500	2,176	48.4
(A票)	(1,500)	(1,500)	(759)	(50.6)
(B票)	(1,500)	(1,500)	(727)	(48.5)
(C票)	(1,500)	(1,500)	(690)	(46.0)

【年次推移】

	発送数	有効発送数	回収数	回収率(%)
H29年度	4,500	4,500	2,308	51.3
H28年度	4,500	4,500	2,369	52.6
H27年度	3,000	3,000	1,559	52.0
H26年度	3,000	3,000	1,534	51.1
H25年度	3,000	3,000	1,404	46.8
H24年度	3,000	3,000	1,375	45.8
H23年度	3,000	3,000	1,374	45.8
H22年度	3,000	3,000	1,349	45.0

◇アンケートの精度

本調査の回収数は、2,176件(A票759件、B票727件、C票690件)で、信頼度95%・標本誤差を5%とした場合の統計学上の必要標本数384件を上回り、本調査から得られた分析結果は、帯広市全体としての意見を推定するために、十分な精度を得ています。

【必要サンプル数の算出式】

$$n \geq N \div [(e \div 1.96)^2 \times (N - 1) \times 4] + 1$$

N = 母集団の数(調査対象者数)(=139,617人:平成30年3月31日現在の20歳以上人口)

e = 標本誤差(=0.05)

n = 必要標本数

(※ 1.96は上記の信頼係数と標本誤差を設定した場合に用いる統計上の定数)

計算の結果、 $n \geq 383.1086 \dots$ となり、必要サンプル数は384となります。

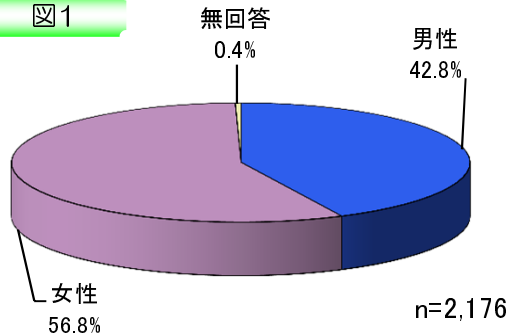
2

アンケート回答者の属性

◆小数点以下第2位を四捨五入しているため、数値の合計が100.0%にならない場合があります。
 ◆回答数を(n=)で表示しています。

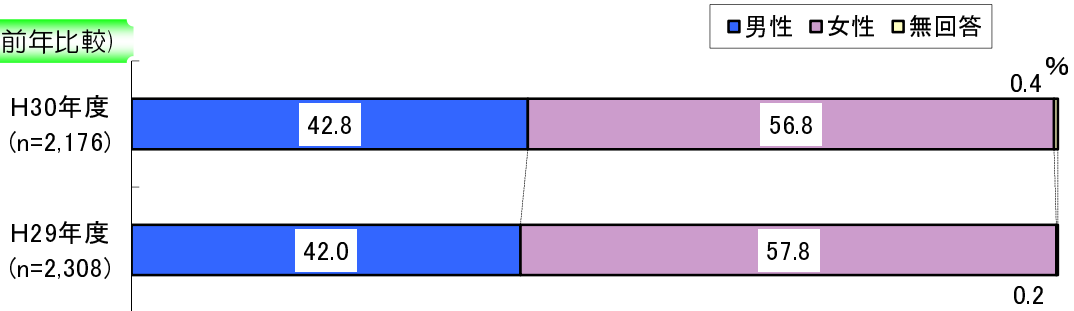
問1 あなたの性別は？

図1



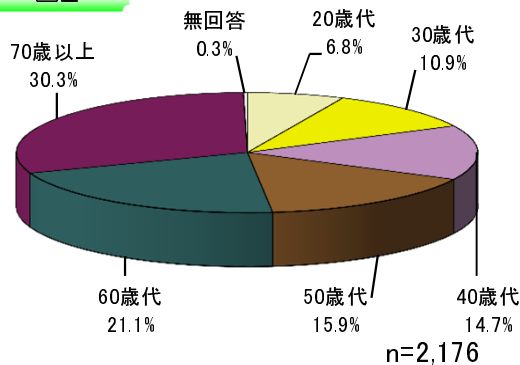
性別では、
 [男性] 42.8% (931人)、
 [女性] 56.8% (1,236人)、
 [無回答] 0.4% (9人)となり、
 [女性]の割合が高くなっています。
 (図1)

参考(前年比較)



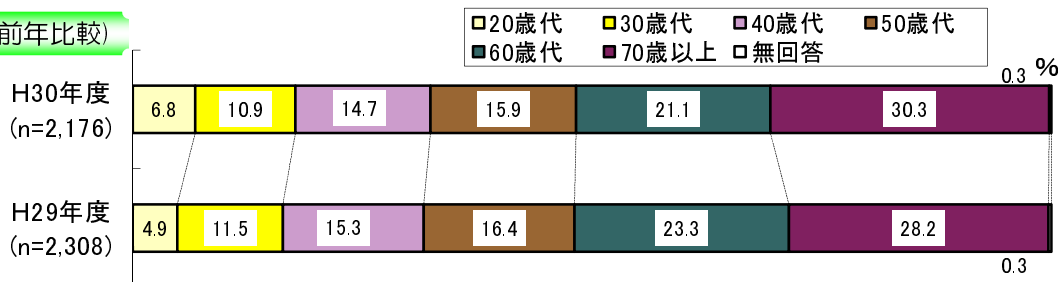
問2 あなたの年齢は？

図2



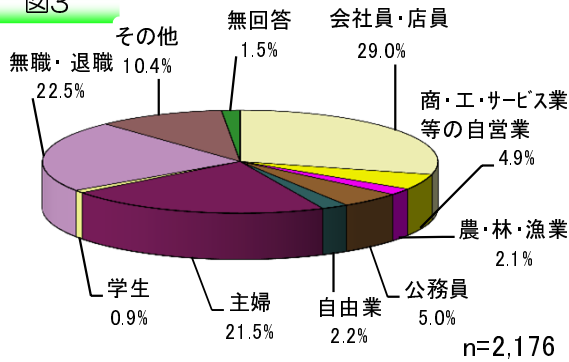
年齢別では、
 [20歳代] 6.8% (148人)、
 [30歳代] 10.9% (237人)、
 [40歳代] 14.7% (320人)、
 [50歳代] 15.9% (345人)、
 [60歳代] 21.1% (460人)、
 [70歳以上] 30.3% (660人)、
 [無回答] 0.3% (6人)となり、
 年代が上がるにつれて割合が高くなっています。(図2)

参考(前年比較)



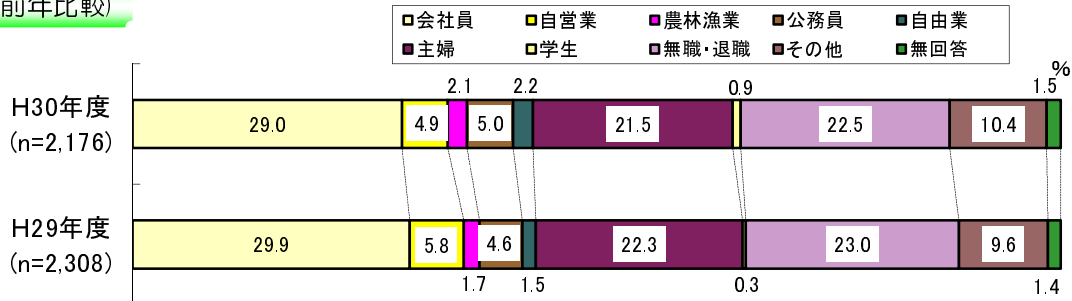
問3 あなたの職業は？

図3



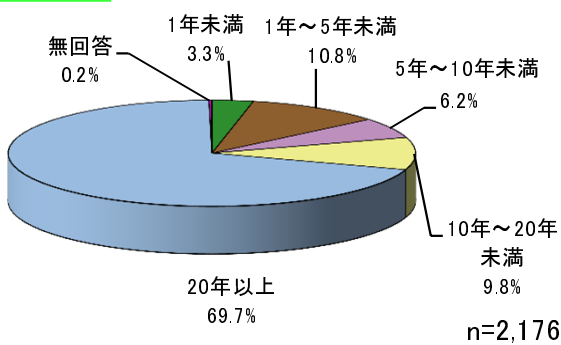
職業別では、
 [会社員・店員] 29.0% (632人)、
 [商・工・サービス業等の自営業] 4.9% (107人)、
 [農・林・漁業] 2.1% (45人)、
 [公務員] 5.0% (108人)、
 [自由業] 2.2% (47人)、
 [主婦] 21.5% (468人)、
 [学生] 0.9% (19人)、
 [無職・退職] 22.5% (490人)、
 [その他] 10.4% (227人)、
 [無回答] 1.5% (33人)となり、
 [会社員・店員]、[主婦]、[無職・退職]が多くなっています。(図3)

参考(前年比較)



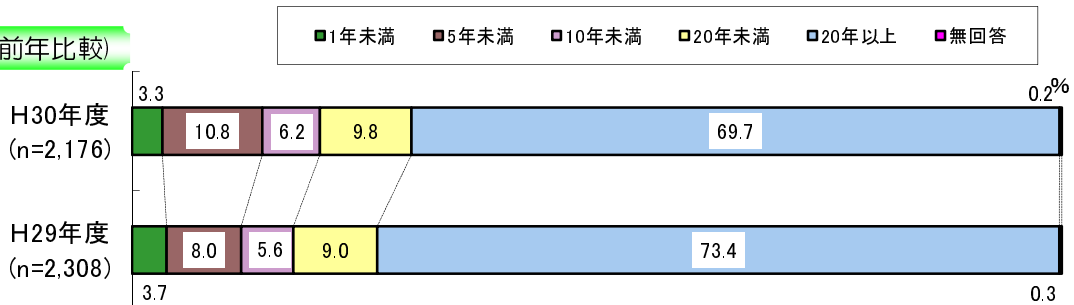
問4 あなたの居住年数は？

図4



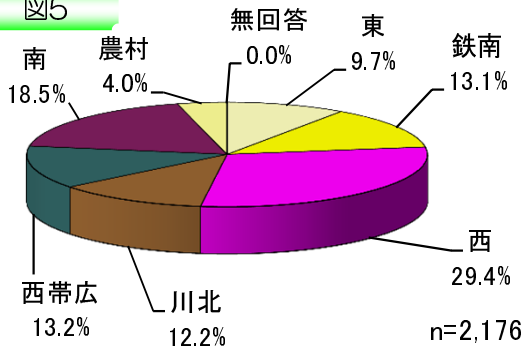
居住年数別では、
 [1年未満] 3.3% (71人)、
 [1年～5年未満] 10.8% (234人)、
 [5年～10年未満] 6.2% (135人)、
 [10年～20年未満] 9.8% (214人)、
 [20年以上] 69.7% (1,517人)、
 [無回答] 0.2% (5人)となり、
 [20年以上]が、全体の約7割を占めています。(図4)

参考(前年比較)



お住まいの地区

図5

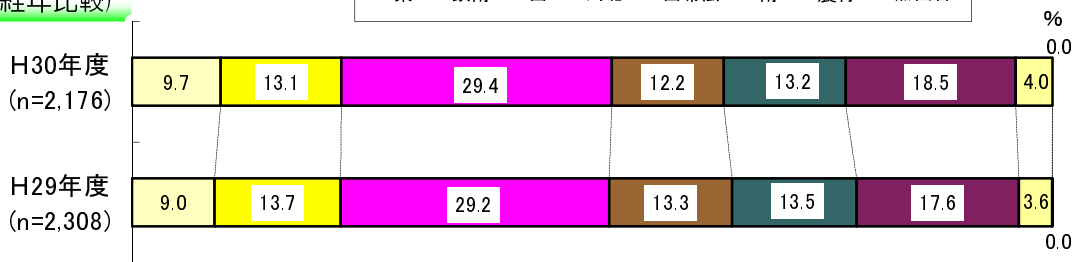


地区別では、

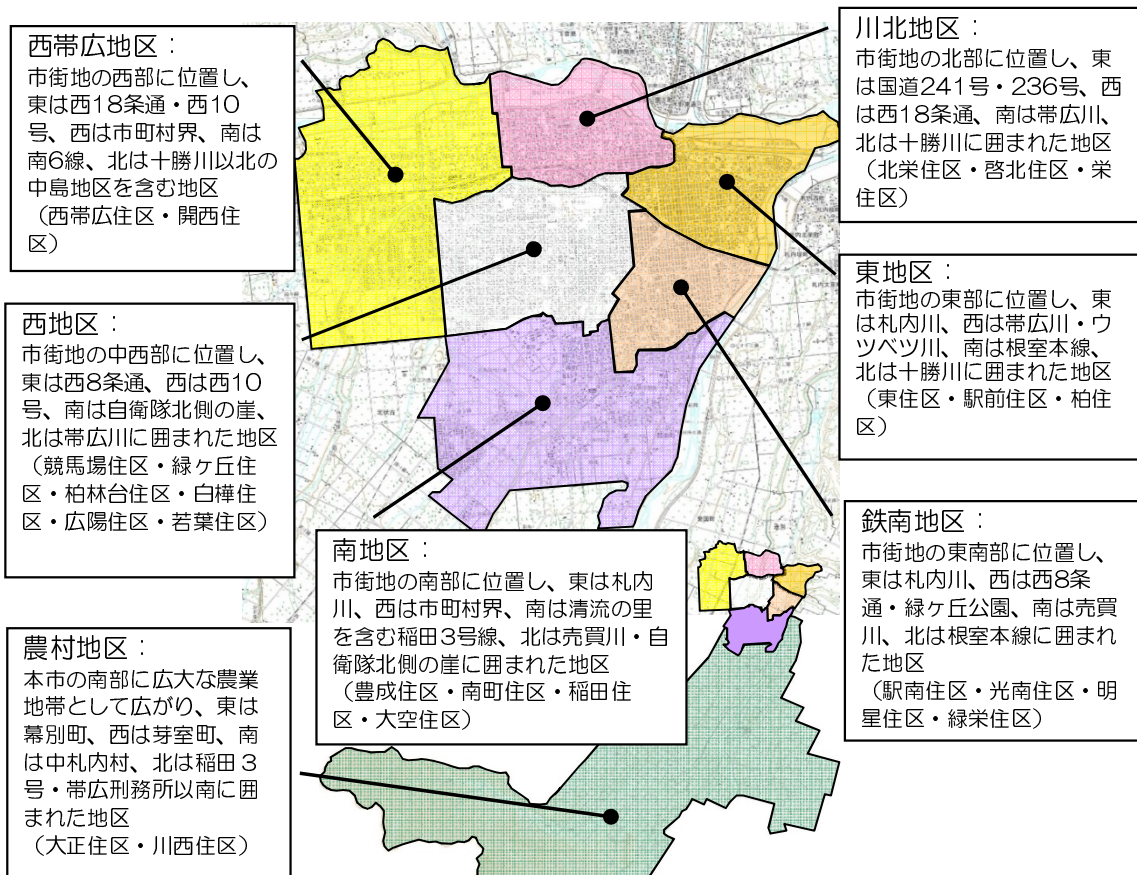
[東]	9.7%	(210人)
[鉄南]	13.1%	(285人)
[西]	29.4%	(639人)
[川北]	12.2%	(265人)
[西帯広]	13.2%	(288人)
[南]	18.5%	(402人)
[農村]	4.0%	(87人)
[無回答]	0.0%	(0人)

(図5)

参考(経年比較)



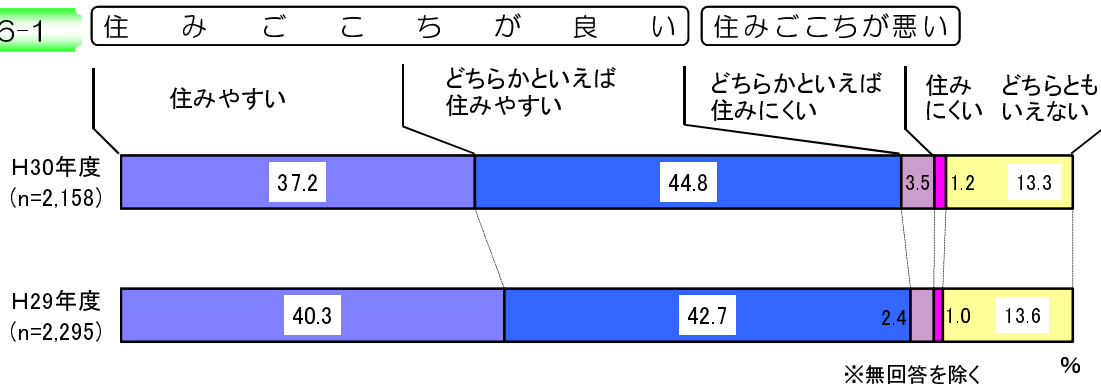
◆帯広市では下図のとおり7つの地区を設定しています。



問5 帯広市の住みごこちは？

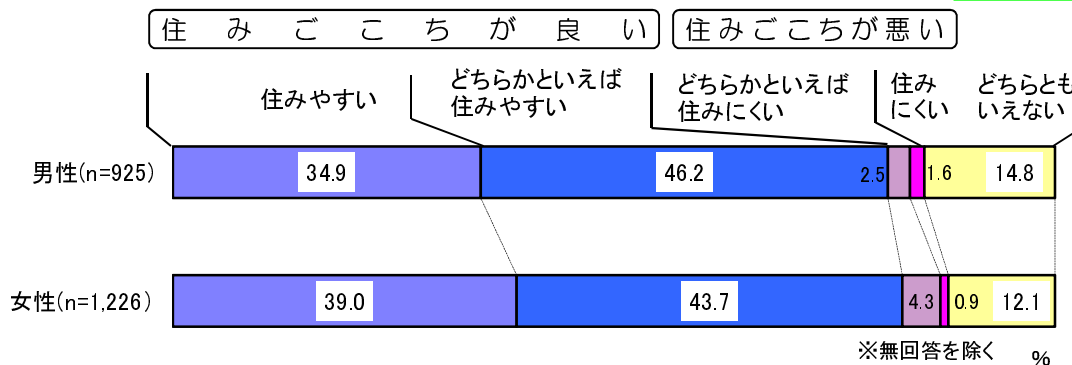
- 「住みやすい」と「どちらかといえば住みやすい」を合わせた、“住みごこちが良い”とした人の割合は、昨年度より1.0ポイント減少し、82.0%（1,769人）となっています。
なお、「どちらかといえば住みにくい」と「住みにくい」を合わせた、“住みごこちが悪い”とした割合は、4.7%（102人）となっています。（図6-1）
- 男女別で“住みごこちが良い”とした割合は、[男性]81.1%、[女性]82.7%となっており、[女性]の割合が若干高くなっています。（図6-2）
- 地区別で“住みごこちが良い”とした割合は、[農村地区]85.0%、[西地区]84.2%が、他の地区と比べて若干高くなっています。（図6-3）
- 年代別で“住みごこちが良い”とした割合は、年代が上がるにつれて“住みごこちが良い”とする割合が高くなる傾向にあります。（図6-4）
- 居住年数別で“住みごこちが良い”とした割合は、[20年以上]84.4%と、最も高くなっています。居住年数が長くなるほど、“住みごこちが良い”とした割合が高くなる傾向があります。（図6-5）

図6-1



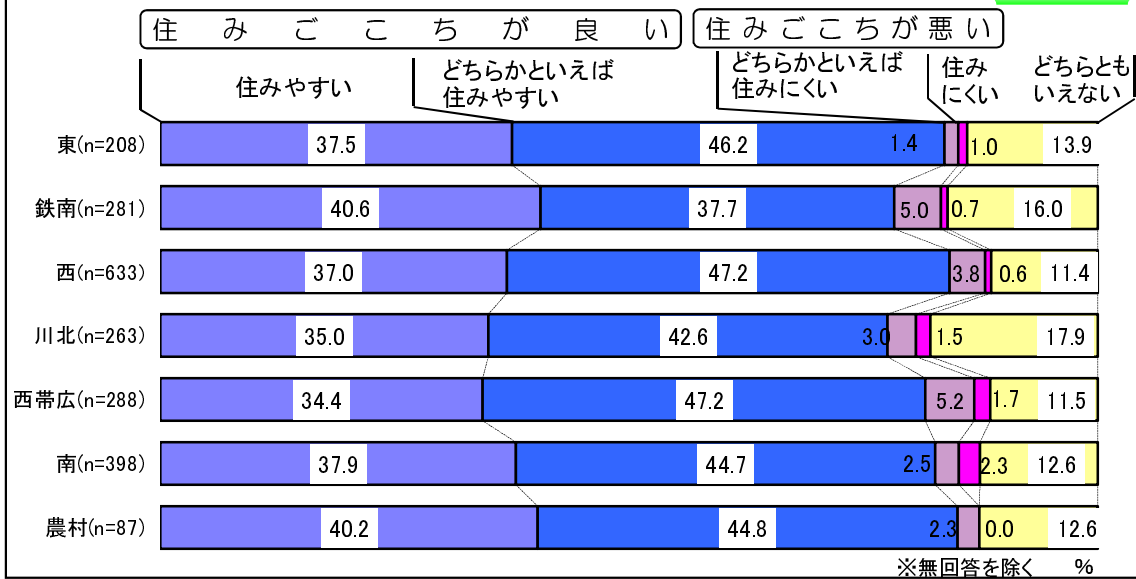
○ 男女別で比較 ○

図6-2



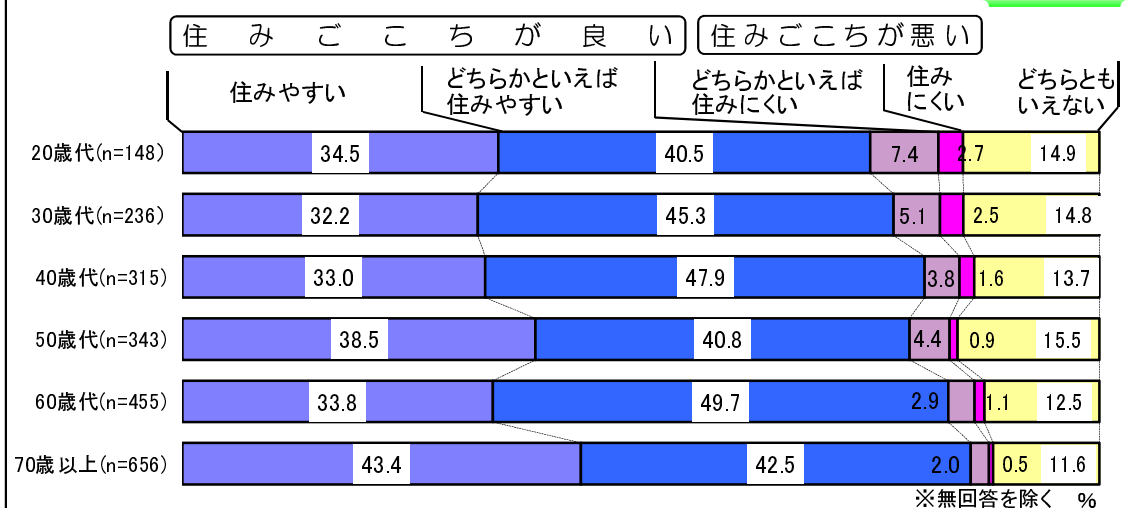
○ 地区別で比較 ○

図6-3



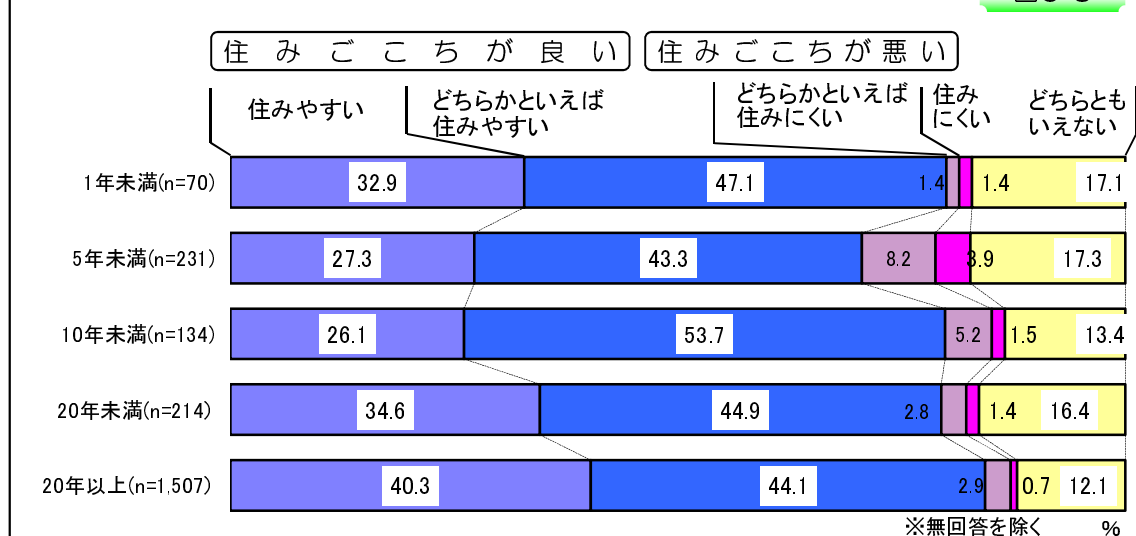
○ 年代別で比較 ○

図6-4



○ 居住年数別で比較 ○

図6-5

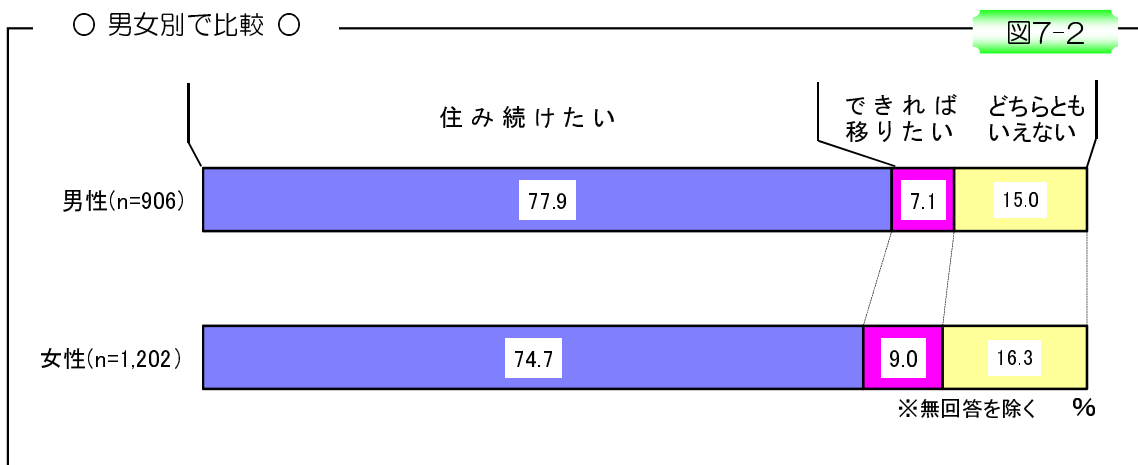
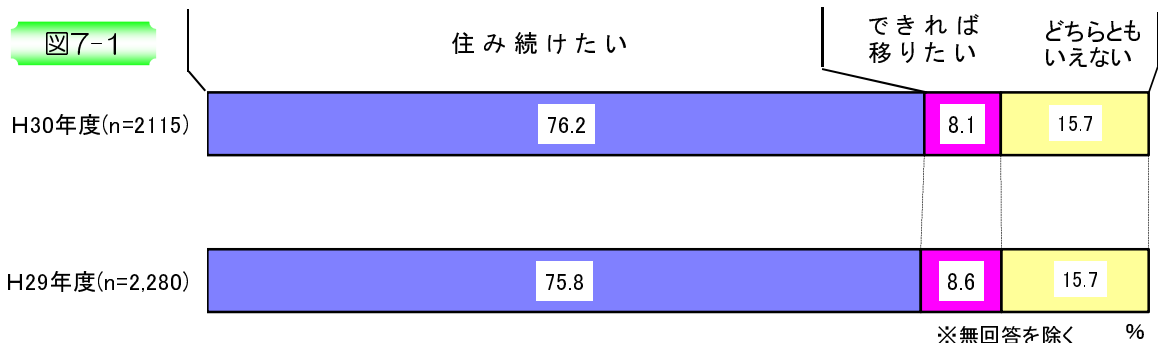


4

定住意識

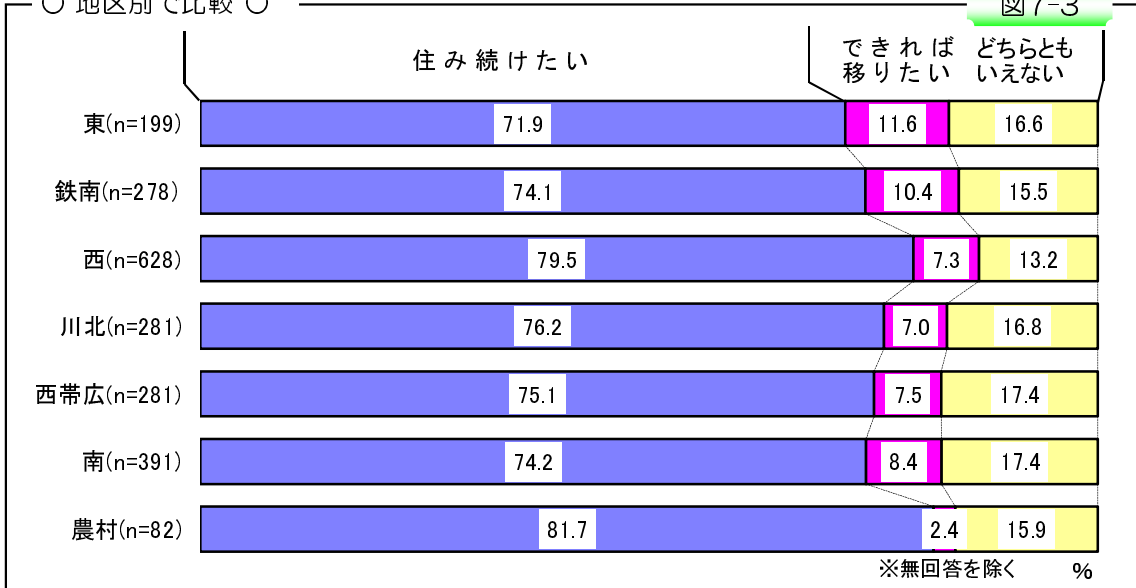
問6 これからも帯広市に住み続けたい？

- ☞ 「住み続けたい」とした人の割合は、昨年度と比較すると、0.4ポイント増加し、76.2%（1,611人）となっています。（図7-1）
- ☞ 男女別で「住み続けたい」とした割合は、[男性]77.9%、[女性]74.7%となっています。（図7-2）
- ☞ 地区別で「住み続けたい」とした割合は、[農村地区]81.7%が最も高くなっています。（図7-3）
- ☞ 年代が上がるにつれて「住み続けたい」とした割合が高くなる傾向があります。（図7-4）
- ☞ 居住年数が長くなるにつれて「住み続けたい」とした割合が高くなる傾向があります。（図7-5）



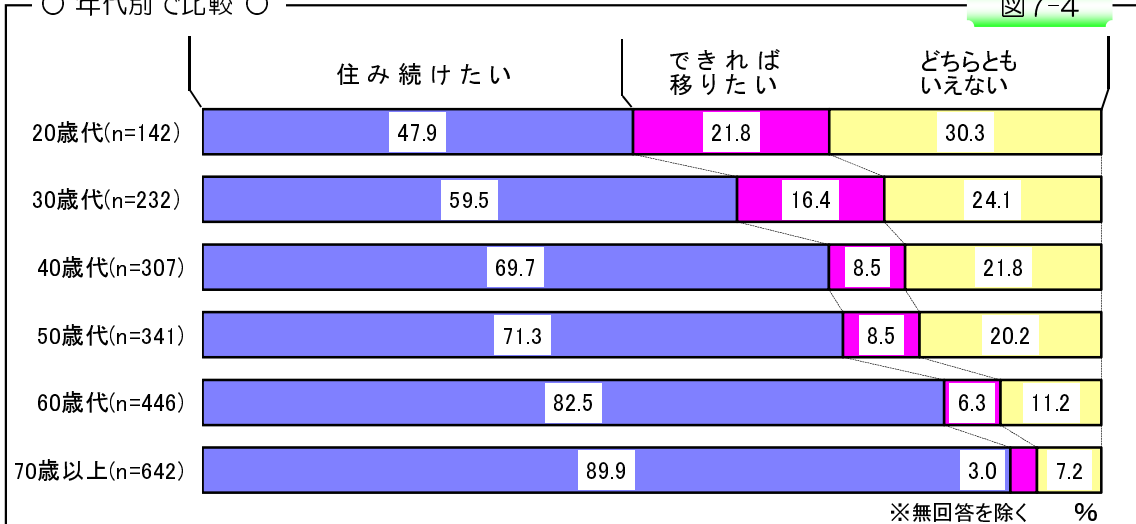
○ 地区別で比較 ○

図7-3



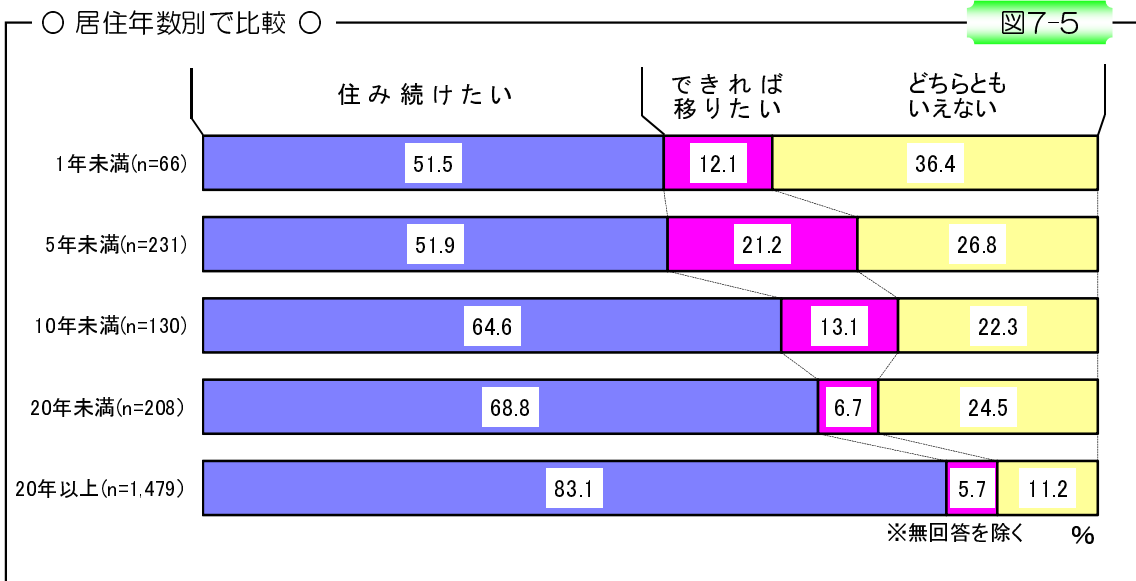
○ 年代別で比較 ○

図7-4



○ 居住年数別で比較 ○

図7-5

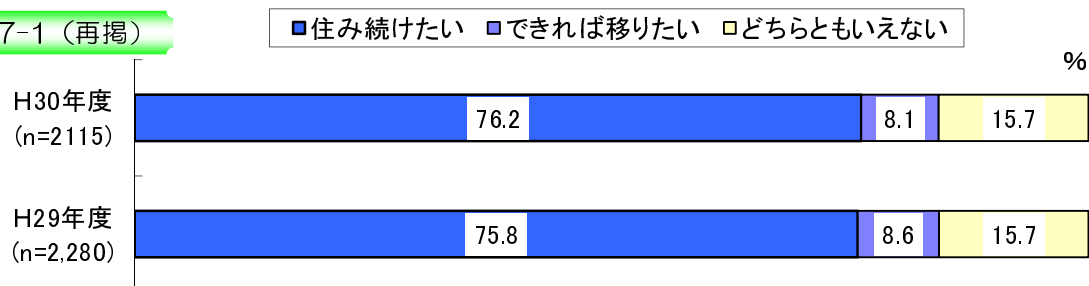


問7 住み続けたい理由は？

◇「住み続けたい」と回答した1,611人に、その理由を13の選択肢から2つまで回答してもらいました。

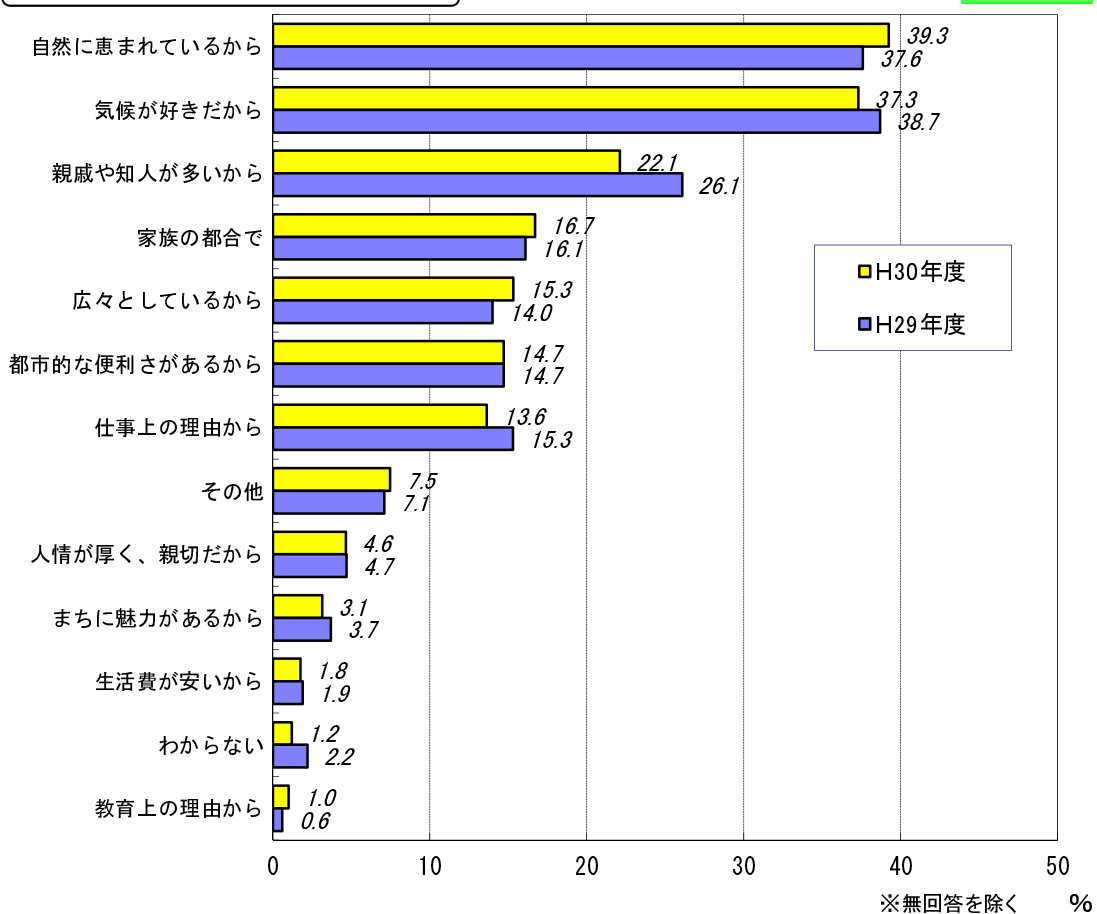
⑤ 「住み続けたい」とした理由は、[自然に恵まれているから]が最も多く、39.3% (625人)、2番目に多いのは[気候が好きだから]で37.3% (594人)、3番目は[親戚や知人が多いから]で22.1% (352人)となっています。(図8)

図7-1 (再掲)



住み続けたい理由 (n=1,592)

図8

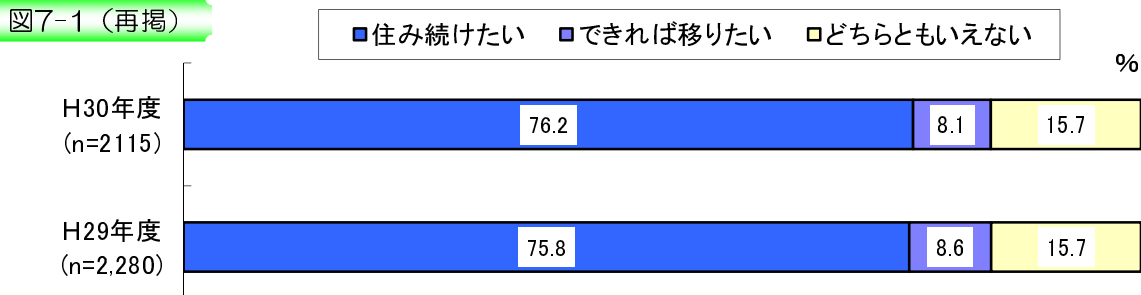


問8 移りたい地域は？

◇「できれば移りたい」と回答した172人に、移りたい地域を9つの選択肢から1つ、回答してもらいました。

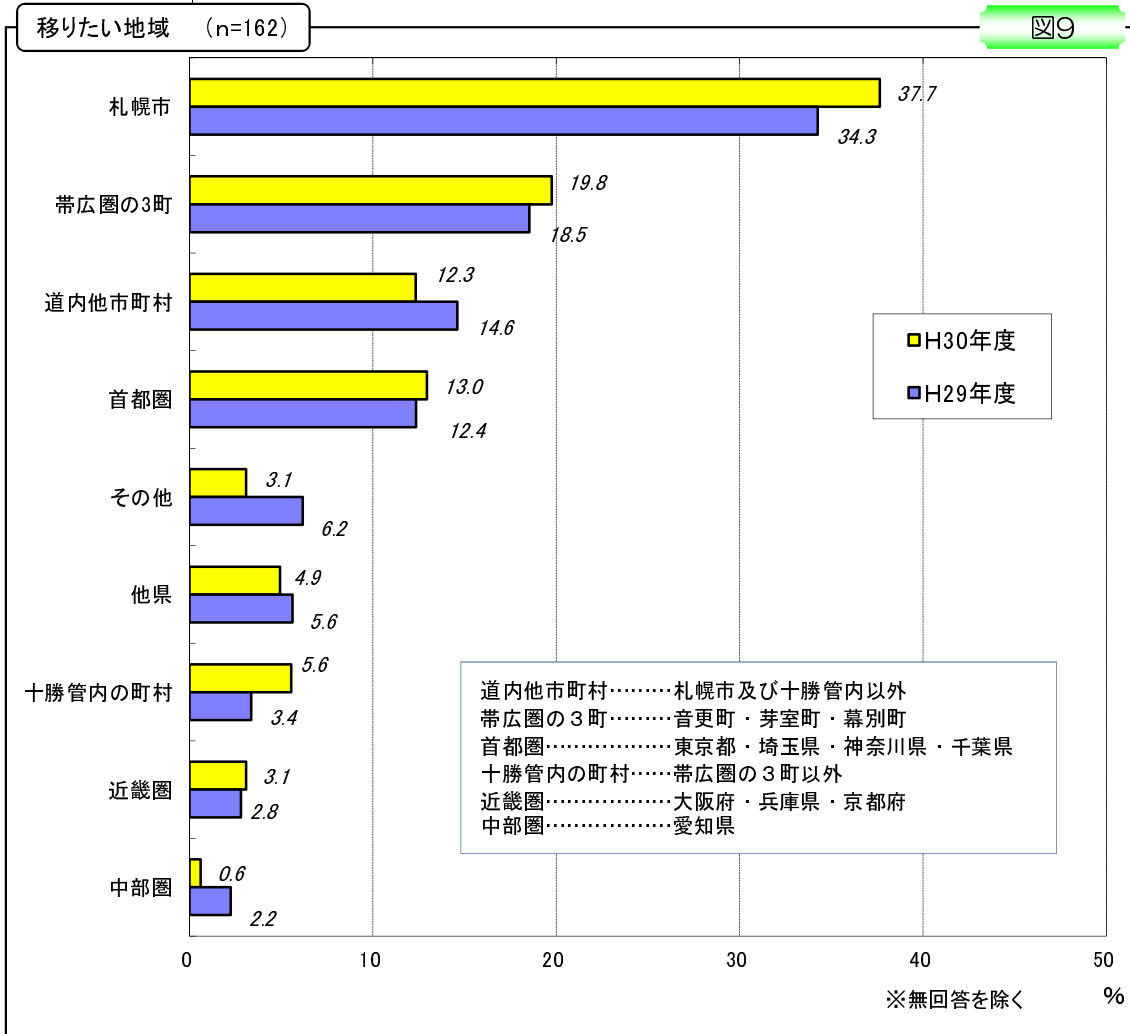
① 「移りたい地域」としては、[札幌市]が最も多く37.7%（61人）となっています。また、2番目に多い地域は、[帯広圏の3町]で19.8%（32人）、3番目は[首都圏]で13.0%（21人）となっています。（図9）

図7-1（再掲）



移りたい地域 (n=162)

図9

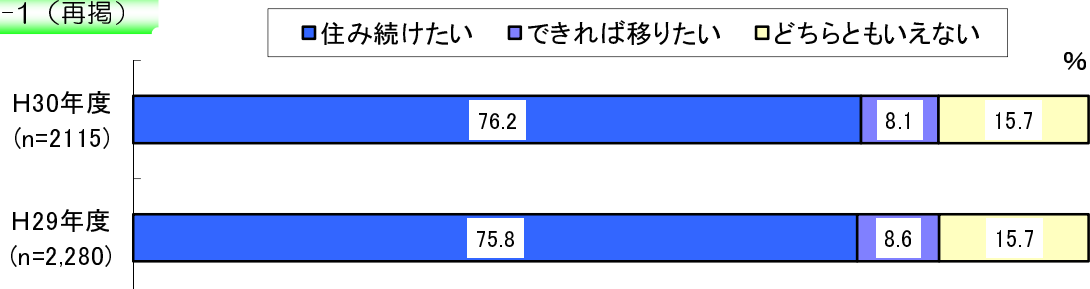


問9 移りたい理由は？

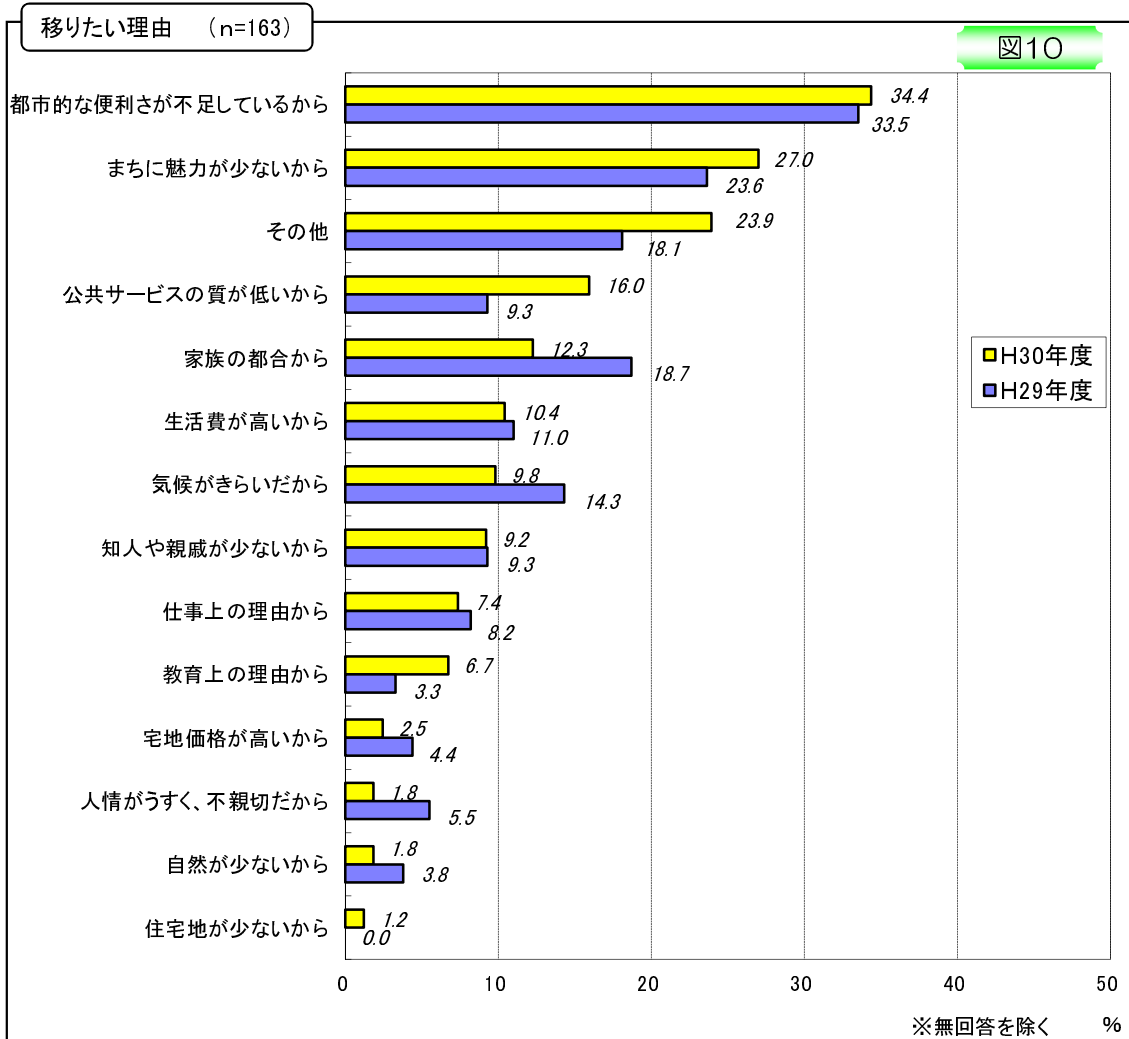
◇「できれば移りたい」と回答した172人に、移りたい理由を14の選択肢から2つまで回答してもらいました。

✎ 「移りたい理由」としては、[都市的な便利さが不足しているから]が最も多く、34.4%（56人）、2番目に多いのは[まちに魅力が少ないから]で27.0%（44人）となっています。（図10）

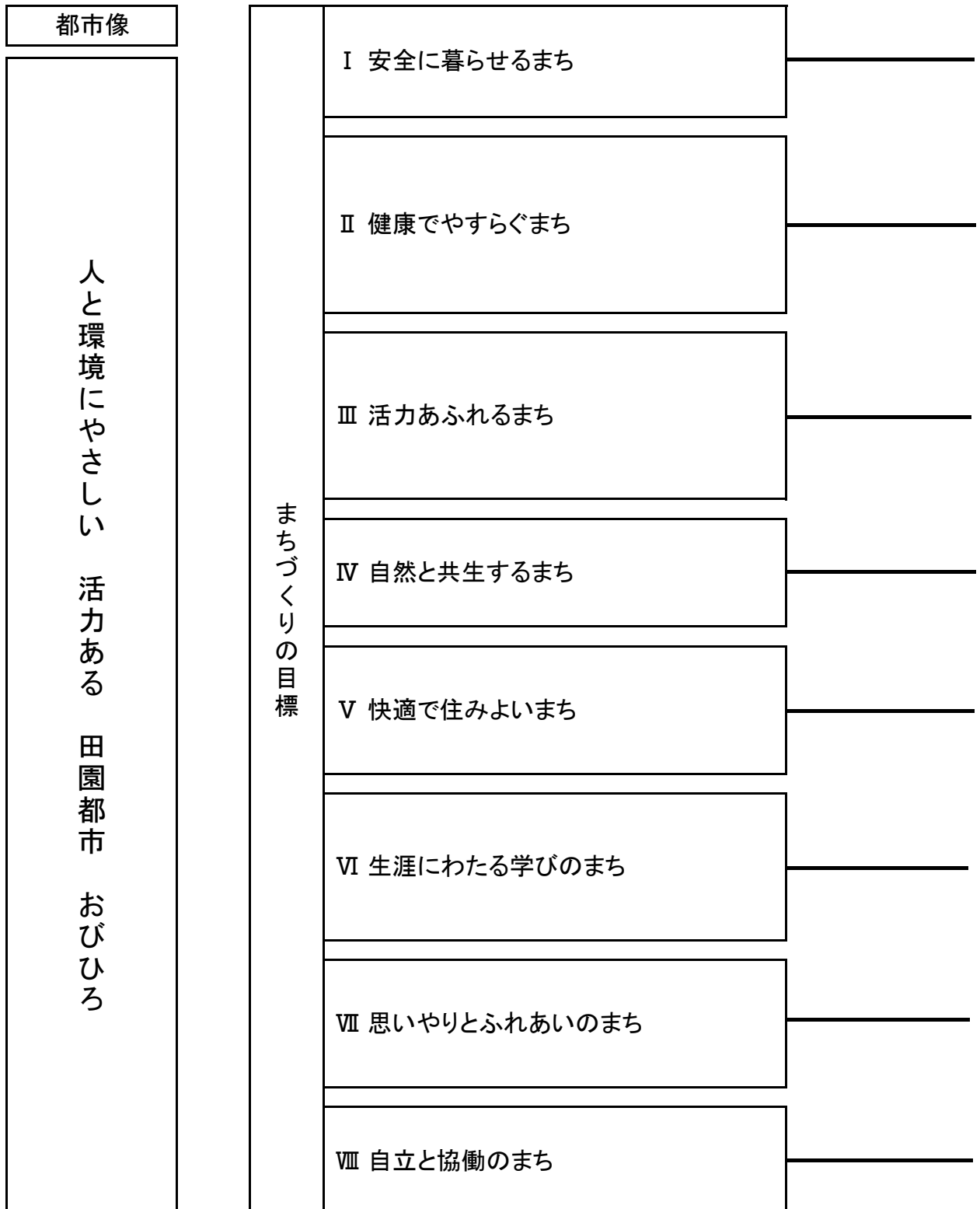
図7-1（再掲）



移りたい理由 (n=163)



第六期帯広市総合計画の政策・施策の体系



- ・ 総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問（市民実感度調査項目）を設定しています。
- ・ 質問の数が多いため、A票、B票、C票の3つに分けています。

政策1-1 災害に強い安全なまちづくり	施策1-1-1 地域防災の推進	問10-A
	施策1-1-2 消防・救急の充実	問10-B
政策1-2 安心して生活できるまちづくり	施策1-2-1 防犯の推進	問10-C
	施策1-2-2 交通安全の推進	問11-A
	施策1-2-3 消費生活の向上	問11-B
政策2-1 健康に暮らせるまちづくり	施策2-1-1 保健予防の推進	問11-C
	施策2-1-2 医療体制の充実	問12-A
政策2-2 やすらぎのあるまちづくり	施策2-2-1 地域福祉の推進	問12-B
	施策2-2-2 高齢者福祉の推進	問12-C
	施策2-2-3 障害者福祉の推進	問13-A
	施策2-2-4 社会保障の推進	問13-B
政策2-3 子どもたちが健やかに育つまちづくり	施策2-3-1 子育て支援の充実	問13-C
	施策2-3-2 青少年の健全育成	問14-A
政策3-1 力強い産業が育つまちづくり	施策3-1-1 農林業の振興	問14-B
	施策3-1-2 工業の振興	問14-C
	施策3-1-3 商業の振興	問15-A
	施策3-1-4 中小企業の基盤強化	問15-B
	施策3-1-5 産業間連携の促進	問15-C
	施策3-1-6 雇用環境の充実	問16-A
政策3-2 にぎわいのあるまちづくり	施策3-2-1 中心市街地の活性化	問16-B
	施策3-2-2 観光の振興	問16-C
政策4-1 地球環境を守るまちづくり	施策4-1-1 地球環境の保全	問17-A
	施策4-1-2 廃棄物の資源化	問17-B
政策4-2 うるおいのあるまちづくり	施策4-2-1 公園・緑地の整備	問17-C
	施策4-2-2 水道水の安定供給	問18-A
	施策4-2-3 下水道の整備	問18-B
政策5-1 快適で住みごちのよいまちづくり	施策5-1-1 住環境の充実	問18-C
	施策5-1-2 魅力ある景観の形成	問19-A
	施策5-1-3 墓地・火葬場の整備	問19-B
政策5-2 交流を支えるまちづくり	施策5-2-1 道路網の整備	問19-C
	施策5-2-2 総合的な交通体系	問20-A
	施策5-2-3 地域情報化の推進	問20-B
政策6-1 次代を担う人を育つまちづくり	施策6-1-1 学校教育の推進	問20-C
	施策6-1-2 教育環境の充実	問21-A
	施策6-1-3 高等学校教育の推進	問21-B
	施策6-1-4 高等教育の充実	問21-C
政策6-2 とともに学び地域のきずなを育つまちづくり	施策6-2-1 学習活動の推進	問22-A
	施策6-2-2 芸術・文化の振興	問22-B
	施策6-2-3 スポーツの振興	問22-C
政策7-1 互いに尊重し思いやりのあるまちづくり	施策7-1-1 人権尊重と平和な社会の形成	問23-A
	施策7-1-2 男女共同参画社会	問23-B
	施策7-1-3 ユニバーサルデザインの推進	問23-C
	施策7-1-4 アイヌの人たちの誇りの尊重	問24-A
政策7-2 ふれあいのあるまちづくり	施策7-2-1 地域コミュニティの形成	問24-B
	施策7-2-2 国内・国際交流の推進	問24-C
政策8-1 市民とともにすすめる自治体経営	施策8-1-1 市民協働のまちづくりの推進	問25-A
	施策8-1-2 自治体経営の推進	問25-B
	施策8-1-3 広域行政の推進	問25-C
政策8-2 質の高い行政の推進	施策8-2-1 行政サービスの充実	問26-A
	施策8-2-2 行政事務の適正な執行	問26-B

「市民実感度」とは・・・

「市民まちづくりアンケート」では、総合計画の50項目の施策ごとに、市民の実感を聞く質問（これを市民実感度調査項目といいます）を設定しています。
この質問に対する回答を加重平均した値を「市民実感度」といいます。

順位	問番号	市民実感度調査項目
1	18 A	おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる
2	14 B	安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある
3	10 B	消火活動や救急活動が迅速に行われている
4	19 B	墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている
5	11 B	悪質な訪問販売や契約トラブルなどに遭うことなく、安全に消費生活を送れる
6	17 B	ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている
7	11 C	各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる
8	19 A	都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている
9	10 C	日常生活において、犯罪に遭うことなく安心して暮らせる
10	21 B	高等学校において充実した教育が行われている
11	18 B	生活廃水や雨水が適切に処理されている
12	12 B	地域の支え合いにより、安心して暮らせる
13	18 C	快適で住みやすい居住空間が確保されている
14	17 C	公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる
15	22 C	スポーツを楽しむことができる環境が整っている
16	12 A	ケガや病気のときに安心して医療を受けられる
17	21 A	子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている
18	20 A	空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている
19	13 C	安心して子どもを産み育てることができる
20	17 A	自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている
21	20 B	高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている
22	12 C	高齢者が地域で生き生きと暮らせる
23	26 B	市民に信頼される行政事務が行われている
24	26 A	市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている
25	22 B	芸術や文化に親しむことができる環境が整っている
26	20 C	小学校・中学校において充実した教育が行われている
27	23 A	平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している
28	13 B	社会保障制度の周知や適切な運用が行われている
29	16 C	自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている
30	14 A	青少年が健全に育つ環境が整っている
31	14 C	ものづくり産業に活気がある
32	23 B	男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる
33	22 A	生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている
34	24 B	町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている
35	15 C	企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている
36	13 A	障害のある人が地域で生き生きと暮らせる
37	24 C	国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている
38	15 B	地元の企業に活気がある
39	23 C	誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによるまちづくりが行われている
40	25 C	十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている
41	25 A	市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている
42	24 A	アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている
43	25 B	健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている
44	10 A	地震や水害など、災害への備えが整っている
45	11 A	日常生活において、交通事故に遭うことなく安心して暮らせる
46	16 A	意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる
47	19 C	幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる
48	21 C	大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている
49	15 A	商店や商店街に活気がある
50	16 B	中心市街地に魅力とにぎわいがある

《市民実感度の算出方法》

「そう思う」は4、「ややそう思う」は3、「あまりそう思わない」は2、「そう思わない」は1と重み付けを行い、各回答数を乗じて合計したものを、有効回答数で除したものです。

このため、数値は1.000から4.000の間で表わされます。

例) 問18-A:「おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる」の場合

$$(4 \times 422(\text{人}) + 3 \times 235(\text{人}) + 2 \times 75(\text{人}) + 1 \times 17(\text{人})) \div 749(\text{人}) = 3.418$$

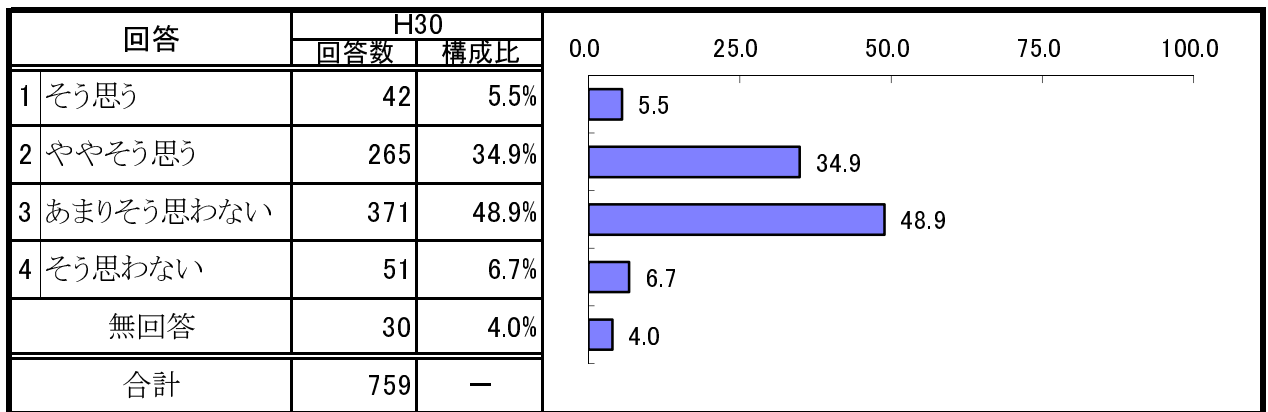
◆市民実感度は、小数点以下第4位を四捨五入しています。

◆下の表で、市民実感度が同じ数値の場合は、小数点以下第4位以下を基に、順位を決定しています。

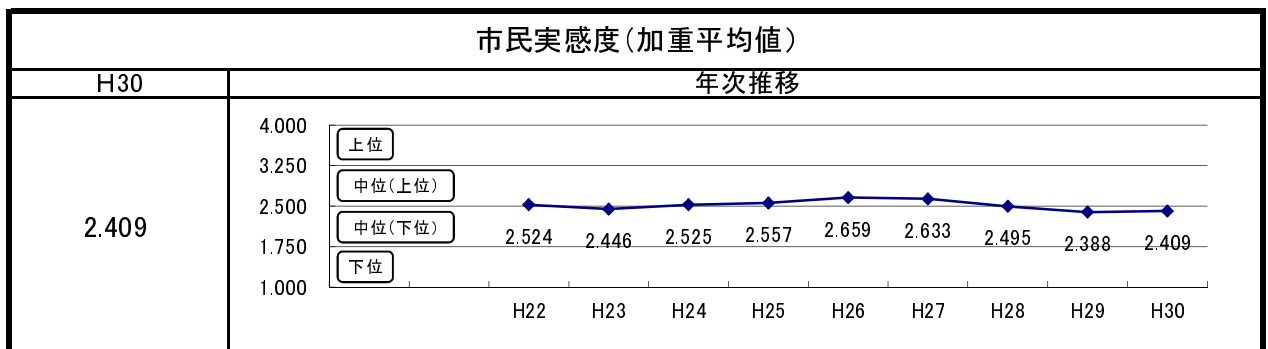
そう思う	ややそう思う	あまり そう思わない	そう思わない	有効回答数	市民実感度 (加重平均値)
422	235	75	17	749	3.418
376	257	59	17	709	3.399
313	318	39	12	682	3.367
223	385	52	24	684	3.180
235	365	82	21	703	3.158
239	360	80	34	713	3.128
186	381	88	16	671	3.098
231	363	118	28	740	3.077
190	334	117	20	661	3.050
163	359	115	34	671	2.970
199	332	144	40	715	2.965
180	335	162	29	706	2.943
142	382	109	39	672	2.933
196	300	126	60	682	2.927
148	348	134	34	664	2.919
160	375	171	37	743	2.886
104	458	131	32	725	2.874
170	334	178	58	740	2.832
99	347	135	37	618	2.822
99	428	163	36	726	2.813
134	319	174	52	679	2.788
105	345	186	31	667	2.786
90	411	126	64	691	2.763
100	406	177	52	735	2.754
113	336	200	49	698	2.735
78	333	155	48	614	2.718
82	398	213	39	732	2.714
128	300	217	59	704	2.706
133	258	220	64	675	2.681
74	389	215	48	726	2.674
83	311	216	42	652	2.667
73	347	208	52	680	2.649
77	369	233	52	731	2.644
100	281	250	75	706	2.575
78	282	227	73	660	2.553
50	337	281	45	713	2.550
60	275	259	53	647	2.529
71	298	257	72	698	2.527
45	314	227	68	654	2.514
62	262	280	53	657	2.507
56	320	265	86	727	2.476
66	272	325	63	726	2.470
63	262	262	103	690	2.413
42	265	371	51	729	2.409
56	254	352	80	742	2.385
29	286	323	80	718	2.368
75	196	253	154	678	2.283
35	207	288	116	646	2.249
29	207	333	171	740	2.127
44	131	327	210	712	2.013

問10-A 地震や水害など、災害への備えが整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が40.4%（307人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が55.6%（422人）となっています。
- 市民実感度は、2.409となっており、昨年に比べて0.021上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した422人のうち、411人がその理由を回答しており、理由として「食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから」が最も多く、27.7%（114人）となっています。



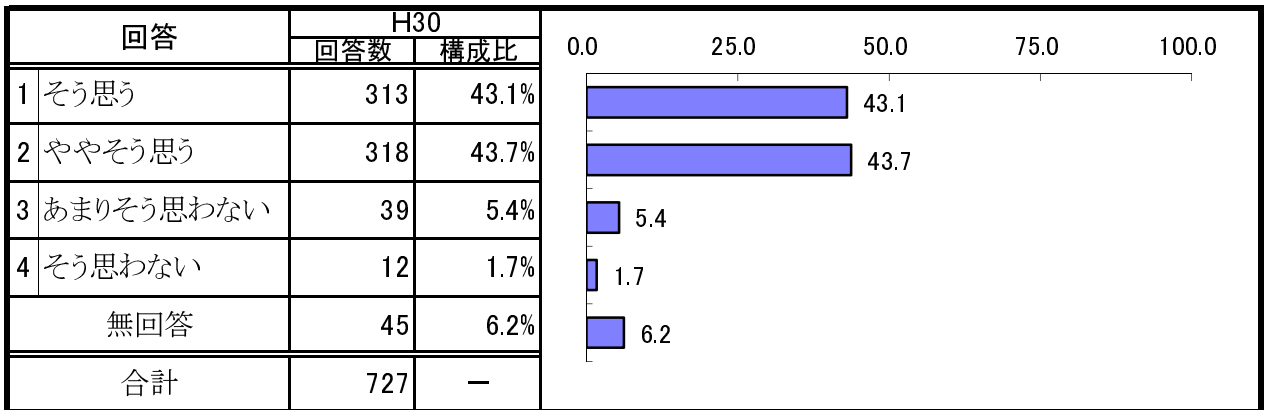
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 防災に関する市民一人ひとりの意識が低いから	87	21.2%
b 行政の取り組みや周知が十分でないから	109	26.5%
c 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから	114	27.7%
d 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから	39	9.5%
e 自宅の耐震性が不安だから	27	6.6%
f 避難所の耐震性が不安だから	13	3.2%
g その他	22	5.4%
有効回答数	411	—



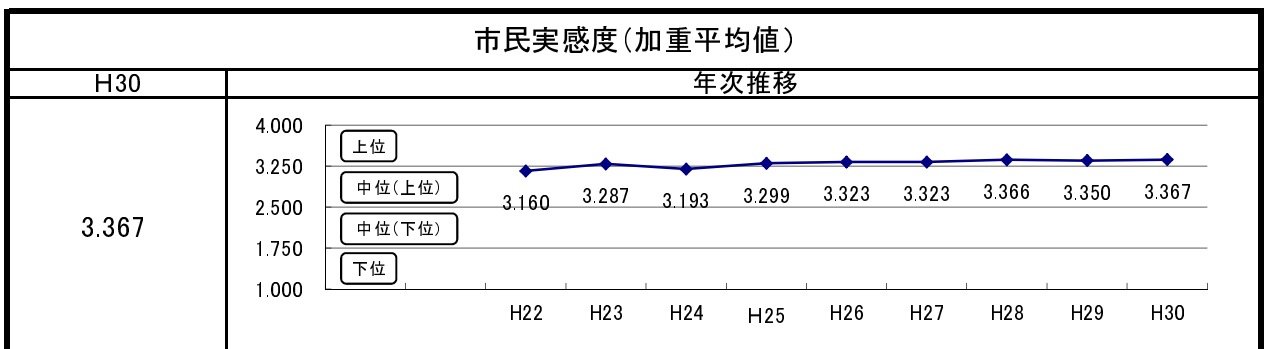


問10-B 消火活動や救急活動が迅速に行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が86.8%（631人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が7.1%（51人）となっています。
- 市民実感度は、3.367となっており、昨年と比べて0.017上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した51人のうち、48人がその理由を回答しており、理由として「その他」が最も多く、次いで「救急車による病院までの搬送がスムーズでないから」が31.3%（15人）となっています。

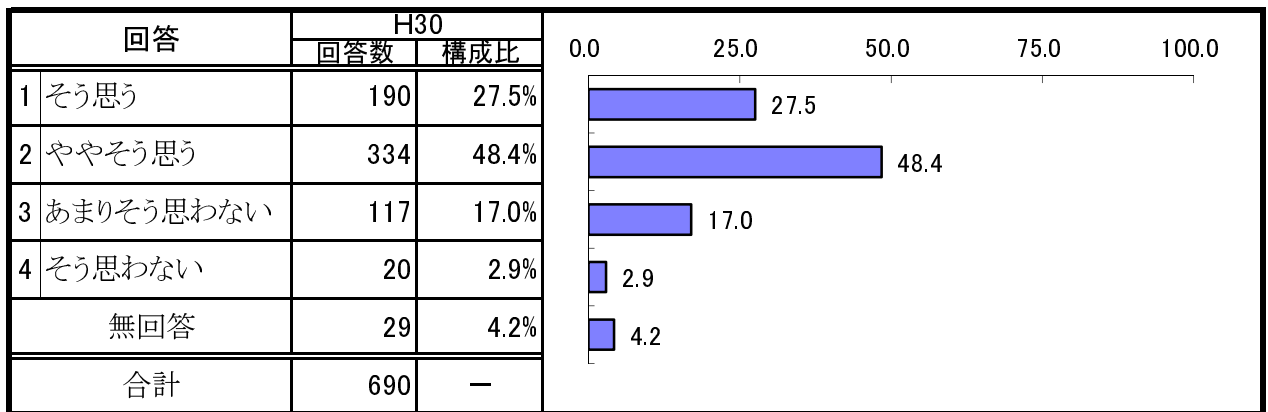


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 消火や防火の取り組みが十分でないから	5	10.4%
b 救急車や消防車の到着時間が遅いから	4	8.3%
c 救急車による病院までの搬送がスムーズでないから	15	31.3%
d 応急手当ができる市民が少ないから	7	14.6%
e その他	17	35.4%
有効回答数	48	—

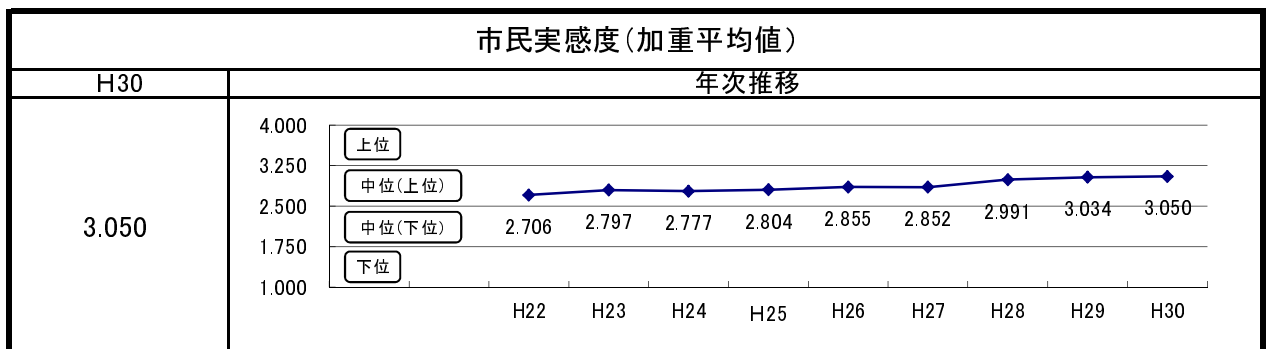


問10-C 日常生活において、 犯罪にあうことなく安心して暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が75.9%（524人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が19.9%（137人）となっています。
- 市民実感度は、3.050となっており、昨年に比べて0.016上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した137人のうち、130人がその理由を回答しており、理由として「身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから」が最も多く、40.0%（52人）となっています。

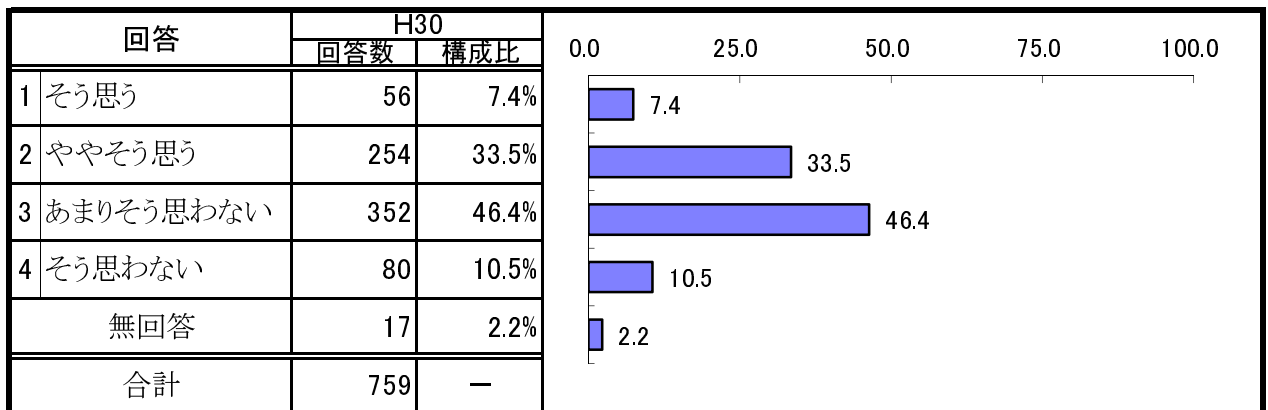


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 防犯に関する意識が低いから	16	12.3%
b 暗がりや人目につきにくい場所があるから	43	33.1%
c 身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから	52	40.0%
d 地域で見守る防犯活動が十分でないから	12	9.2%
e その他	7	5.4%
有効回答数	130	—

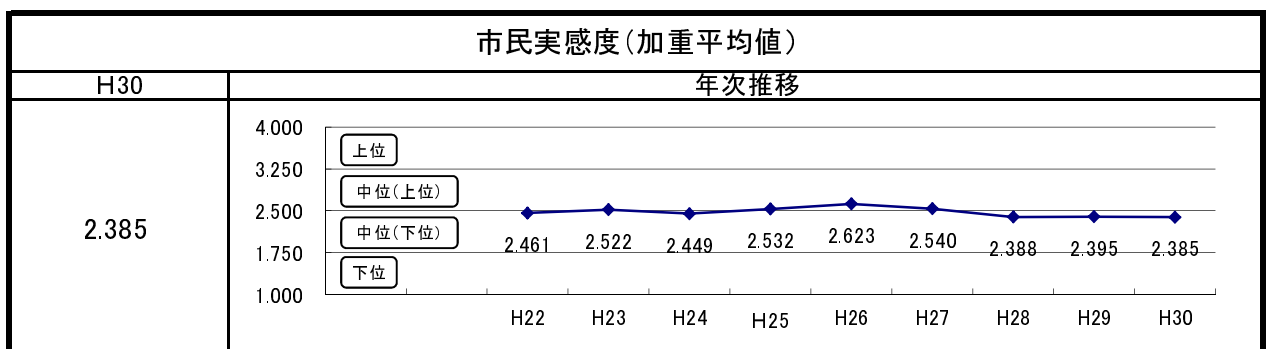


問11-A 日常生活において、 交通事故にあうことなく安心して暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が40.9%（310人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が56.9%（432人）となっています。
- 市民実感度は、2.385となっており、昨年に比べて0.010下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した432人のうち、420人がその理由を回答しており、理由として「車や自転車を運転する人のマナーが悪いから」が最も多く、66.0%（277人）となっています。

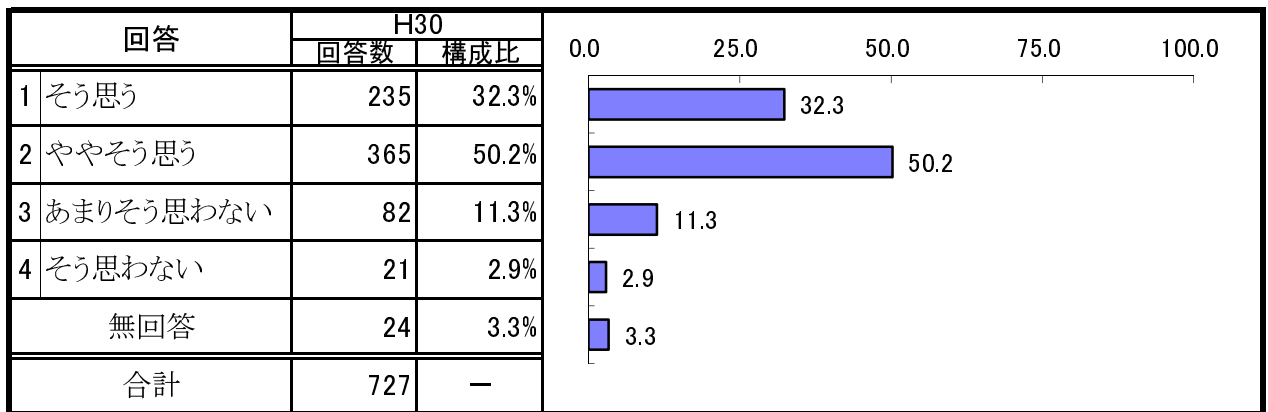


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 交通ルールを守らない歩行者がいるから	31	7.4%
b 車や自転車を運転する人のマナーが悪いから	277	66.0%
c 危ない道路や交差点があるから	75	17.9%
d その他	37	8.8%
有効回答数	420	—

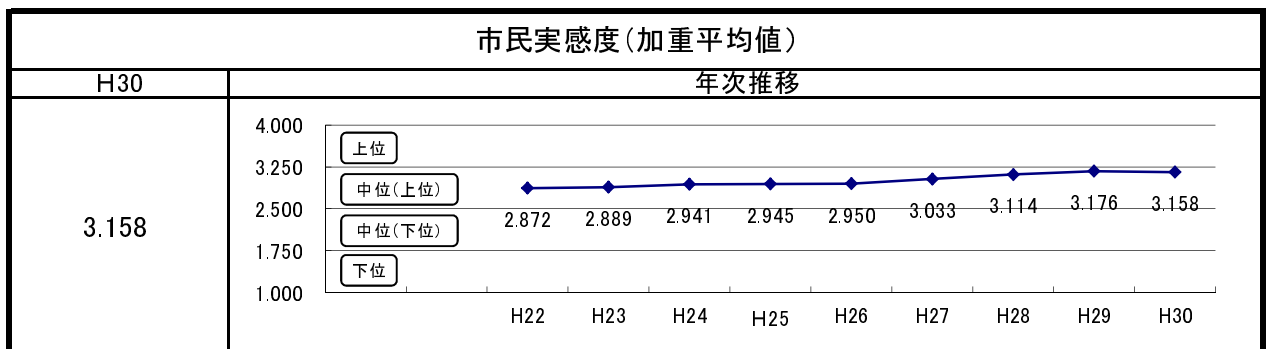


問11-B 悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が82.5%（600人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が14.2%（103人）となっています。
- 市民実感度は、3.158となっており、昨年に比べて0.018下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した103人のうち、95人がその理由を回答しており、理由として「消費生活に関する情報提供が十分でないから」が最も多く、32.6%（31人）となっています。

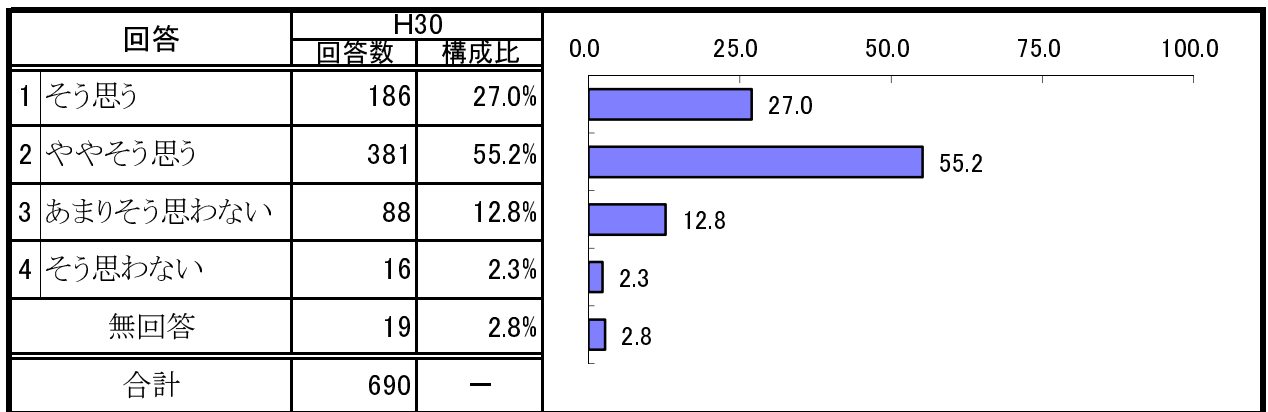


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 消費生活に関する情報提供が十分でないから	31	32.6%
b 消費者トラブルなどを相談できる場所を知らないから	25	26.3%
c 消費者トラブルの際の対処方法が分からないから	23	24.2%
d その他	16	16.8%
有効回答数	95	—

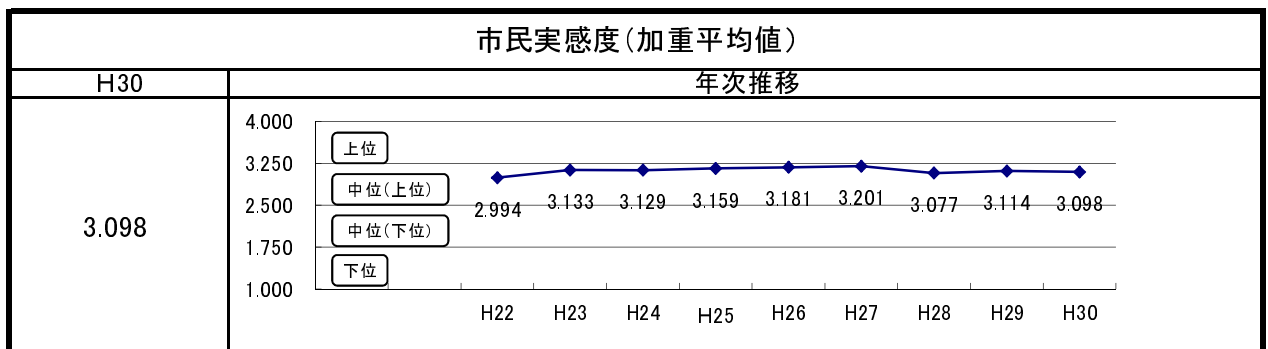


問11-C 各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が82.2%（567人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が15.1%（104人）となっています。
- 市民実感度は、3.098となっており、昨年に比べて0.016下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した104人のうち、99人がその理由を回答しており、理由として「各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから」と「気軽に健康相談できるところがないから」が最も多く、30.3%（30人）となっています。



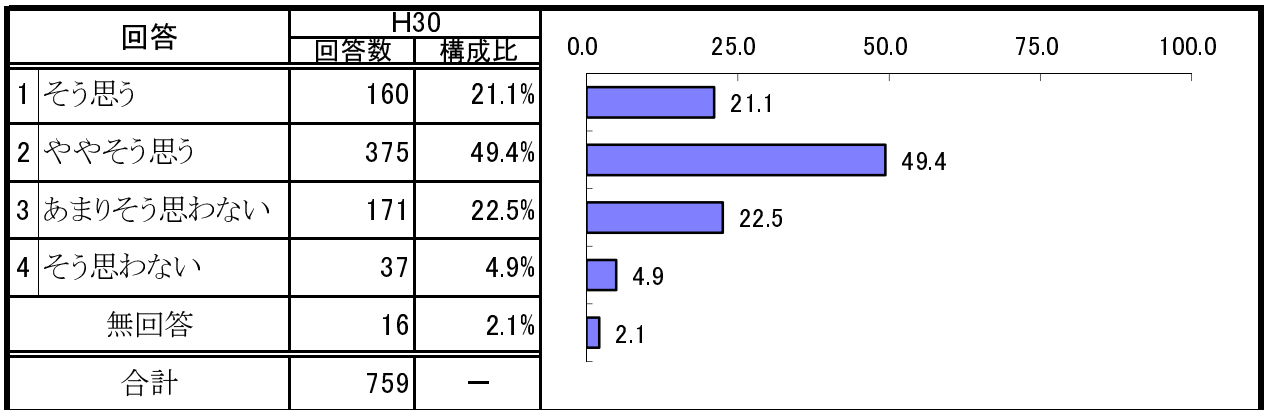
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 健康づくりに対する関心がないから	14	14.1%
b 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから	30	30.3%
c 予防接種が受けやすい環境が整っていないから	13	13.1%
d 気軽に健康相談できるところがないから	30	30.3%
e その他	12	12.1%
有効回答数	99	—



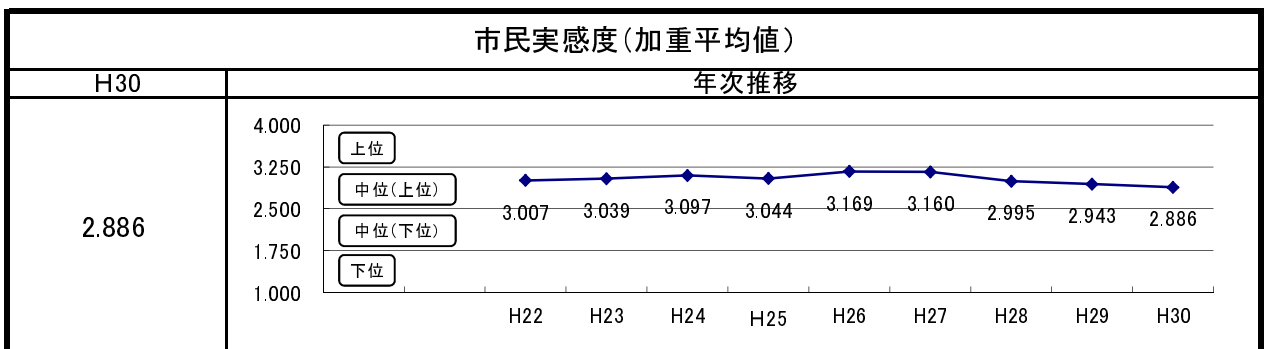


問12-A ケガや病気のとときに安心して医療を受けられる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が70.5%（535人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が27.4%（208人）となっています。
- 市民実感度は、2.886となっており、昨年に比べて0.057下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した208人のうち、203人がその理由を回答しており、理由として「高度な医療を受けることができないから」が最も多く、40.9%（83人）となっています。

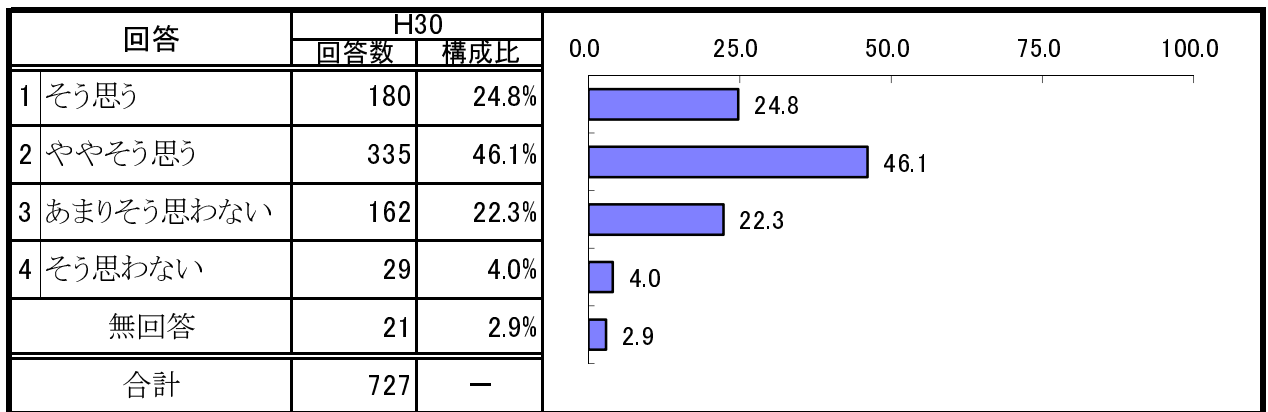


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 病院や診療所の数が不足しているから	20	9.9%
b 診療科目が不足しているから	9	4.4%
c 高度な医療を受けることができないから	83	40.9%
d 緊急時の医療機関の情報が十分でないから	53	26.1%
e その他	38	18.7%
有効回答数	203	—

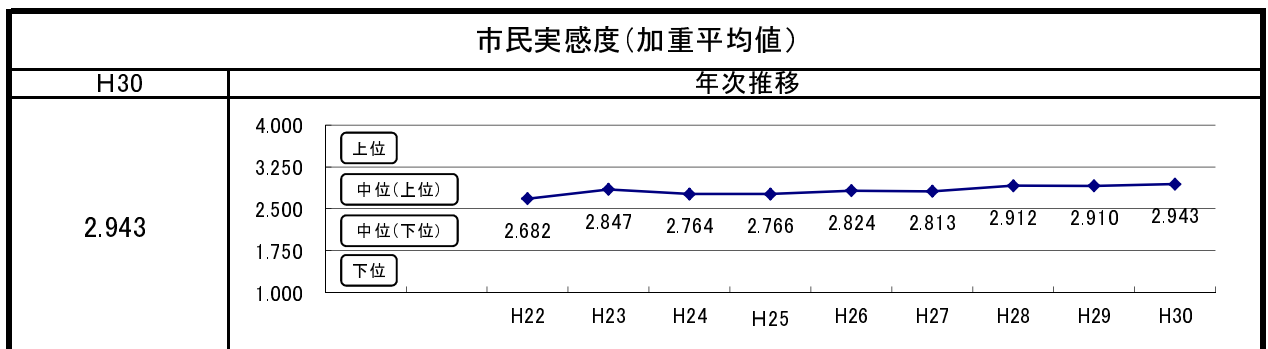


問12-B 地域の支え合いにより、安心して暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が70.9%（515人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が26.3%（191人）となっています。
- 市民実感度は、2.943となっており、昨年に比べて0.033上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した191人のうち、180人がその理由を回答しており、理由として「地域住民の互いに支え合う意識が低いから」が最も多く、48.9%（88人）となっています。

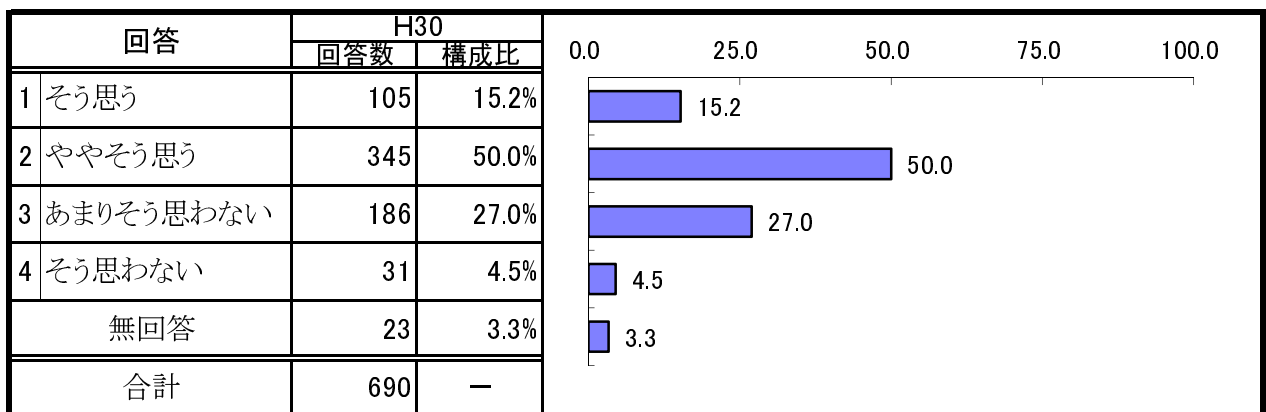


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 地域住民の互いに支え合う意識が低いから	88	48.9%
b 不安や心配事を地域で相談できる場所がないから	45	25.0%
c 福祉ボランティアの活動が活発でないから	14	7.8%
d その他	33	18.3%
有効回答数	180	—

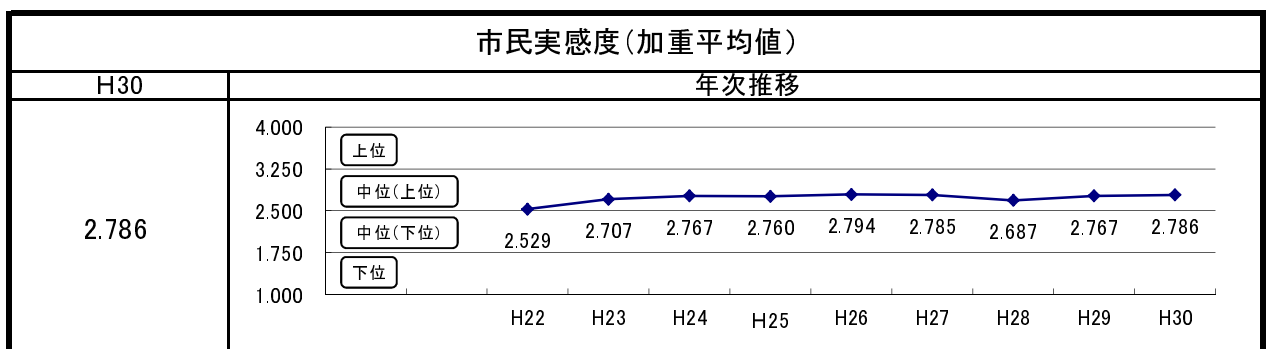


問12-C 高齢者が地域で生き生きと暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が65.2%（450人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が31.5%（217人）となっています。
- 市民実感度は、2.786となっており、昨年に比べて0.019上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した217人のうち、205人がその理由を回答しており、理由として「高齢者を地域で支える環境が整っていないから」が最も多く、45.9%（94人）となっています。

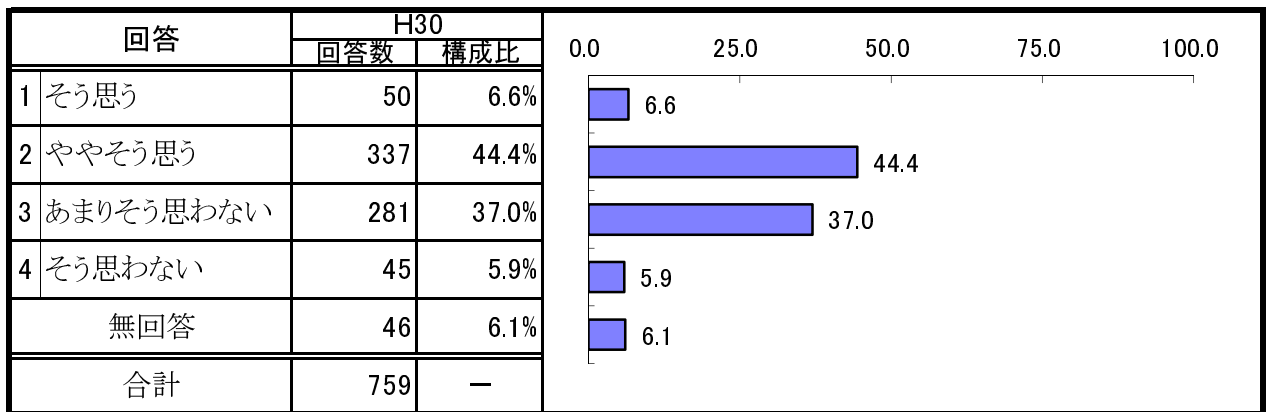


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 社会参加の機会が少ないから	23	11.2%
b 在宅の福祉サービスが利用しにくいから	18	8.8%
c 老人ホームなどの施設が不足しているから	51	24.9%
d 高齢者を地域で支える環境が整っていないから	94	45.9%
e その他	19	9.3%
有効回答数	205	—

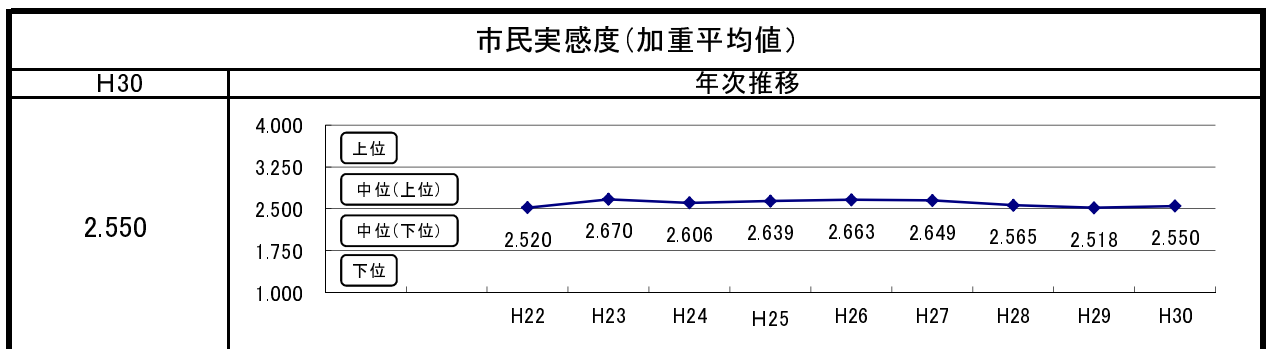


問13-A 障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が51.0%（387人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が42.9%（326人）となっています。
- 市民実感度は、2.550となっており、昨年に比べて0.032上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した326人のうち、317人がその理由を回答しており、理由として「障害や障害のある人に対する市民一人ひとりの理解が十分でないから」が最も多く、30.9%（98人）となっています。



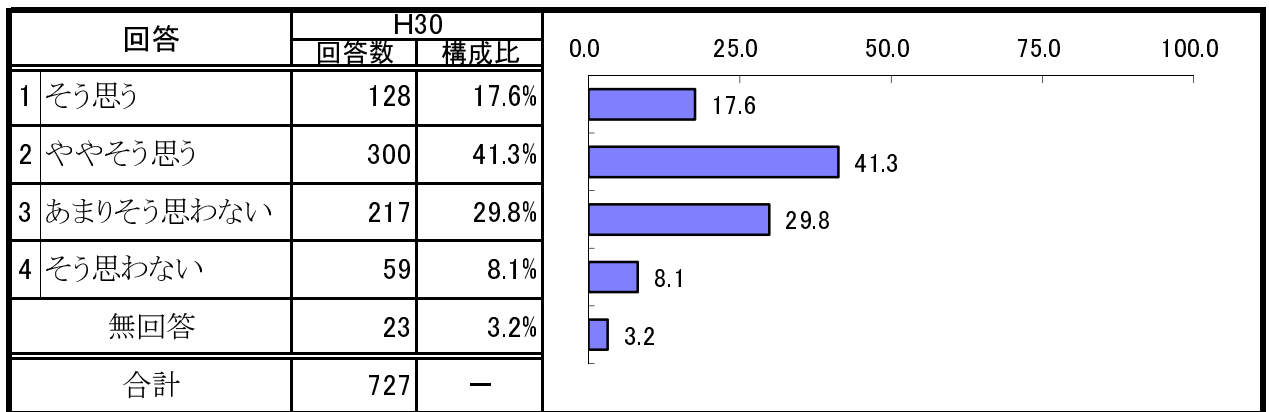
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 障害や障害のある人に対する市民一人ひとりの理解が十分でないから	98	30.9%
b 障害のある人を地域で支え合う市民一人ひとりの意識が低いから	93	29.3%
c 障害福祉サービスが十分でないから	52	16.4%
d 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから	54	17.0%
e その他	20	6.3%
有効回答数	317	—



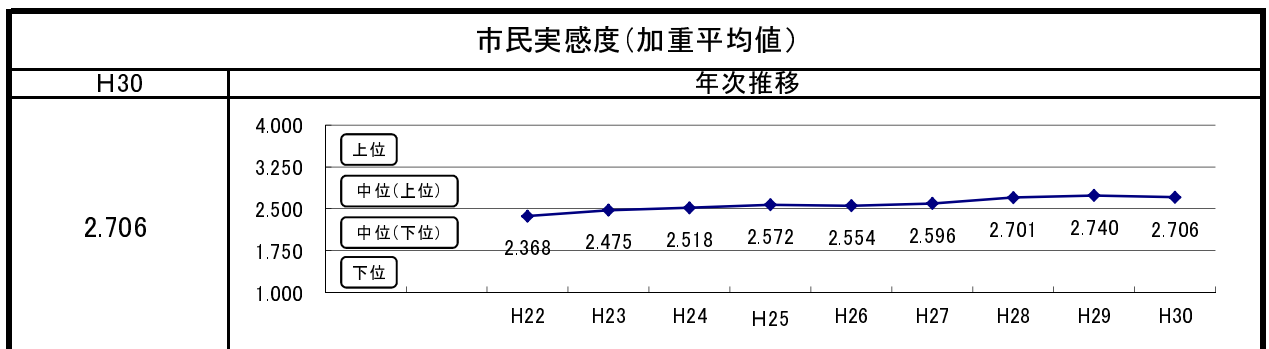


問13-B 社会保障制度の周知や適切な運用が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が58.9%（428人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が37.9%（276人）となっています。
- 市民実感度は、2.706となっており、昨年に比べて0.034下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した276人のうち、263人がその理由を回答しており、理由として「社会保障にかかる家計の負担が大きいから」が最も多く、41.8%（110人）となっています。

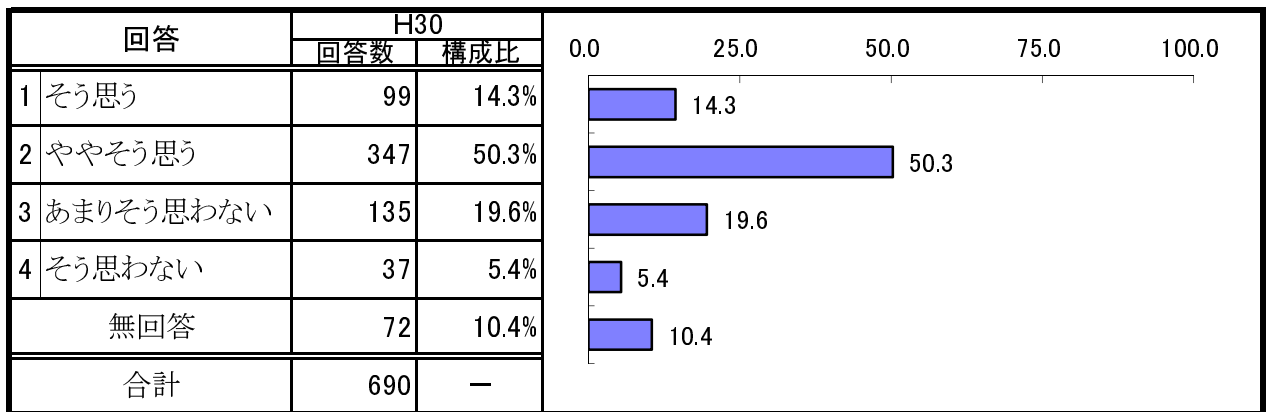


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 制度のしくみに疑問を感じるから	30	11.4%
b 給付が増大していて、安定的な運営に不安を感じるから	38	14.4%
c 社会保障にかかる家計の負担が大きいから	110	41.8%
d 制度の周知が十分でないから	64	24.3%
e その他	21	8.0%
有効回答数	263	—

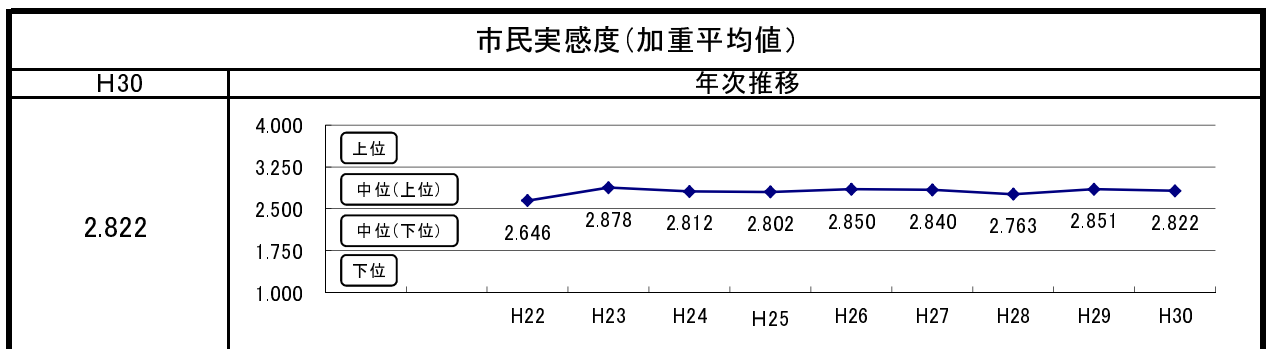


問13-C 安心して子どもを育てることができる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が64.6%（446人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が25.0%（172人）となっています。
- 市民実感度は、2.822となっており、昨年に比べて0.029下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した172人のうち、163人がその理由を回答しており、理由として「子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから」が最も多く、36.2%（59人）となっています。

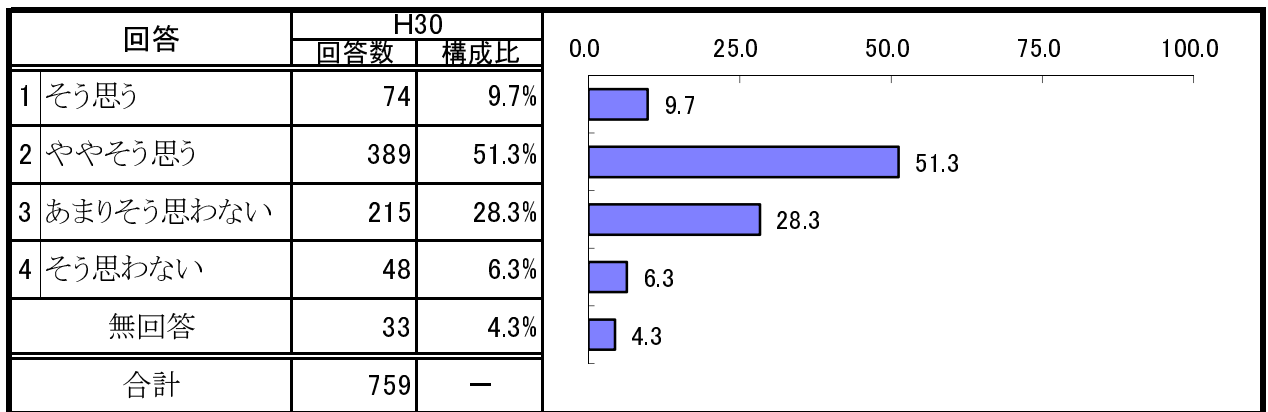


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 利用したい保育サービスが受けられないから	14	8.6%
b 子育てに関する情報が不足しているから	19	11.7%
c 子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから	59	36.2%
d 経済的な不安があるから	52	31.9%
e その他	19	11.7%
有効回答数	163	—

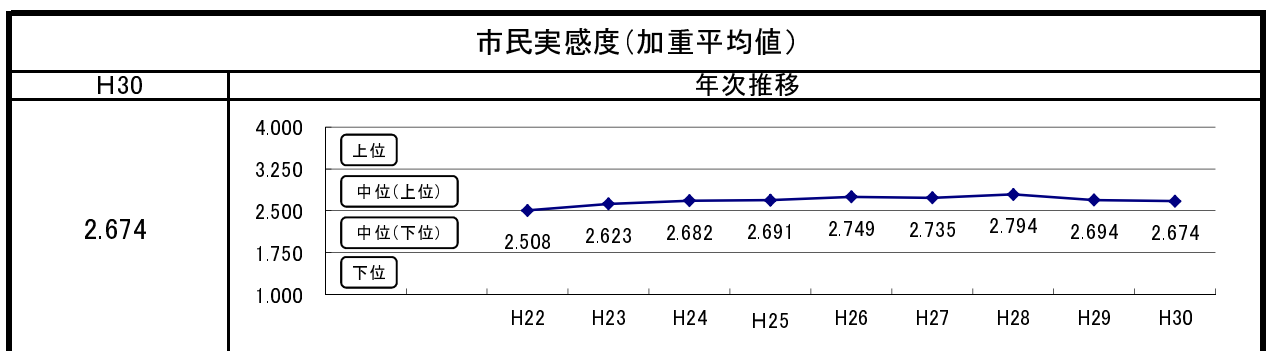


問14-A 青少年が健全に育つ環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が61.0%（463人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が34.6%（263人）となっています。
- 市民実感度は、2.674となっており、昨年に比べて0.020下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した263人のうち、257人がその理由を回答しており、理由として「有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから」が最も多く、35.0%（90人）となっています。

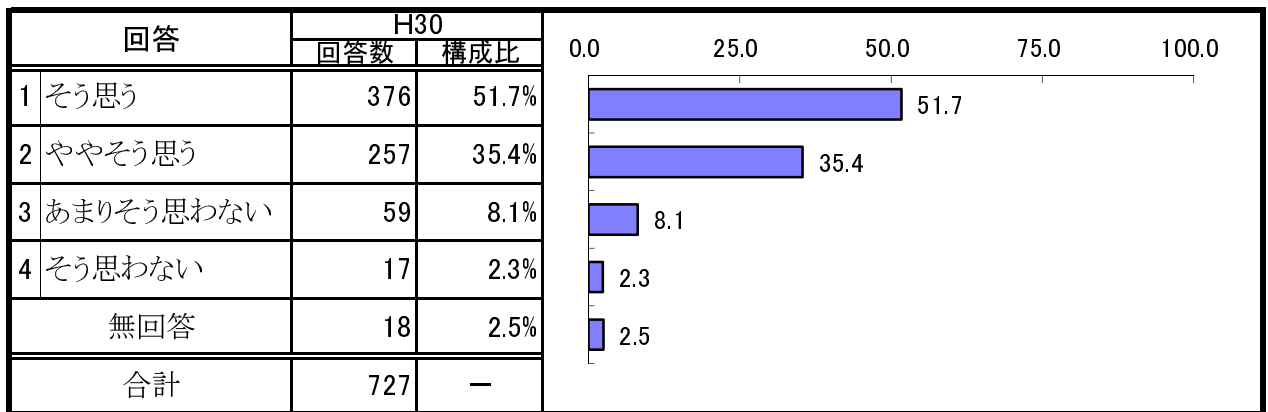


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 家庭や地域における子どものしつけが不足しているから	68	26.5%
b 家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから	40	15.6%
c 青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから	33	12.8%
d 有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから	90	35.0%
e その他	26	10.1%
有効回答数	257	—

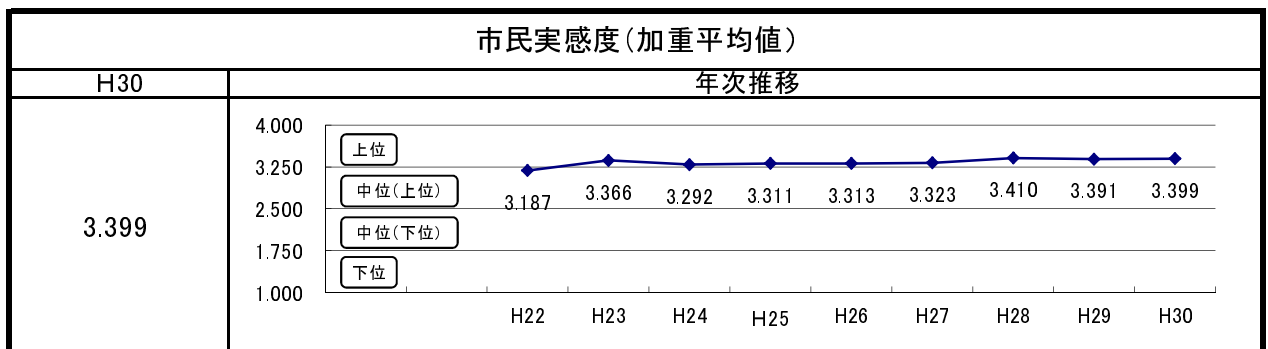


問14-B 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が87.1%（633人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が10.4%（76人）となっています。
- 市民実感度は、3.399となっており、昨年に比べて0.008上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した76人のうち、73人がその理由を回答しており、理由として「農業に関する具体的な取り組み内容が分からないから」が最も多く、47.9%（35人）となっています。

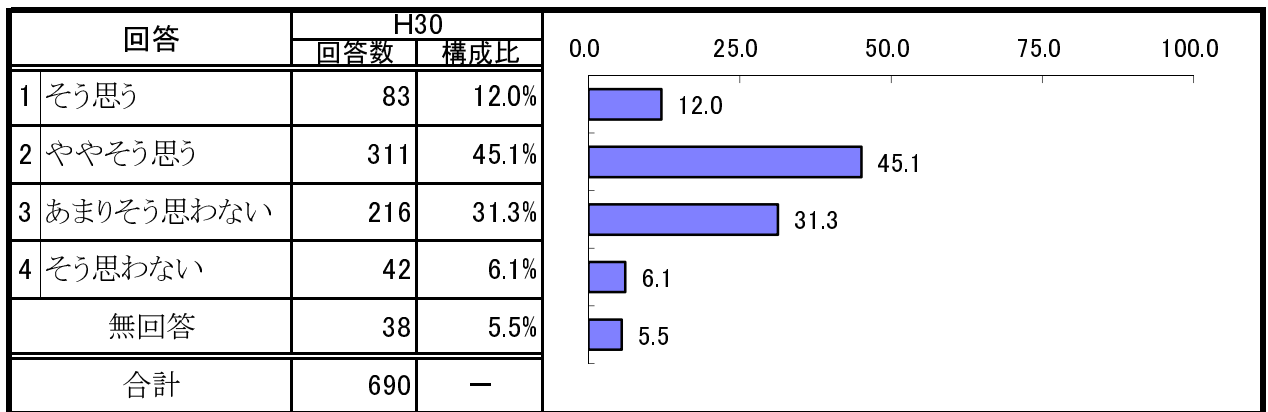


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りやすいから	12	16.4%
b 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから	11	15.1%
c 農業に関する具体的な取り組み内容が分からないから	35	47.9%
d その他	15	20.5%
有効回答数	73	—

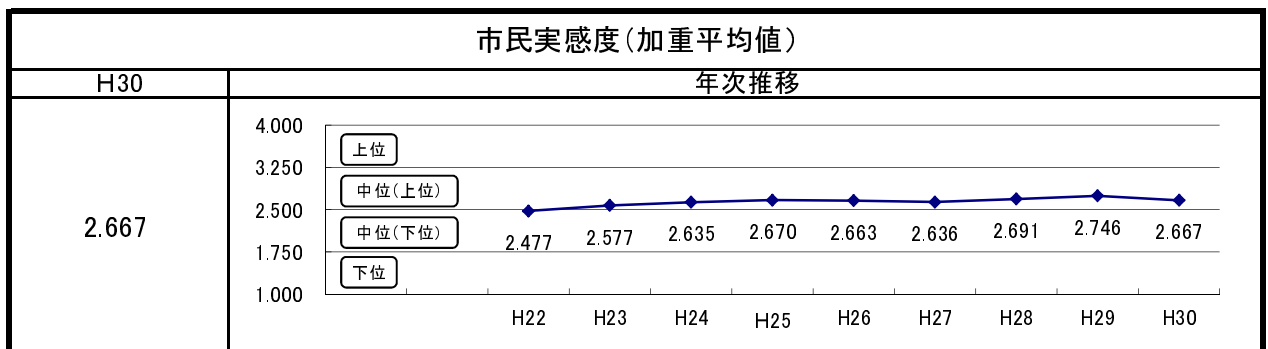


問14-C ものづくり産業に活気がある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が57.1%（394人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が37.4%（258人）となっています。
- 市民実感度は、2.667となっており、昨年に比べて0.079下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した258人のうち、245人がその理由を回答しており、理由として「製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから」が最も多く、33.1%（81人）となっています。

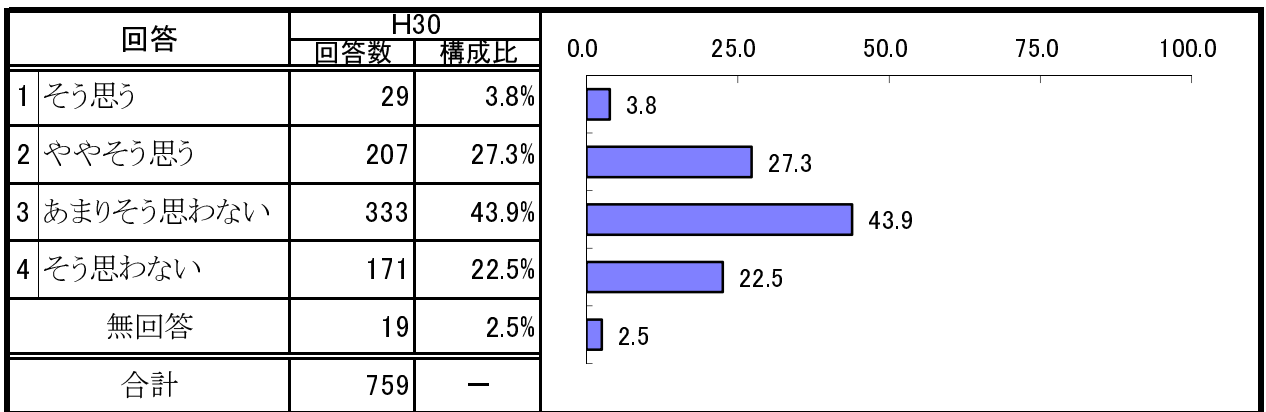


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから	72	29.4%
b 地元製品の市場拡大がすすんでいないから	67	27.3%
c 製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから	81	33.1%
d その他	25	10.2%
有効回答数	245	—

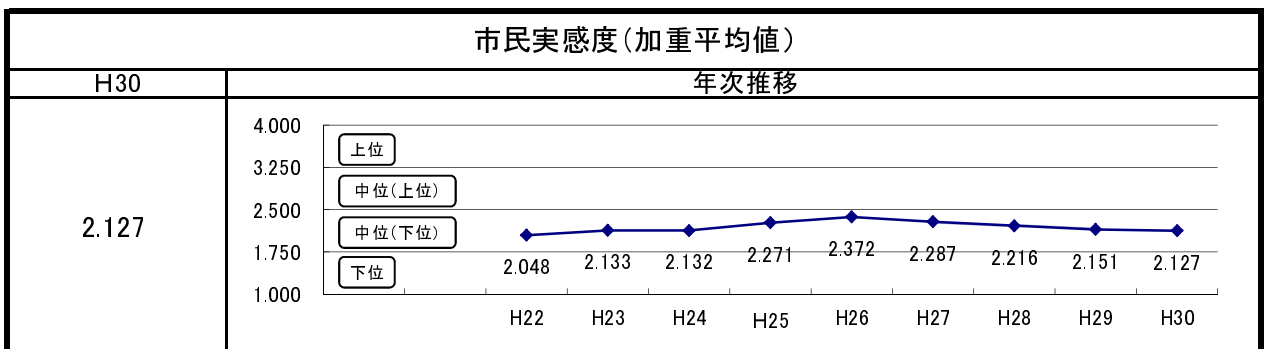


問15-A 商店や商店街に活気がある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が31.1%（236人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が66.4%（504人）となっています。
- 市民実感度は、2.127となっており、昨年に比べて0.024下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した504人のうち、478人がその理由を回答しており、理由として「商店の商品やサービスに魅力がないから」が最も多く、36.6%（175人）となっています。

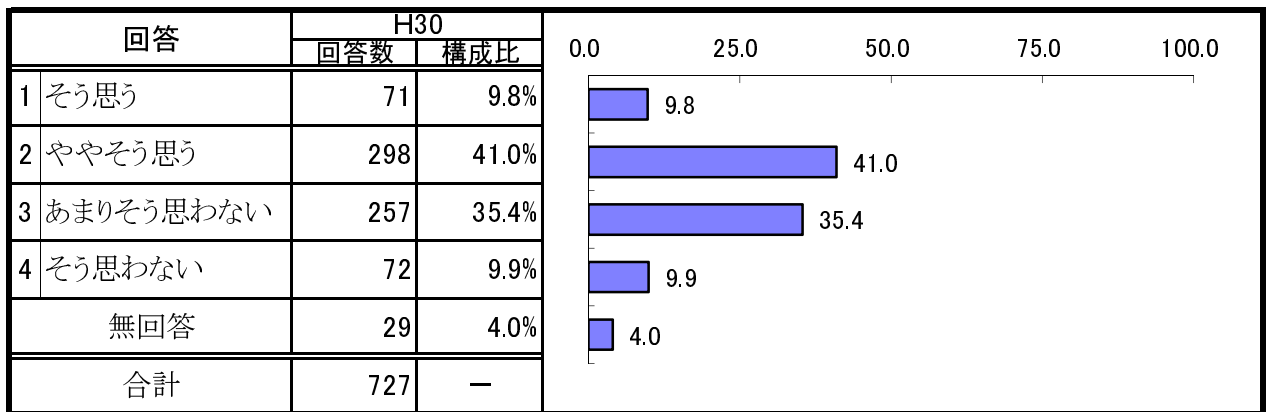


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 商店の商品やサービスに魅力がないから	175	36.6%
b 商店の建物の外観、内装や設備に魅力がないから	59	12.3%
c 商店街の道路や歩道、街路灯などの整備が十分でないから	29	6.1%
d 商店街のイベントに魅力がないから	105	22.0%
e その他	110	23.0%
有効回答数	478	—

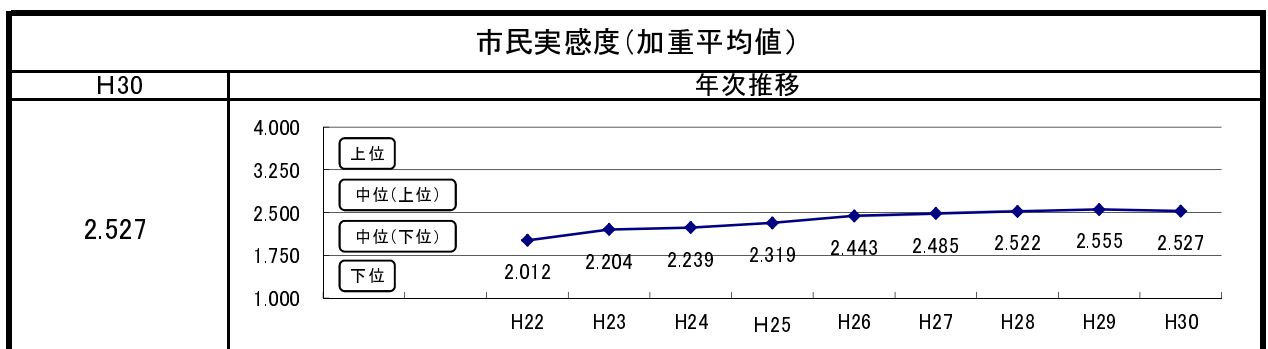


問15-B 地元の企業に活気がある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が50.8%（369人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が45.3%（329人）となっています。
- 市民実感度は、2.527となっており、昨年に比べて0.028下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した329人のうち、306人がその理由を回答しており、理由として「中小企業を支える人材（後継者・従業員など）が育成されていないから」が最も多く、42.5%（130人）となっています。

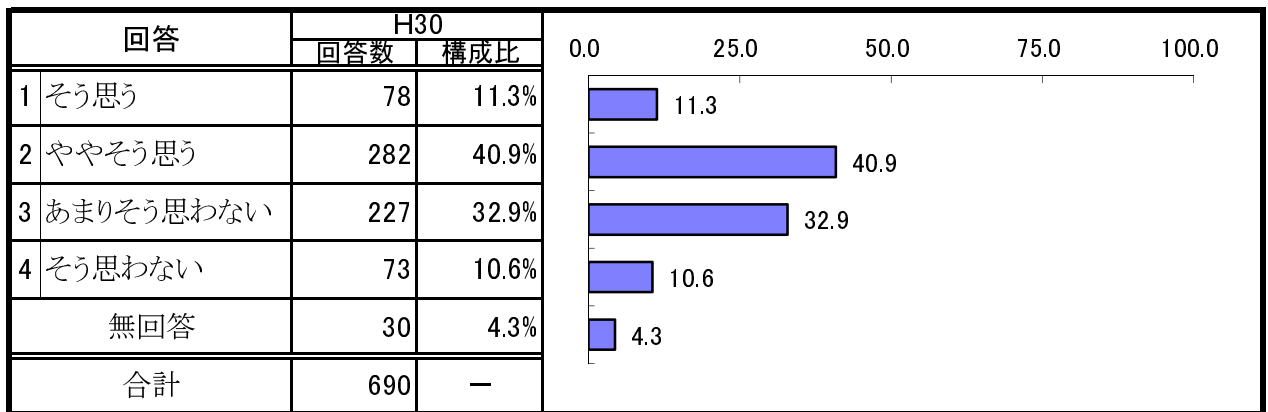


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 地元企業の経営が悪化しているから	61	19.9%
b 中小企業を支える人材(後継者・従業員など)が育成されていないから	130	42.5%
c 地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから	79	25.8%
d その他	36	11.8%
有効回答数	306	—

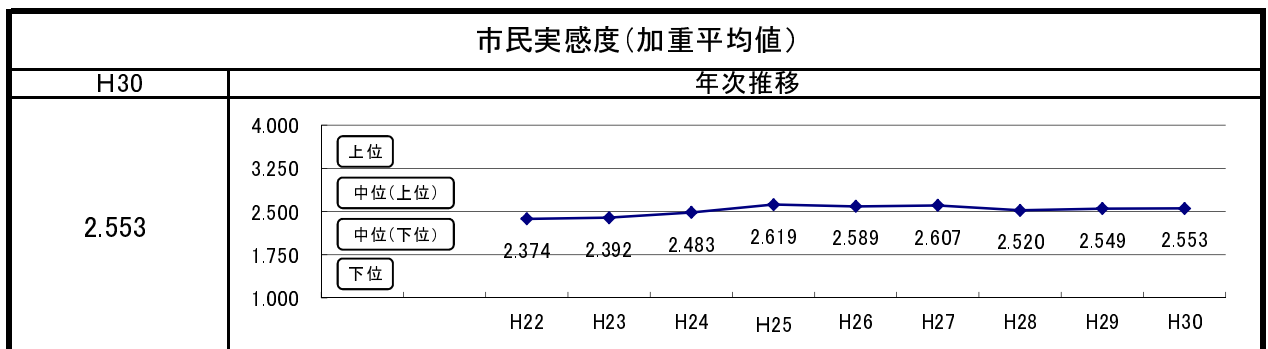


問15-C 企業が大学などと連携し、 新たな製品開発が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が52.2%（360人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が43.5%（300人）となっています。
- 市民実感度は、2.553となっており、昨年に比べて0.004上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した300人のうち、292人がその理由を回答しており、理由として「具体的な取り組み内容が分からないから」が最も多く、58.2%（170人）となっています。

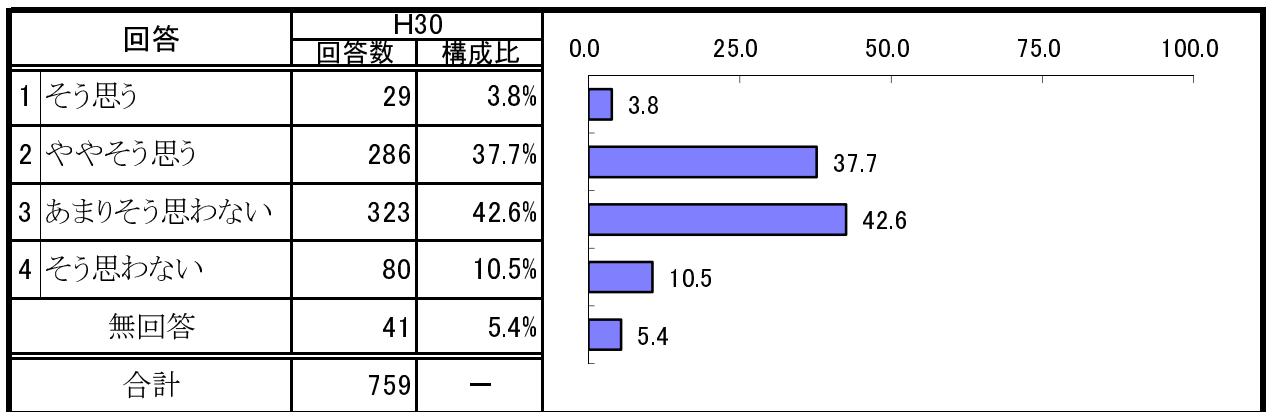


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから	16	5.5%
b 地元の企業と大学の連携がすすんでいないから	20	6.8%
c 新たに開発された地元製品のPRが不足しているから	70	24.0%
d 具体的な取り組み内容が分からないから	170	58.2%
e その他	16	5.5%
有効回答数	292	—

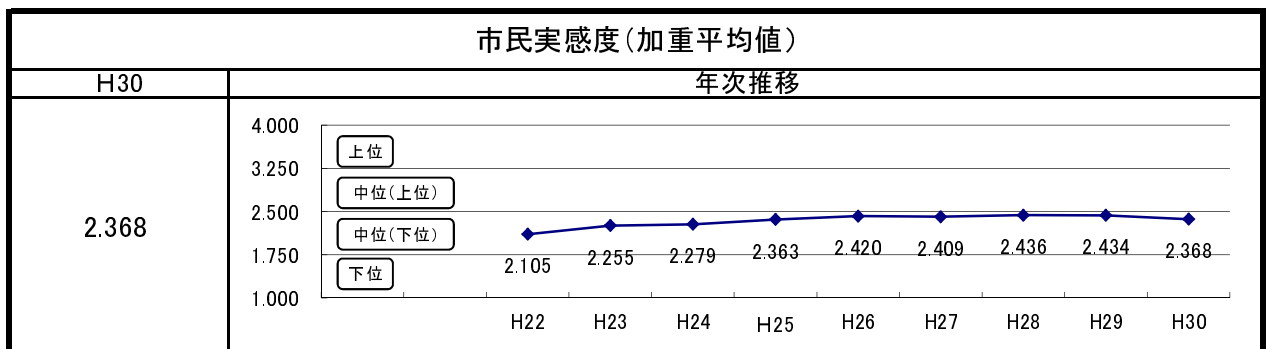


問16-A 意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が41.5%（315人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が53.1%（403人）となっています。
- 市民実感度は、2.368となっており、昨年に比べて0.066下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した403人のうち、385人がその理由を回答しており、理由として「女性や高齢者の働く場が少ないから」が最も多く、22.3%（86人）となっています。



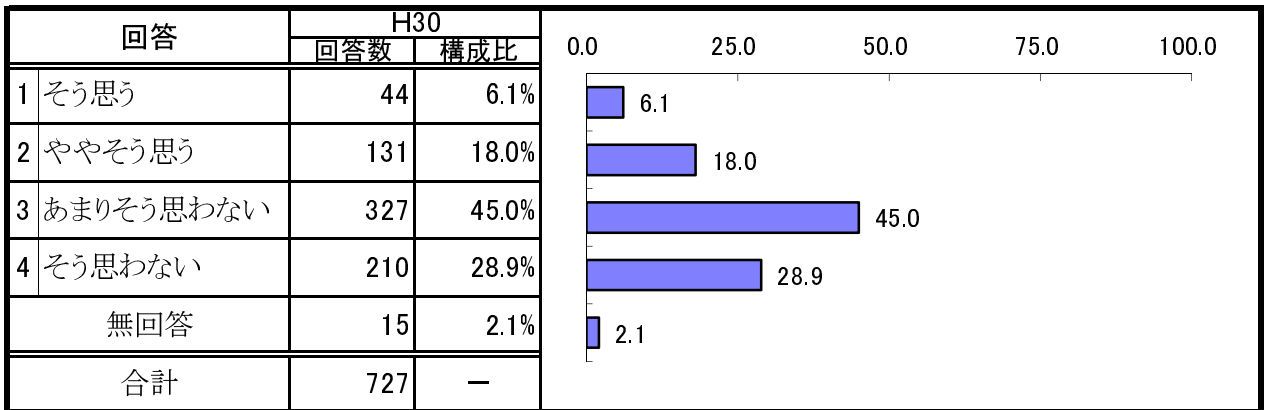
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 若い人の働く場が少ないから	73	19.0%
b 女性や高齢者の働く場が少ないから	86	22.3%
c 能力や経験を活かせる職場が少ないから	59	15.3%
d 育児制度などの福利厚生が整っている会社が少ないから	79	20.5%
e 働くために必要な能力を身につけるための機関や制度が十分でないから	54	14.0%
f その他	34	8.8%
有効回答数	385	—



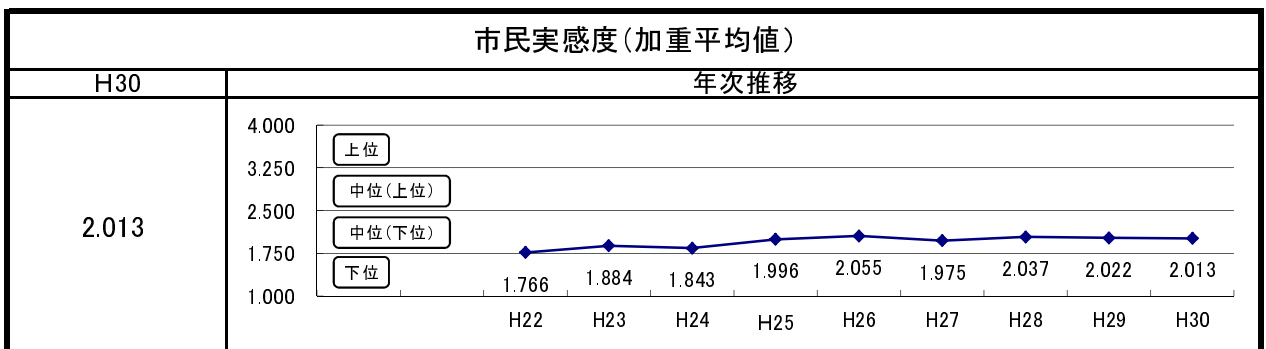


問16-B 中心市街地に魅力とにぎわいがある

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が24.1%（175人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が73.9%（537人）となっています。
- 市民実感度は、2.013となっており、昨年に比べて0.009下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した537人のうち、506人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある店舗が少ないから」が最も多く、65.8%（333人）となっています。

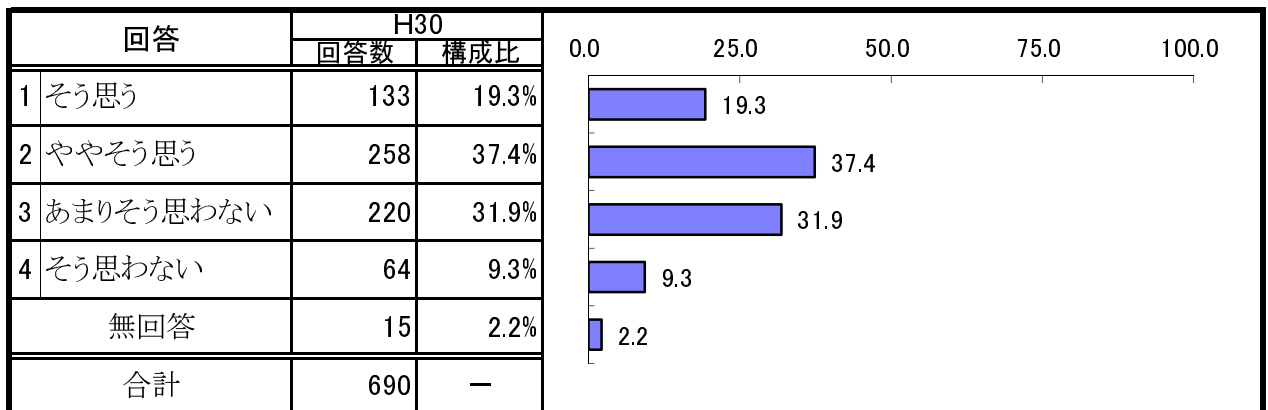


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 魅力ある店舗が少ないから	333	65.8%
b 中心市街地への交通の利便性が悪いから	65	12.8%
c 各種イベントに魅力がないから	54	10.7%
d その他	54	10.7%
有効回答数	506	—

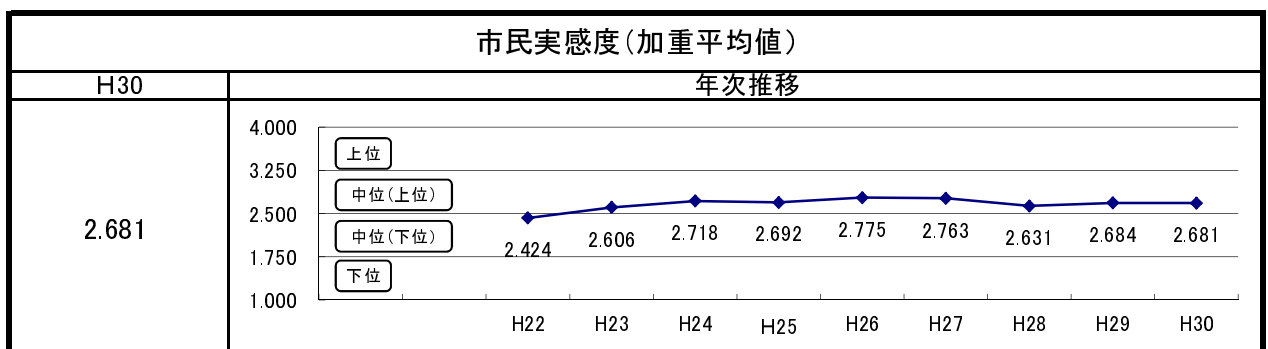


問16-C 自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が56.7%（391人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が41.2%（284人）となっています。
- 市民実感度は、2.681となっており、昨年に比べて0.003下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した284人のうち、272人がその理由を回答しており、理由として「魅力ある観光地が少ないから」が最も多く、40.1%（109人）となっています。

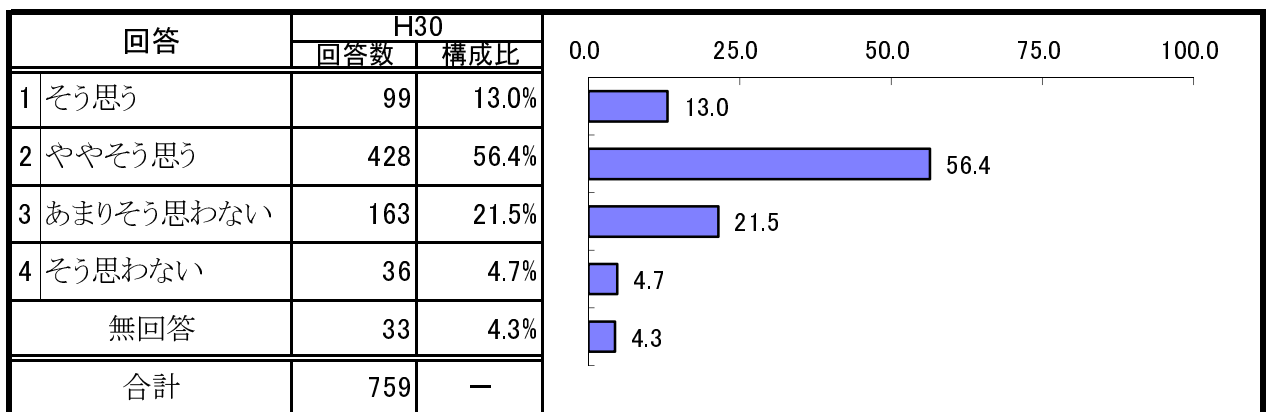


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 魅力ある観光地が少ないから	109	40.1%
b 観光イベントに魅力がないから	64	23.5%
c 観光情報の発信やPRが不足しているから	87	32.0%
d その他	12	4.4%
有効回答数	272	—

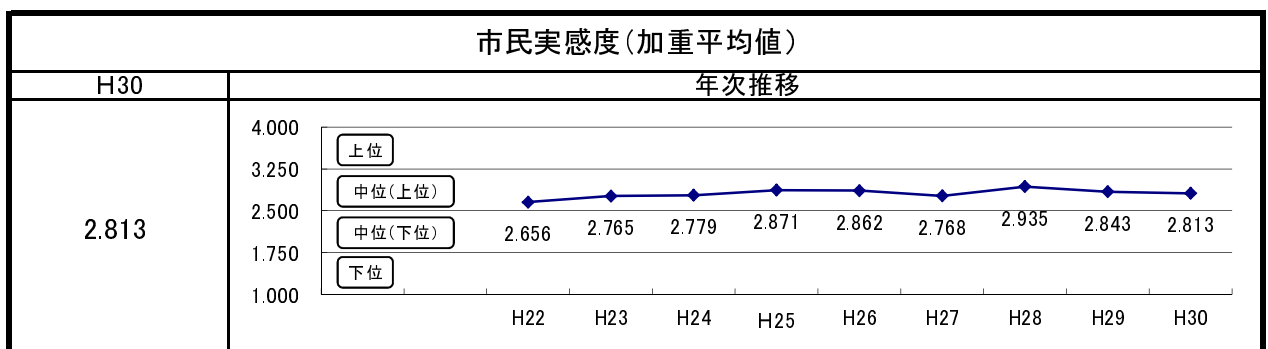


問17-A 自然環境が保全され、 環境への負荷を低減する取り組みが行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が69.4%（527人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が26.2%（199人）となっています。
- 市民実感度は、2.813となっており、昨年に比べて0.030下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した199人のうち、194人がその理由を回答しており、理由として「環境保全に関する意識が低いから」が最も多く、38.1%（74人）となっています。

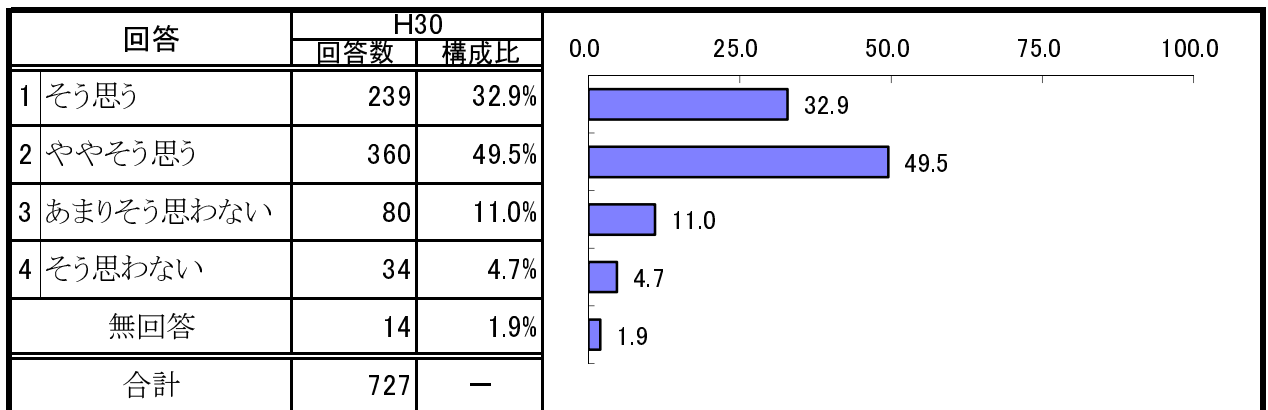


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 環境保全に関する意識が低いから	74	38.1%
b 公共施設における新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから	27	13.9%
c 一般家庭への新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから	34	17.5%
d 騒音や悪臭が気になるから	19	9.8%
e 市内の良好な自然環境が守られていないから	25	12.9%
f その他	15	7.7%
有効回答数	194	—

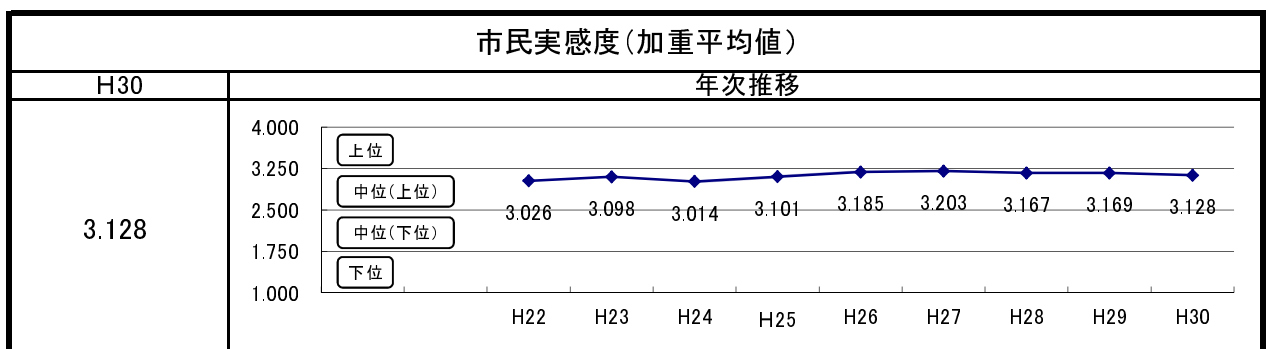


問17-B ごみの減量やリサイクルなど、 廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が82.4%（599人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が15.7%（114人）となっています。
- 市民実感度は、3.128となっており、昨年に比べて0.041下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した114人のうち、110人がその理由を回答しており、理由として「行政の取り組みや周知が十分でないから」が最も多く、26.4%（29人）となっています。

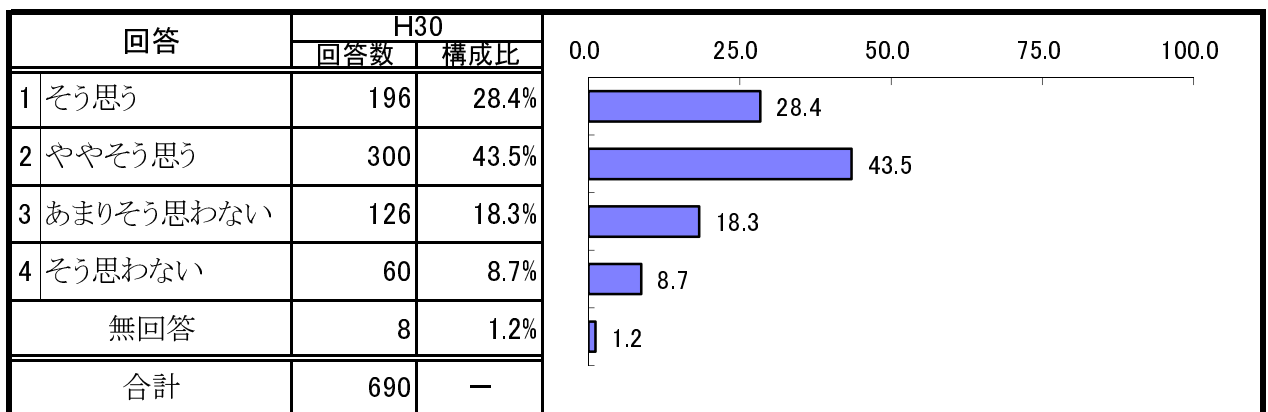


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a ごみの分別や排出日が守られていないから	26	23.6%
b 再使用や資源化に関する意識が低いから	25	22.7%
c 事業者のごみ減量や資源再生利用の取り組みが十分でないから	9	8.2%
d 行政の取り組みや周知が十分でないから	29	26.4%
e その他	21	19.1%
有効回答数	110	—

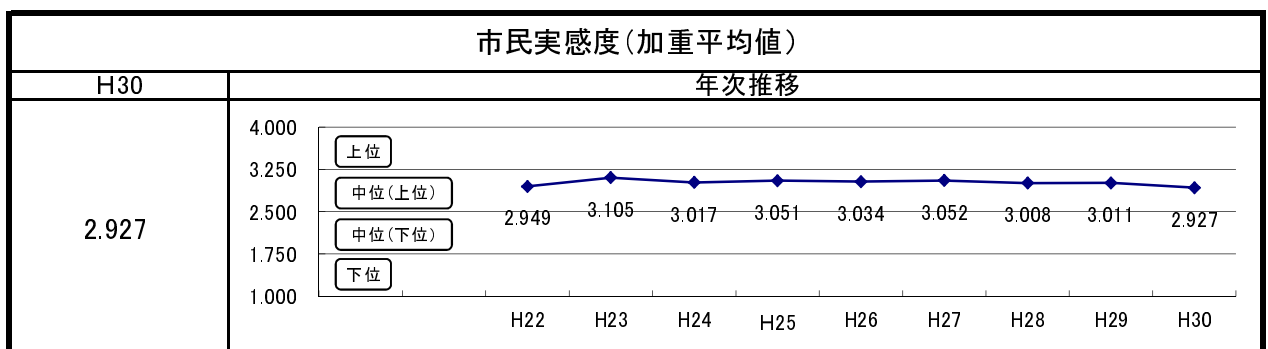


問17-C 公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が71.9%（496人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が27.0%（186人）となっています。
- 市民実感度は、2.927となっており、昨年に比べて0.084下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した186人のうち、175人がその理由を回答しており、理由として「街路樹の管理が十分に行われていないから」が最も多く、35.4%（62人）となっています。

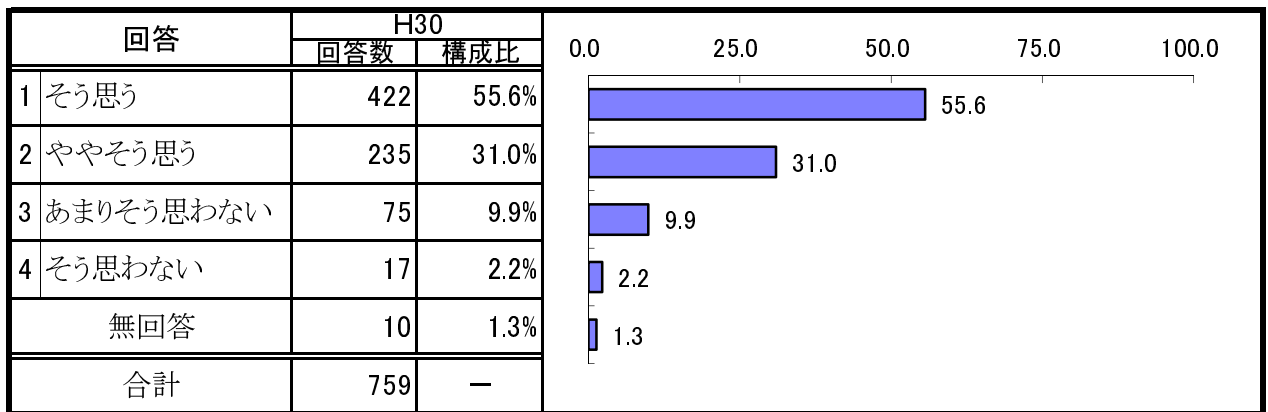


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 身近なところに緑に親しめる公園が少ないから	22	12.6%
b 身近なところに緑が少ないから	11	6.3%
c 公園の管理が十分に行われていないから	42	24.0%
d 街路樹の管理が十分に行われていないから	62	35.4%
e 緑化に関する意識が低いから	19	10.9%
f その他	19	10.9%
有効回答数	175	—

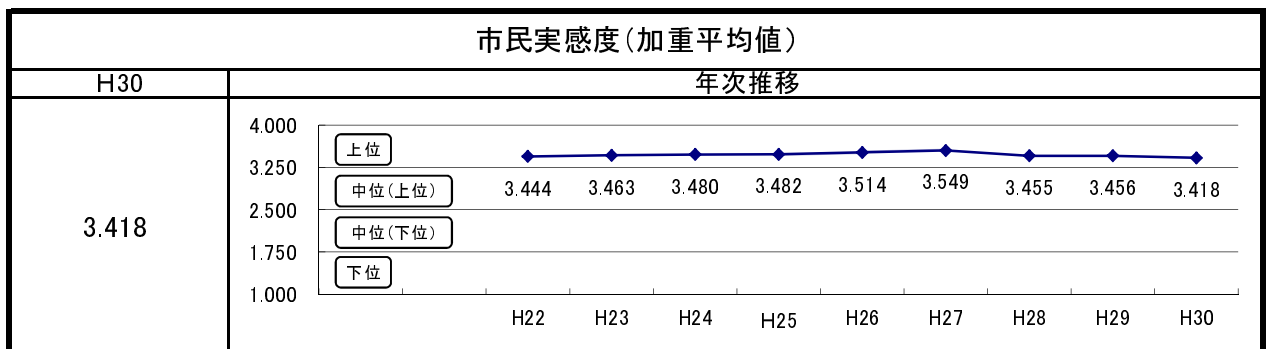


問18-A おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が86.6%（657人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が12.1%（92人）となっています。
- 市民実感度は、3.418となっており、昨年に比べて0.038下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した92人のうち、90人がその理由を回答しており、理由として「水道水がおいしいと感じないから」が最も多く、51.1%（46人）となっています。

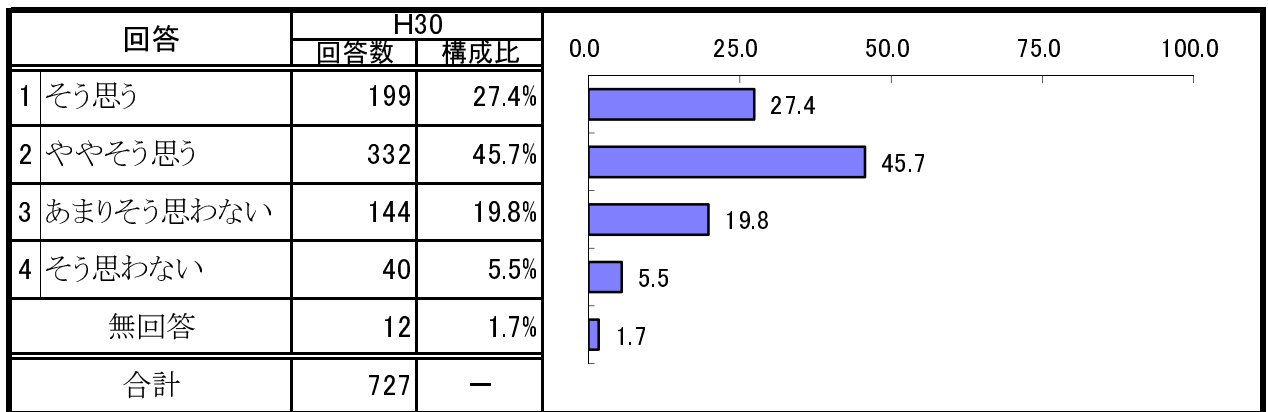


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 水道水がおいしいと感じないから	46	51.1%
b 断水や濁水などが発生したことがあるから	5	5.6%
c 災害時の不安があるから	22	24.4%
d その他	17	18.9%
有効回答数	90	—

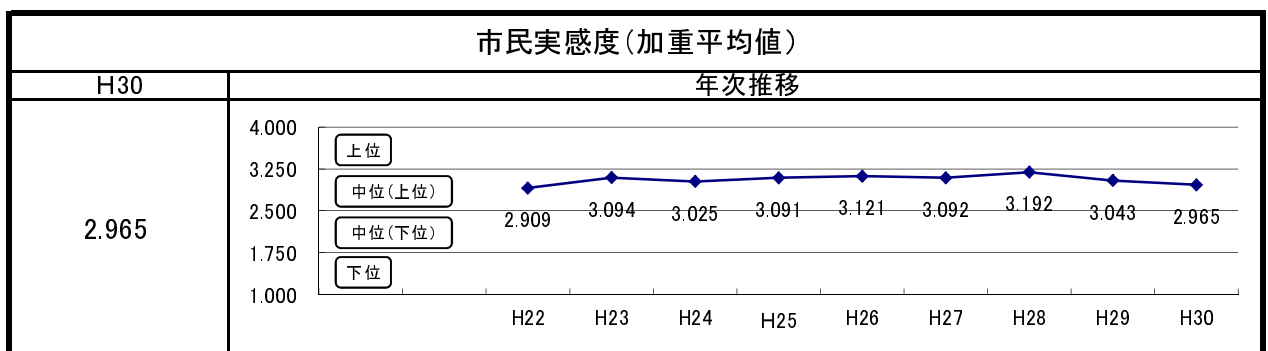


問18-B 生活廃水や雨水が適切に処理されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が73.1%（531人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が25.3%（184人）となっています。
- 市民実感度は、2.965となっており、昨年に比べて0.078下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した184人のうち、178人がその理由を回答しており、理由として「降雨時に浸水するところがあるから」が最も多く、57.9%（103人）となっています。



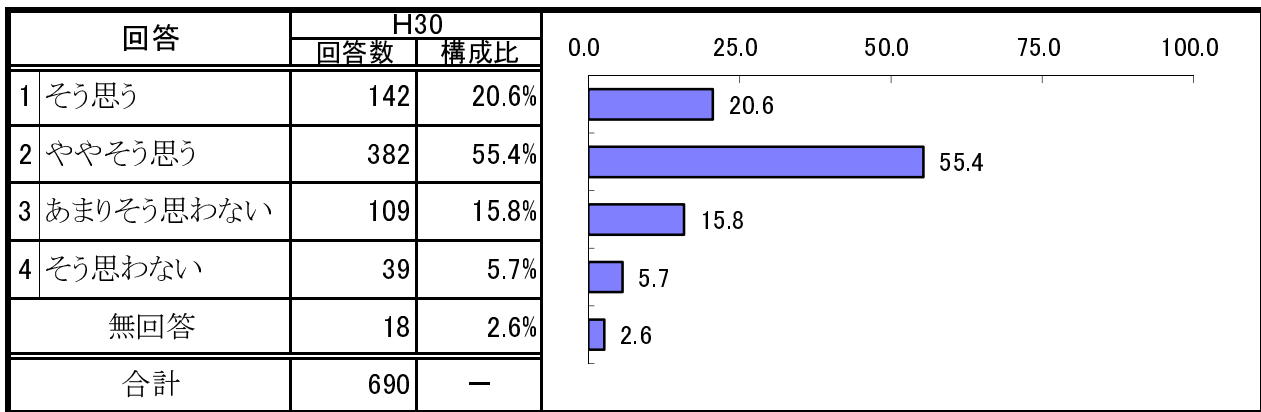
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 下水道が普及していないところがあるから	17	9.6%
b 降雨時に浸水するところがあるから	103	57.9%
c 災害時の不安があるから	52	29.2%
d その他	6	3.4%
有効回答数	178	—



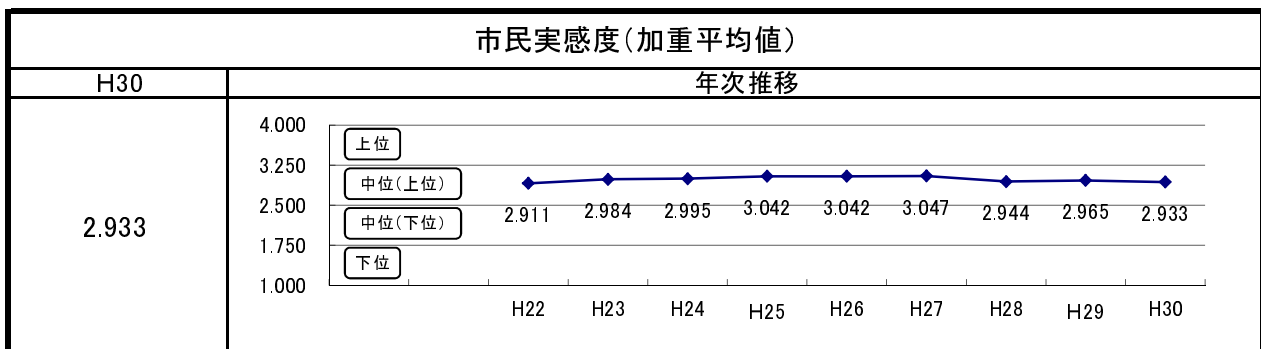


問18-C 快適で住みやすい居住空間が確保されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が76.0%（524人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が21.5%（148人）となっています。
- 市民実感度は、2.933となっており、昨年に比べて0.032下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した148人のうち、140人がその理由を回答しており、理由として「住宅地の価格が高いから」が最も多く、27.9%（39人）となっています。

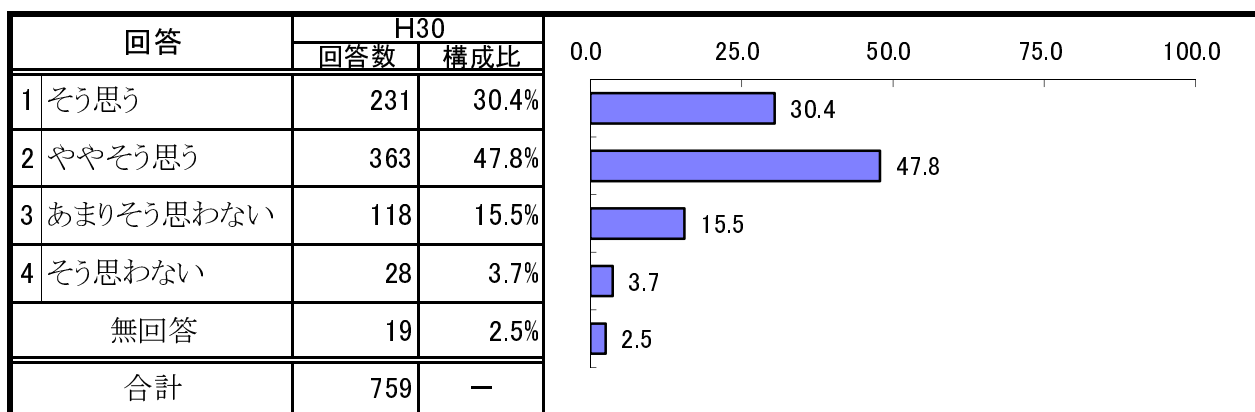


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 住宅地の価格が高いから	39	27.9%
b 住宅や住宅地に関する情報が少ないから	38	27.1%
c 公営住宅を希望しても入れないから	32	22.9%
d その他	31	22.1%
有効回答数	140	—

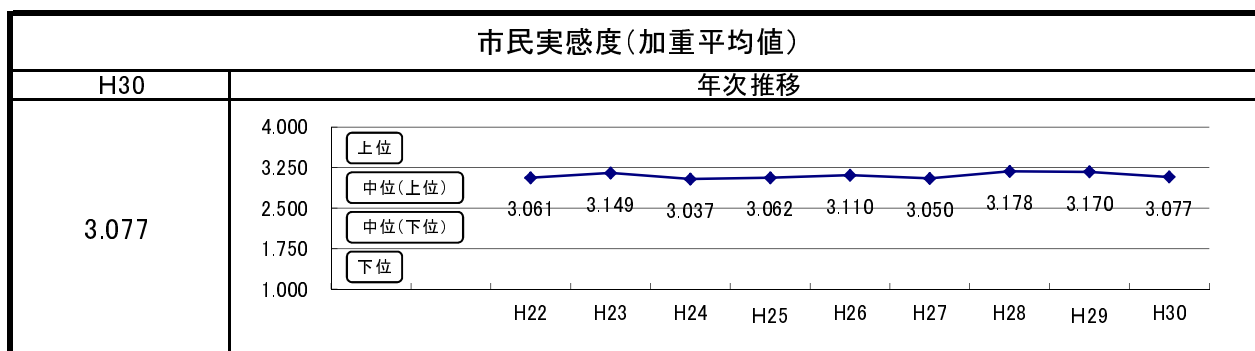


問19-A 都市部や農村部において、 帯広・十勝らしい景観が形成されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が78.2%（594人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が19.2%（146人）となっています。
- 市民実感度は、3.077となっており、昨年に比べて0.093下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した146人全員がその理由を回答しており、理由として「景観を見て楽しめる場所が少ないから」が最も多く、53.4%（78人）となっています。

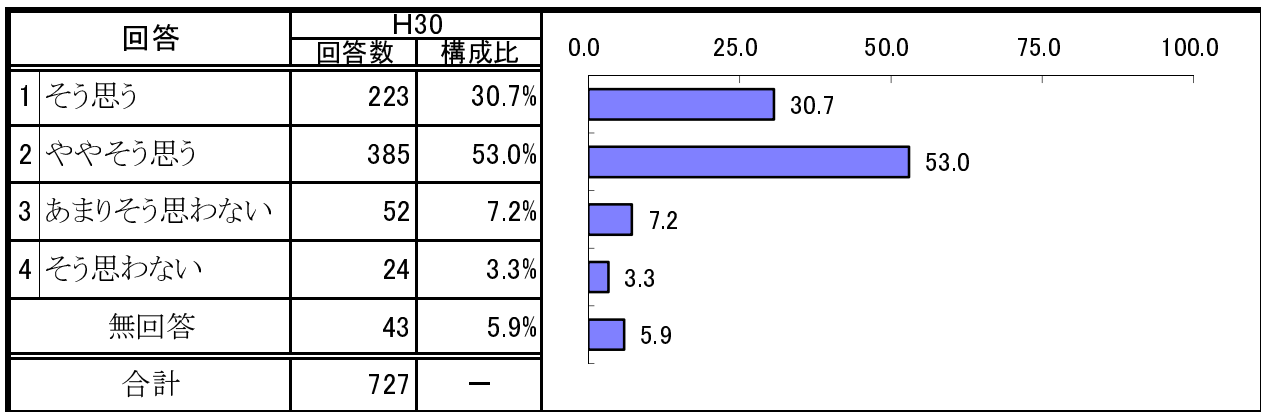


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 駅周辺の景観が損なわれているから	24	16.4%
b 駅周辺以外の市街地の景観が損なわれているから	27	18.5%
c 農村部・山林部の景観が損なわれているから	8	5.5%
d 景観を見て楽しめる場所が少ないから	78	53.4%
e その他	9	6.2%
有効回答数	146	—

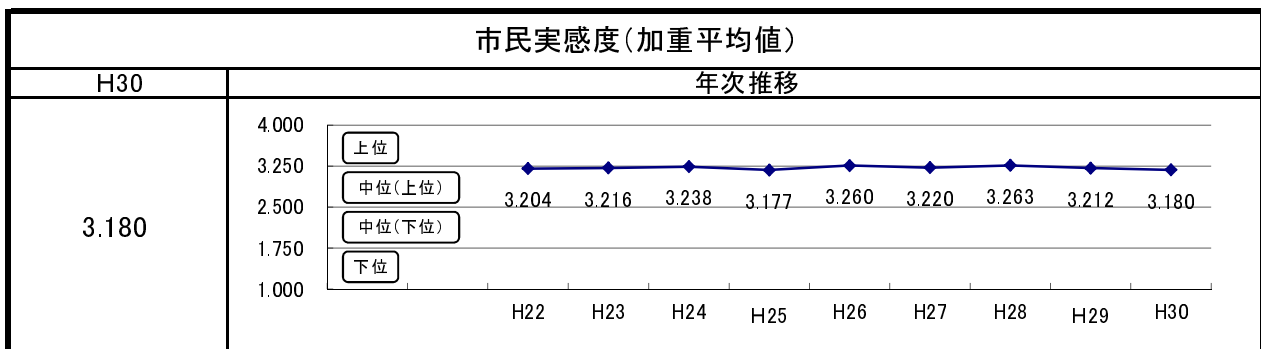


問19-B 墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が83.7%（608人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が10.5%（76人）となっています。
- 市民実感度は、3.180となっており、昨年に比べて0.032下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した76人のうち、74人がその理由を回答しており、理由として「その他」が最も多く、次いで「市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから」が31.1%（23人）となっています。

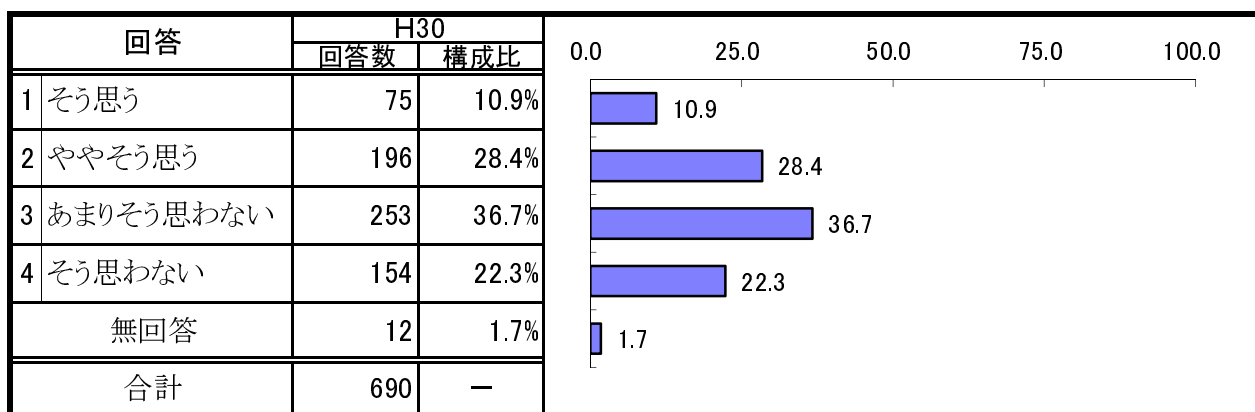


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから	23	31.1%
b 墓地の管理が十分でないから	13	17.6%
c 火葬場の管理が十分でないから	9	12.2%
d その他	29	39.2%
有効回答数	74	—

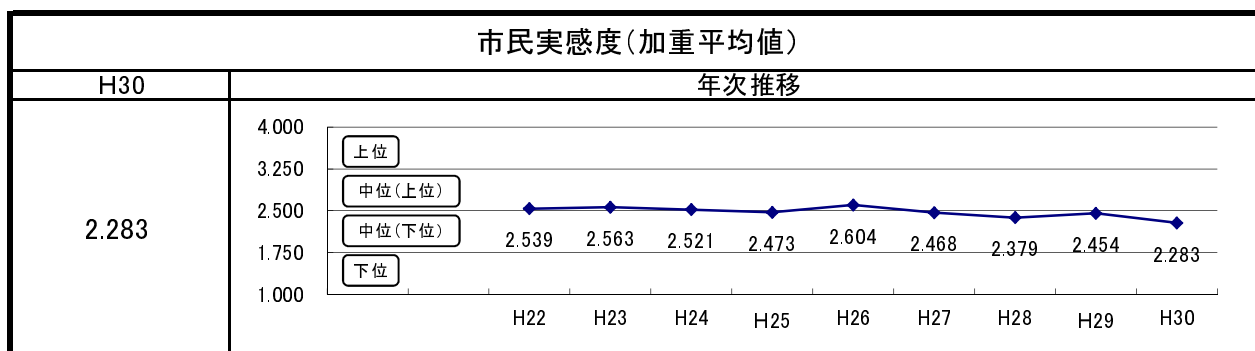


問19-C 幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が39.3%（271人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が59.0%（407人）となっています。
- 市民実感度は、2.283となっており、昨年に比べて0.171下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した407人のうち、391人がその理由を回答しており、理由として「道路や歩道の除雪が十分でないから」が最も多く、67.0%（262人）となっています。

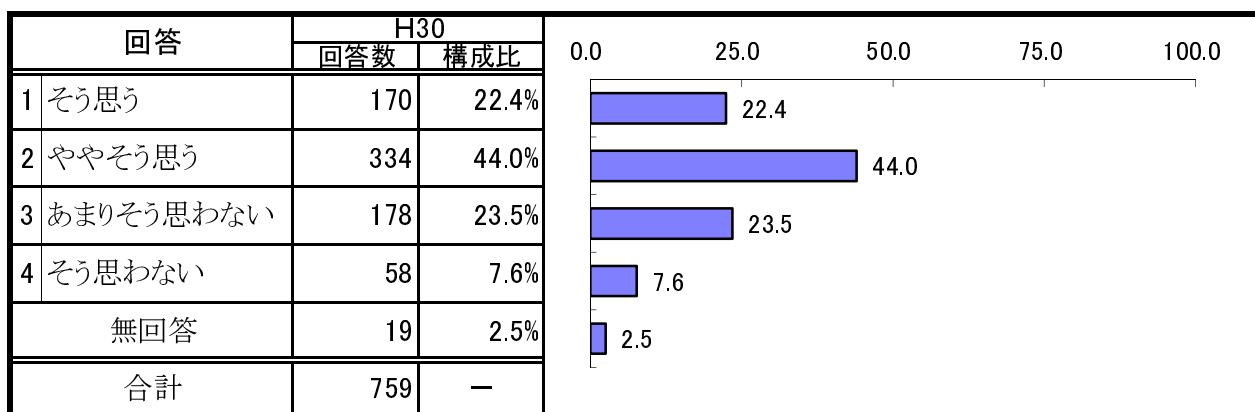


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 整備されていない道路があるから	41	10.5%
b 道路が適切に維持管理されていないから	48	12.3%
c 道路や歩道の除雪が十分でないから	262	67.0%
d その他	40	10.2%
有効回答数	391	—

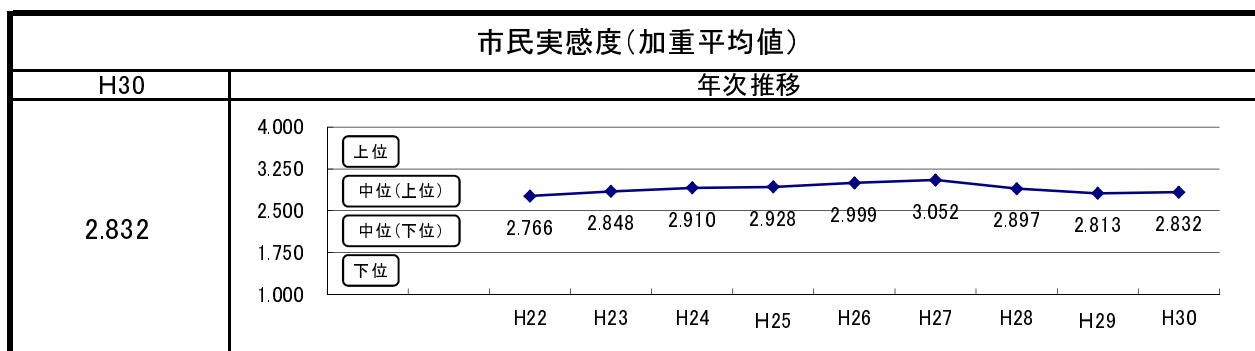


問20-A 空港、バス、高速道路など、 交通の利便性が確保されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が66.4%（504人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が31.1%（236人）となっています。
- 市民実感度は、2.832となっており、昨年に比べて0.019上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した236人のうち、223人がその理由を回答しており、理由として「バスの利便性が良くないから」が最も多く、54.3%（121人）となっています。

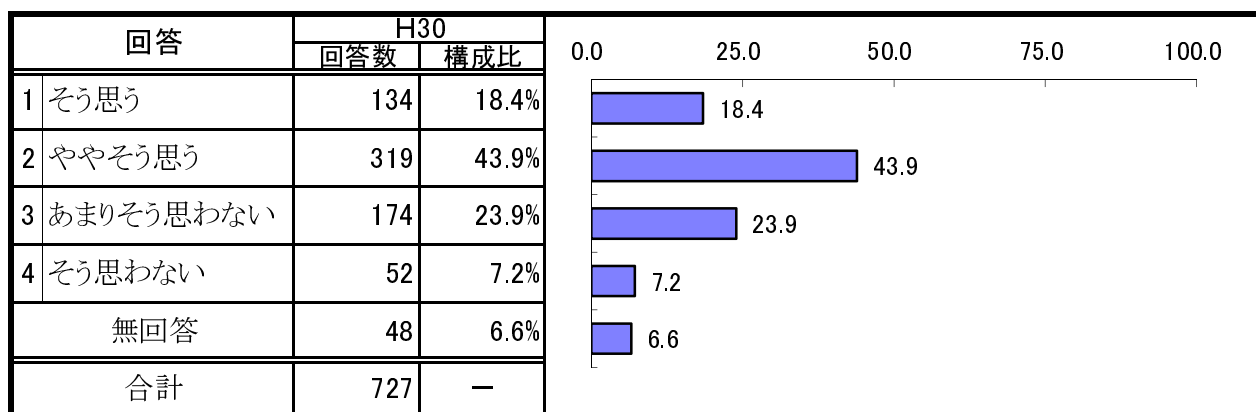


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 航空の利便性が良くないから	49	22.0%
b 鉄道の利便性が良くないから	24	10.8%
c バスの利便性が良くないから	121	54.3%
d 高速道路の利便性が良くないから	17	7.6%
e その他	12	5.4%
有効回答数	223	—

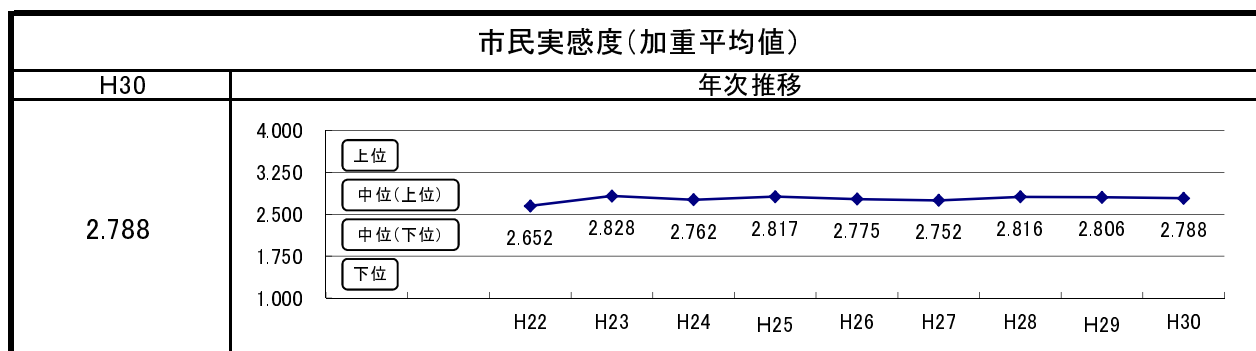


問20-B 高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が62.3%（453人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が31.1%（226人）となっています。
- 市民実感度は、2.788となっており、昨年に比べて0.018下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した226人のうち、222人がその理由を回答しており、理由として「パソコンやインターネットの使い方が分からないから」が最も多く、47.7%（106人）となっています。



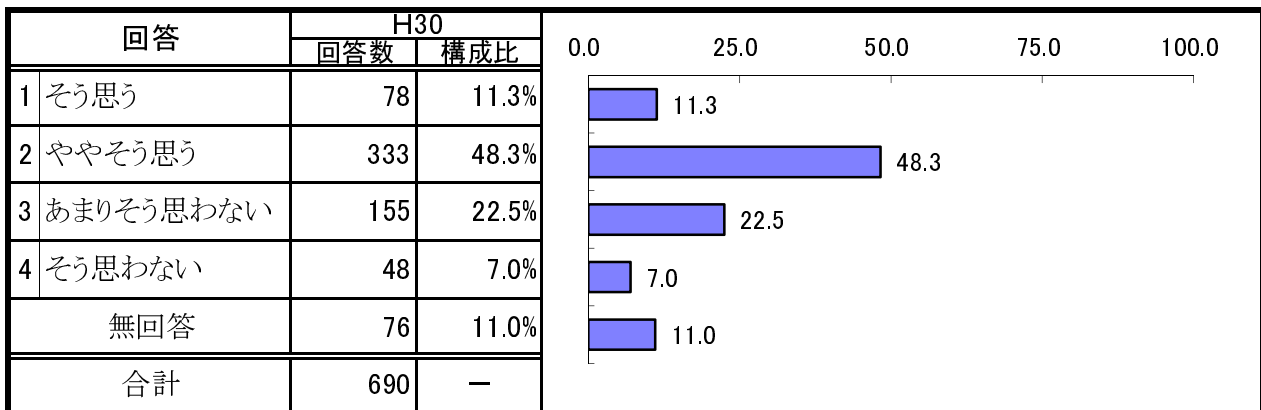
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 高速インターネットを利用できる環境が整っていないから	57	25.7%
b パソコンやインターネットの使い方が分からないから	106	47.7%
c 利用したい情報サービスが少ないから	37	16.7%
d その他	22	9.9%
有効回答数	222	—



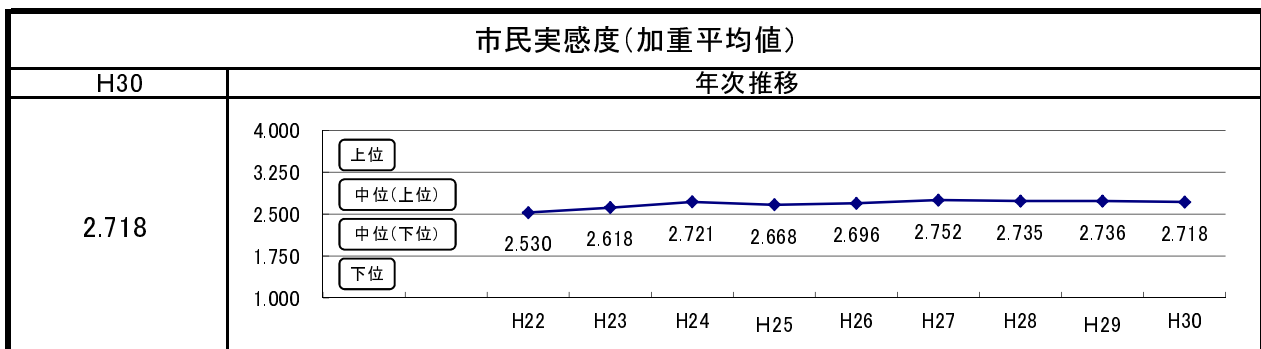


問20-C 小学校・中学校において充実した教育が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が59.6%（411人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が29.5%（203人）となっています。
- 市民実感度は、2.718となっており、昨年に比べて0.018下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した203人のうち、194人がその理由を回答しており、理由として「子どもの道徳心が育っていないから」が最も多く、26.3%（51人）となっています。

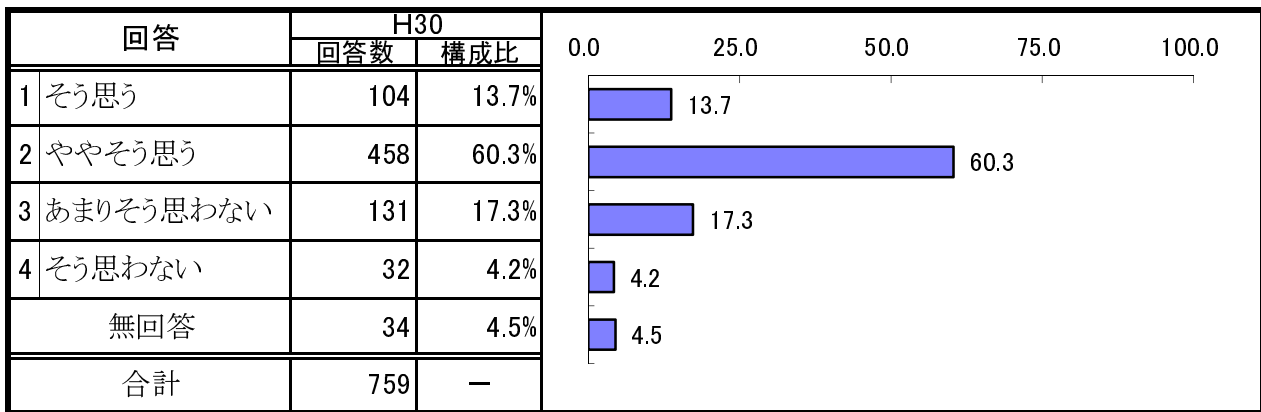


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 子どもの学力が低下しているから	34	17.5%
b 子どもの体力が低下しているから	20	10.3%
c 子どもの道徳心が育っていないから	51	26.3%
d 教師の指導力が不足しているから	44	22.7%
e その他	45	23.2%
有効回答数	194	—

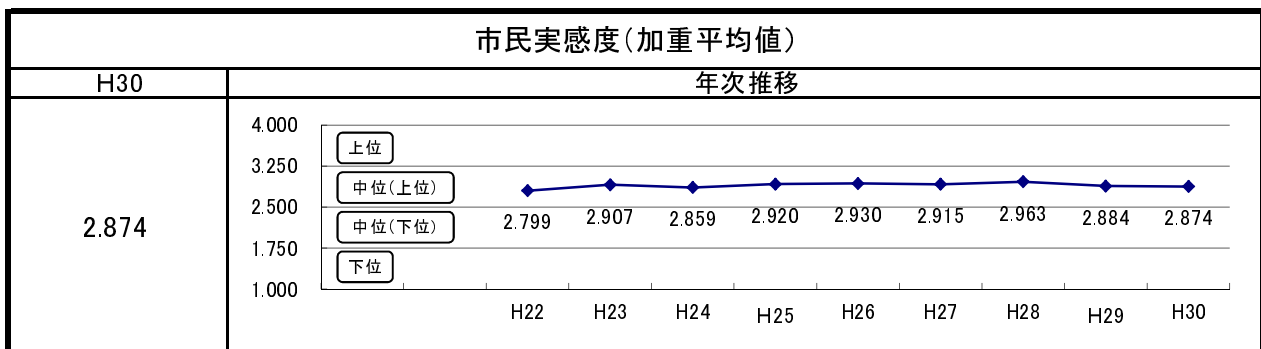


問21-A 子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が74.0%（562人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が21.5%（163人）となっています。
- 市民実感度は、2.874となっており、昨年に比べて0.010下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した163人のうち、160人がその理由を回答しており、理由として「特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから」が最も多く、28.1%（45人）となっています。



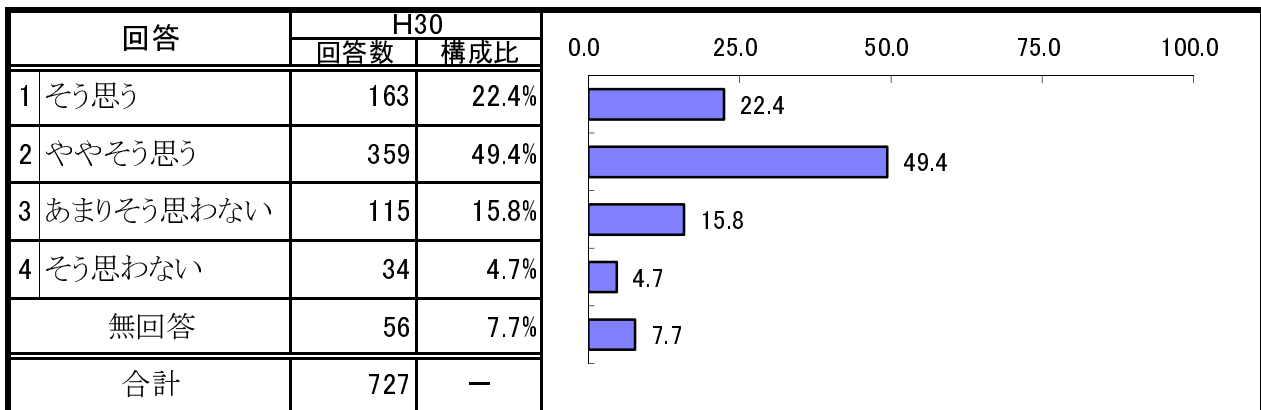
上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 学校施設の改修等がすすんでいないから	42	26.3%
b 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから	45	28.1%
c 教育に関する情報が、保護者に十分に提供されていないから	38	23.8%
d その他	35	21.9%
有効回答数	160	—



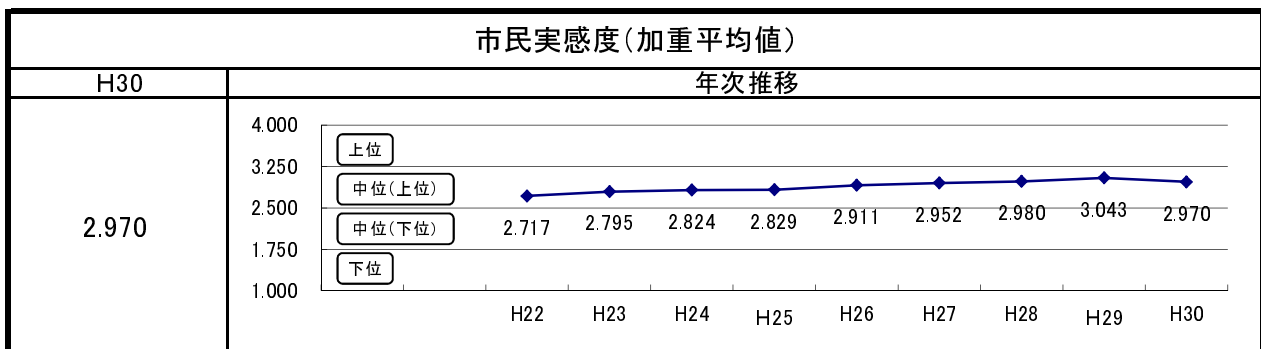


問21-B 高等学校において充実した教育が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が71.8%（522人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が20.5%（149人）となっています。
- 市民実感度は、2.970となっており、昨年に比べて0.073下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した149人のうち、144人がその理由を回答しており、理由として「社会性を育む教育が行われていないから」が最も多く、36.1%（52人）となっています。

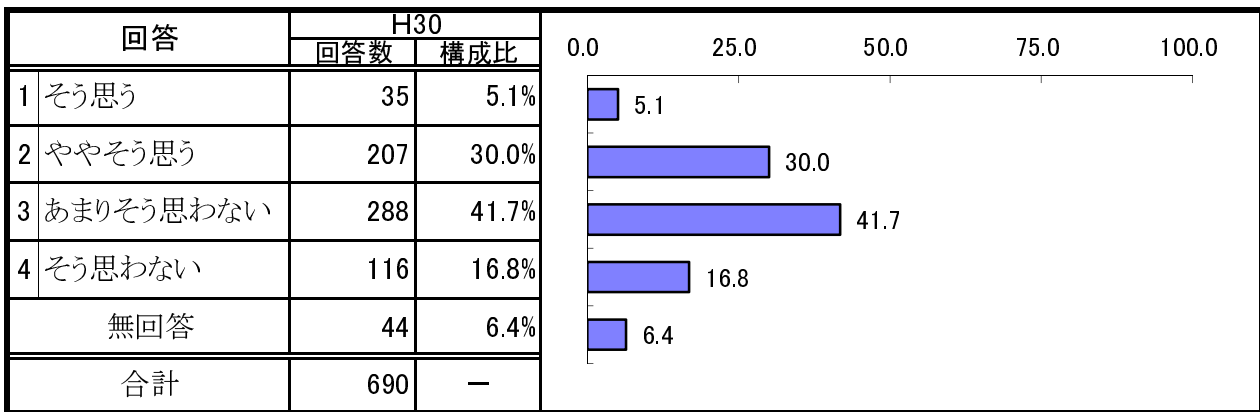


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 特色ある教育が行われていないから	30	20.8%
b 学習内容が身につけていないから	19	13.2%
c 社会性を育む教育が行われていないから	52	36.1%
d その他	43	29.9%
有効回答数	144	—

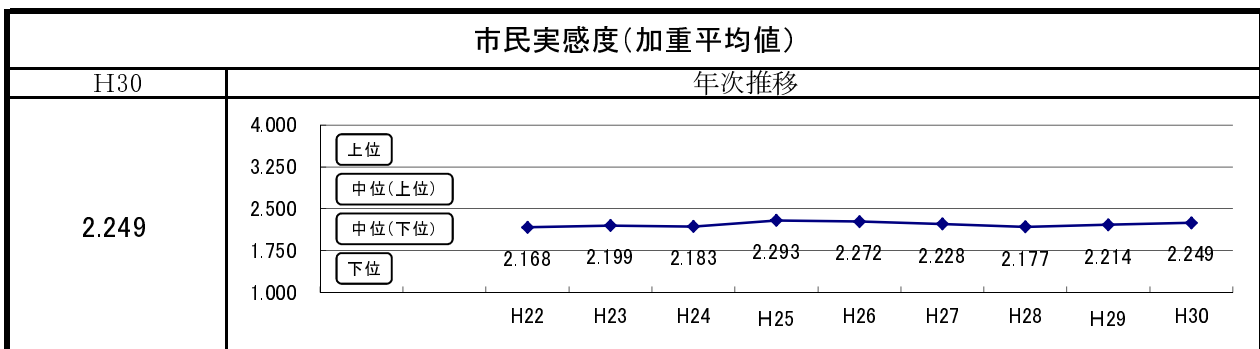


問21-C 大学や専修学校など、 高度な教育を受けることができる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が35.1%（242人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が58.5%（404人）となっています。
- 市民実感度は、2.249となっており、昨年に比べて0.035上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した404人のうち、392人がその理由を回答しており、理由として「大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから」が最も多く、44.4%（174人）となっています。

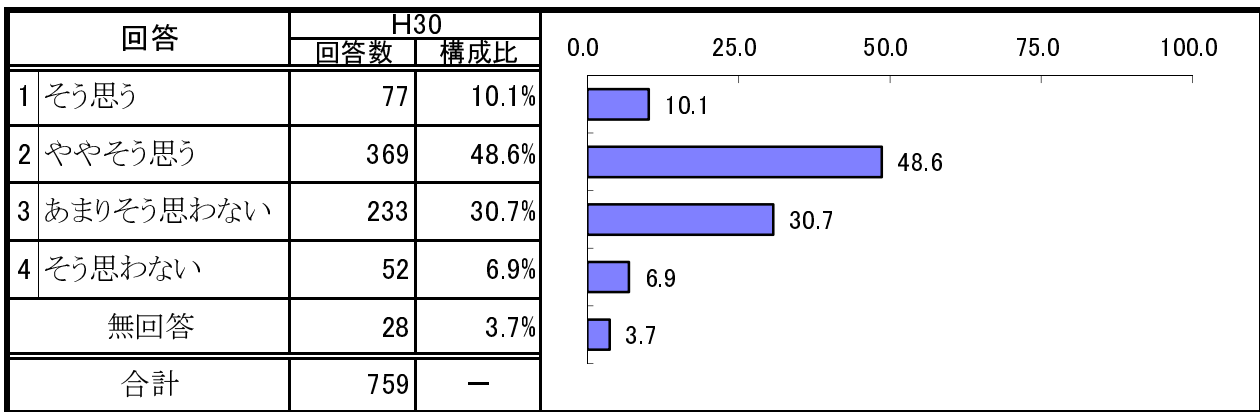


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから	174	44.4%
b 地元の大学などに学びたい分野(学部、学科、コース)がないから	113	28.8%
c 働きながら学ぶことのできる環境が整っていないから	42	10.7%
d 地域産業を支える人材育成の取組みが充実していないから	35	8.9%
e 大学などを活用した市民の生涯学習機会が充実していないから	15	3.8%
f その他	13	3.3%
有効回答数	392	—

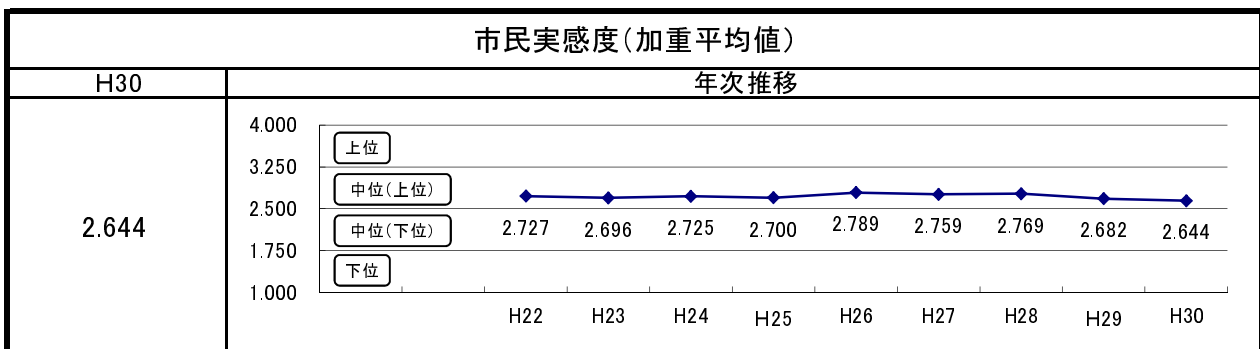


問22-A 生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が58.7%（446人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が37.6%（285人）となっています。
- 市民実感度は、2.644となっており、昨年に比べて0.038下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した285人のうち、274人がその理由を回答しており、理由として「学習に関する情報が少ないから」が最も多く、32.5%（89人）となっています。

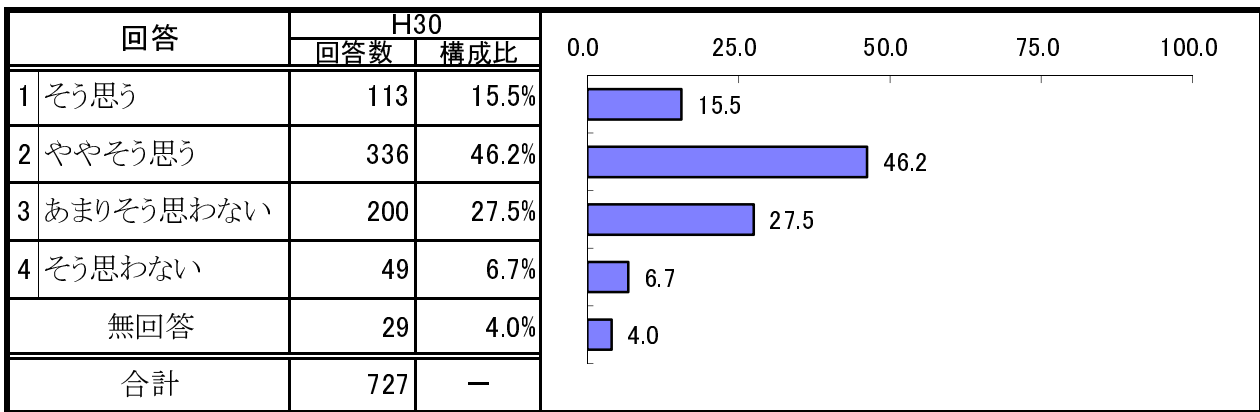


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 参加したいと思う講座が少ないから	85	31.0%
b 学習に関する情報が少ないから	89	32.5%
c 社会教育施設に魅力がないから	60	21.9%
d 学習成果を活かす機会が少ないから	25	9.1%
e その他	15	5.5%
有効回答数	274	—

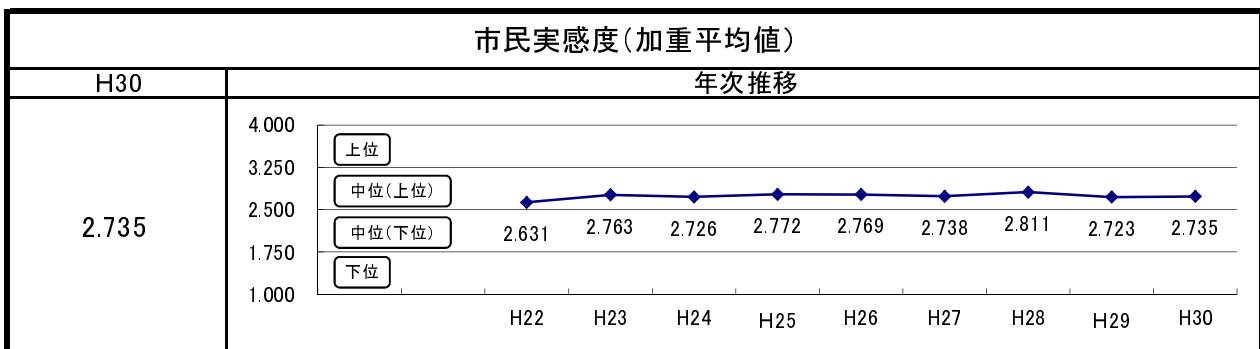


問22-B 芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が61.7%（449人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が34.2%（249人）となっています。
- 市民実感度は、2.735となっており、昨年に比べて0.012上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した249人のうち、243人がその理由を回答しており、理由として「芸術・文化に関する情報が十分でないから」が最も多く、43.6%（106人）となっています。

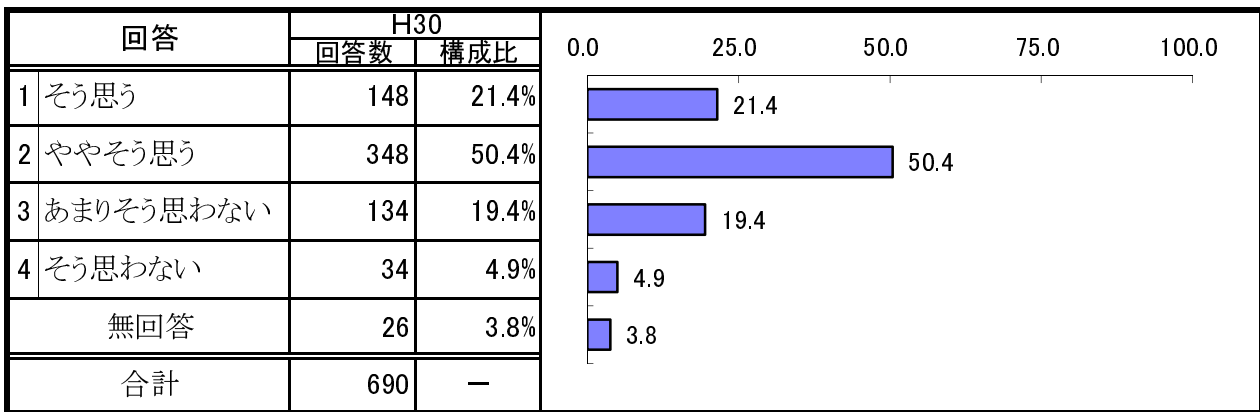


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 芸術・文化の発表や活動の場が少ないから	31	12.8%
b 芸術・文化に関する情報が十分でないから	106	43.6%
c 芸術・文化に親しむ時間がないから	65	26.7%
d 芸術・文化に関する指導者が少ないから	18	7.4%
e その他	23	9.5%
有効回答数	243	—

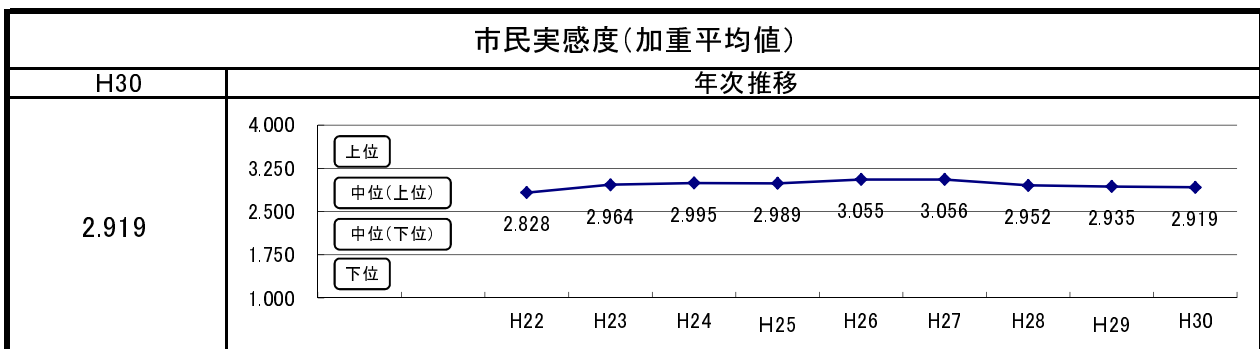


問22-C スポーツを楽しむことができる環境が整っている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が71.8%（496人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が24.3%（168人）となっています。
- 市民実感度は、2.919となっており、昨年に比べて0.016下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した168人のうち、158人がその理由を回答しており、理由として「スポーツ施設が利用しにくいから」が最も多く、38.6%（61人）となっています。

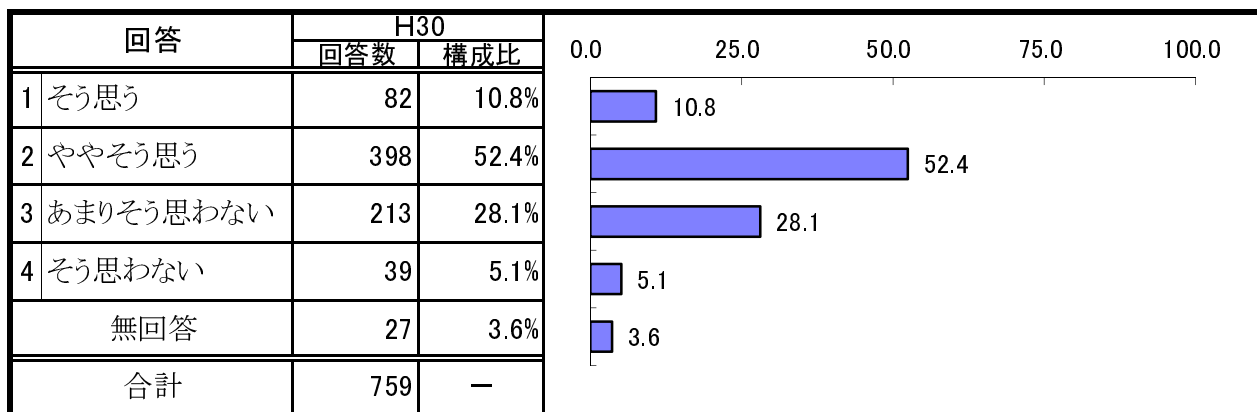


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a スポーツに親しむことができる機会が少ないから	47	29.7%
b スポーツ教室・講習会などに魅力がないから	24	15.2%
c スポーツ施設が利用しにくいから	61	38.6%
d 一流選手が出場する大会などが少ないから	11	7.0%
e その他	15	9.5%
有効回答数	158	—

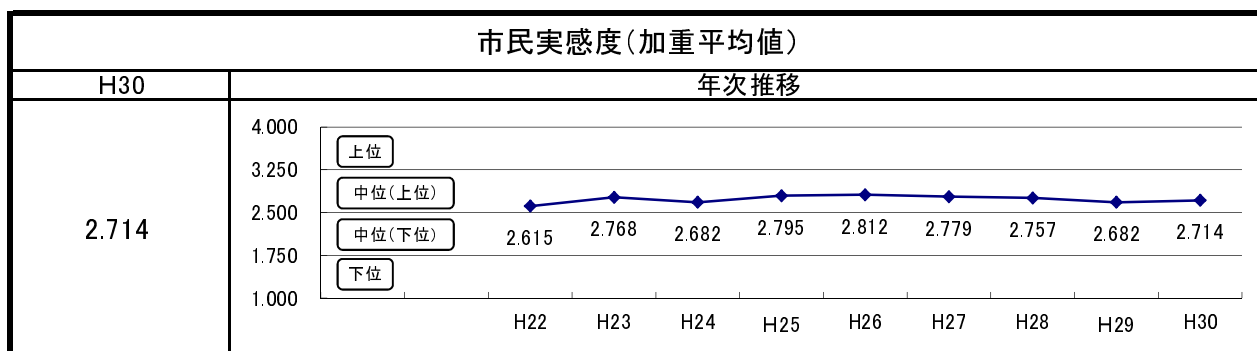


問23-A 平和で差別や虐待がなく、 市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が63.2%（480人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が33.2%（252人）となっています。
- 市民実感度は、2.714となっており、昨年に比べて0.032上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した252人のうち、245人がその理由を回答しており、理由として「差別や偏見があるから」が最も多く、40.0%（98人）となっています。

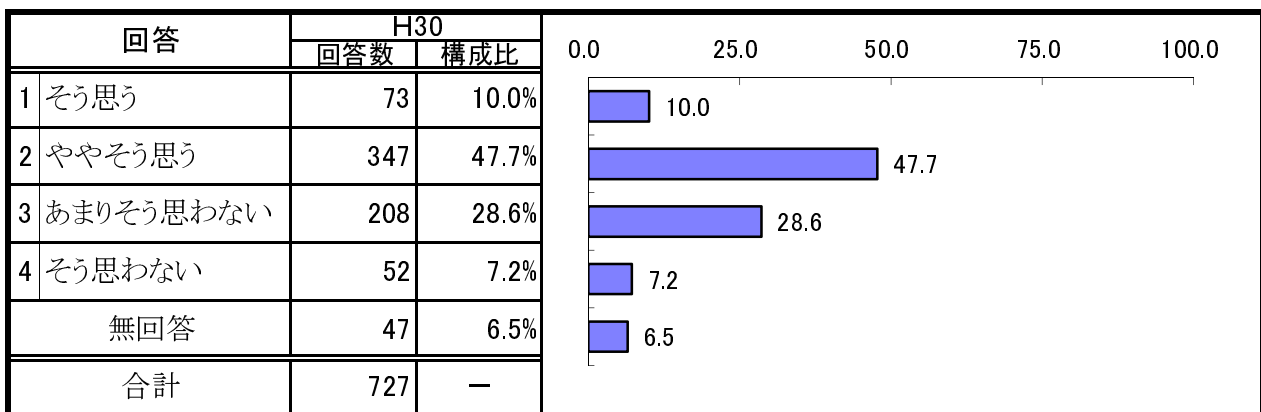


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 平和の大切さを知る機会が少ないから	62	25.3%
b 差別や偏見があるから	98	40.0%
c 子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから	67	27.3%
d その他	18	7.3%
有効回答数	245	—

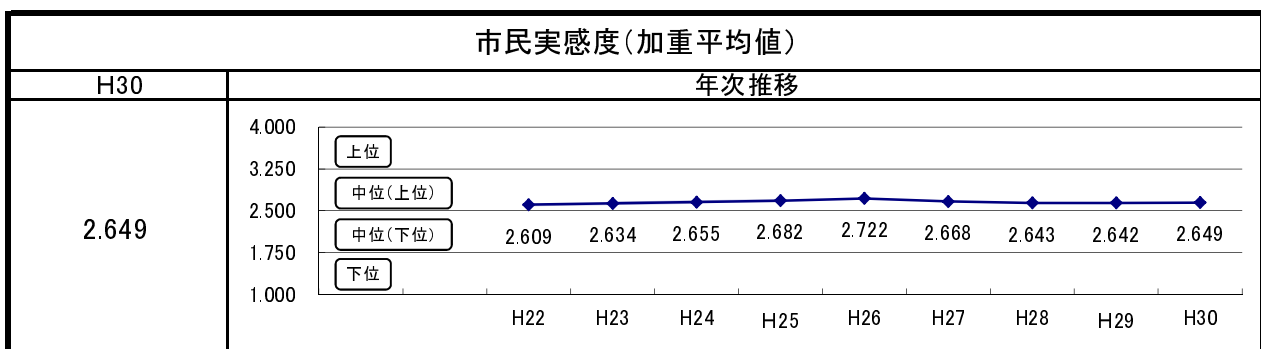


問23-B 男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が57.7%（420人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が35.8%（260人）となっています。
- 市民実感度は、2.649となっており、昨年に比べて0.007上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した260人のうち、251人がその理由を回答しており、理由として「仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから」が最も多く、44.6%（112人）となっています。

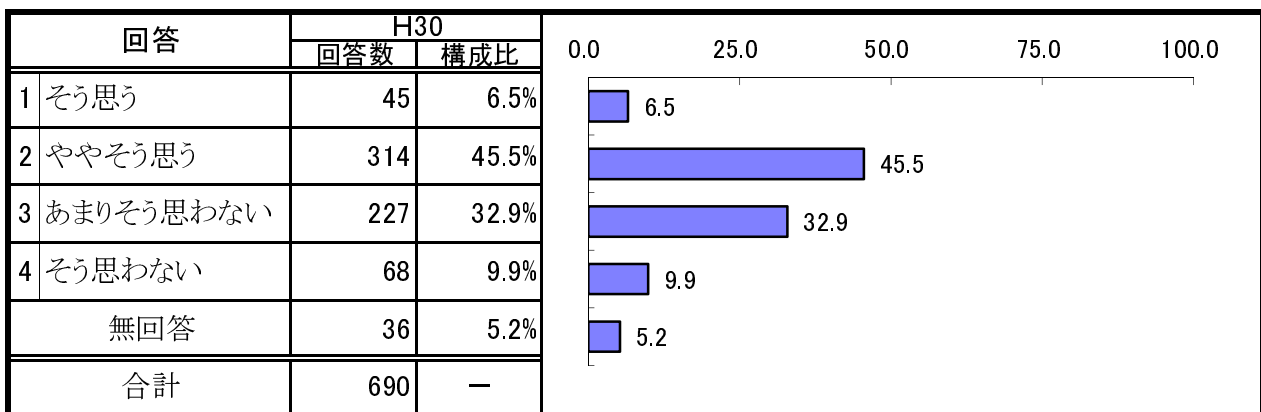


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから	72	28.7%
b 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから	112	44.6%
c 女性の社会参画がすすんでいないから	49	19.5%
d その他	18	7.2%
有効回答数	251	—

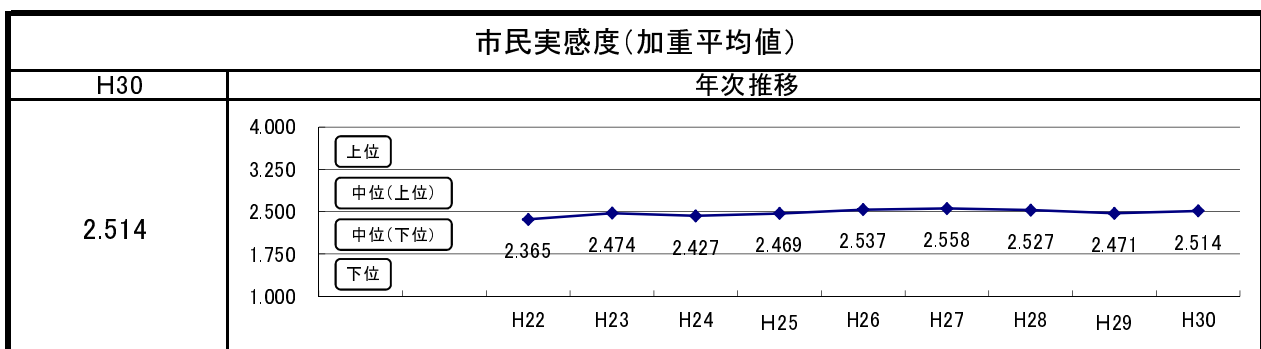


問23-C 誰もが利用しやすいユニバーサルデザイン（UD） によるまちづくりが行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が52.0%（359人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が42.8%（295人）となっています。
- 市民実感度は、2.514となっており、昨年に比べて0.043上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した295人のうち、286人がその理由を回答しており、理由として「住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから」が最も多く、28.0%（80人）となっています。

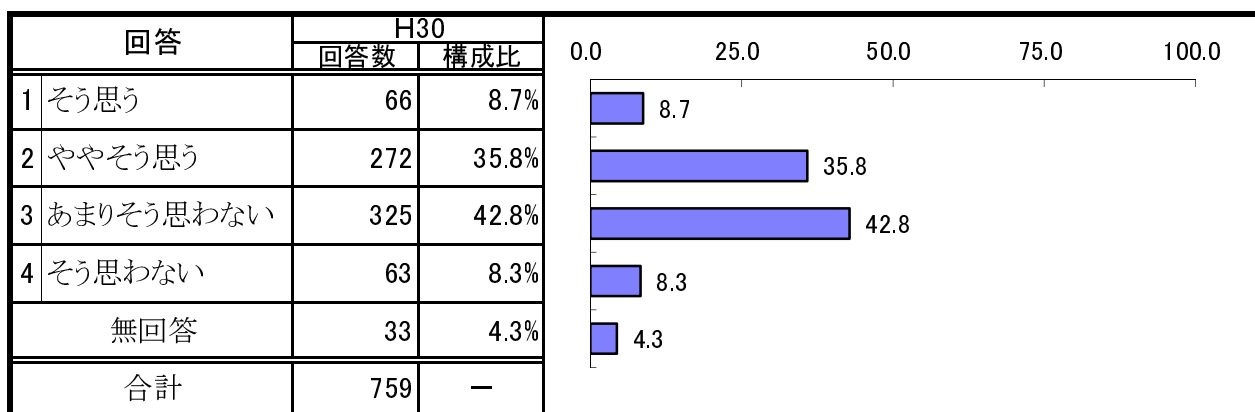


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 道路や公園、市役所などの公共施設のUD化がすすんでいないから	53	18.5%
b 住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから	80	28.0%
c 市民一人ひとりの思いやりや支え合いの意識が低いから	67	23.4%
d 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスの提供が行われていないから	66	23.1%
e その他	20	7.0%
有効回答数	286	—

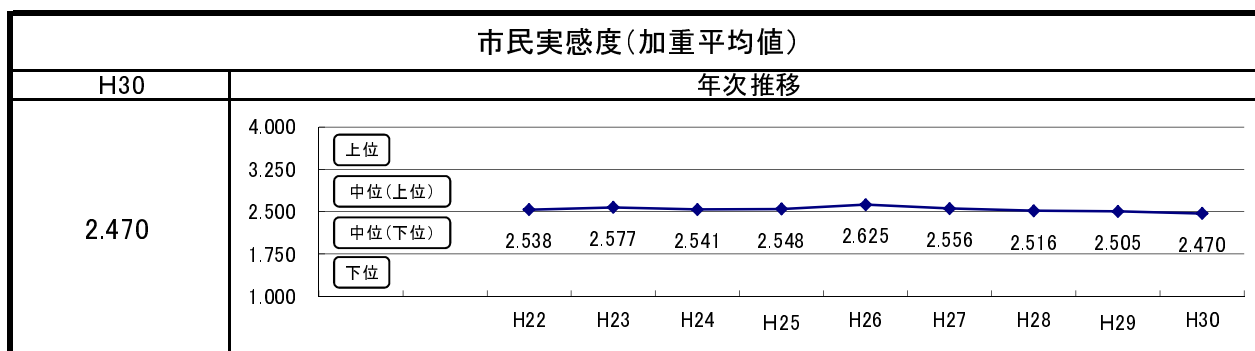


問24-A アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、 アイヌの人たちの誇りが尊重されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が44.5%（338人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が51.1%（388人）となっています。
- 市民実感度は、2.470となっており、昨年に比べて0.035下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した388人のうち、379人がその理由を回答しており、理由として「アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから」が最も多く、56.5%（214人）となっています。

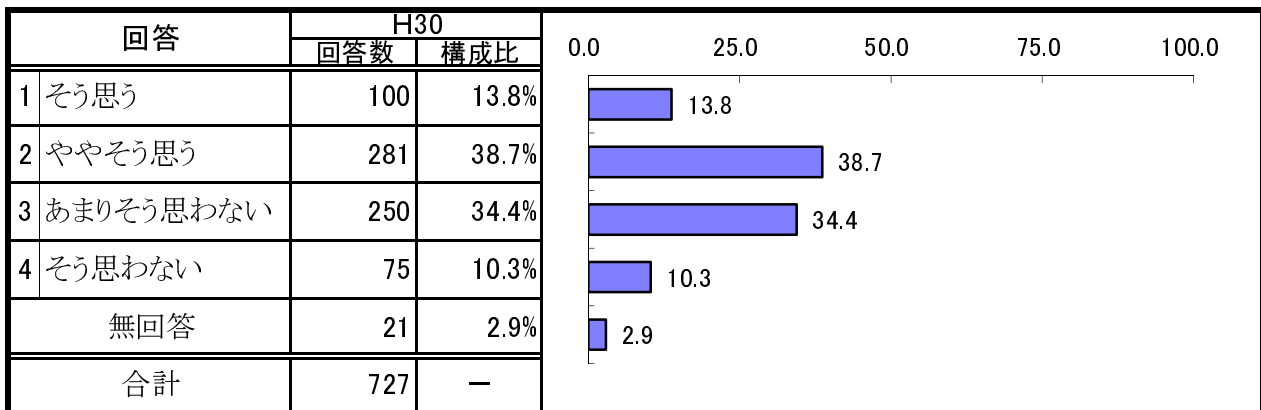


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a アイヌ民族の歴史や文化を学習する機会が少ないから	121	31.9%
b アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから	214	56.5%
c アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから	30	7.9%
d その他	14	3.7%
有効回答数	379	—

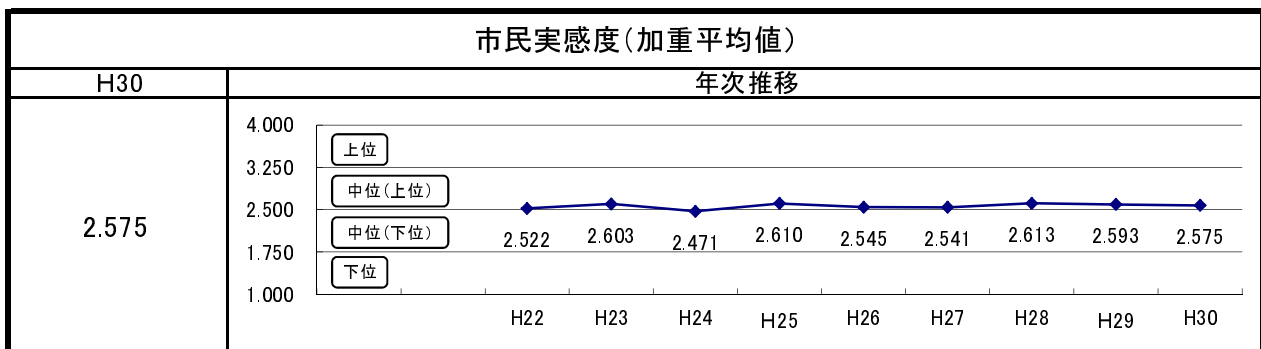


問24-B 町内会やNPO・ボランティアなどによる 地域活動が活発に行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が52.5%（381人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が44.7%（325人）となっています。
- 市民実感度は、2.575となっており、昨年に比べて0.018下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した325人のうち、311人がその理由を回答しており、理由として「町内会への加入者が減少しているから」が最も多く、38.3%（119人）となっています。

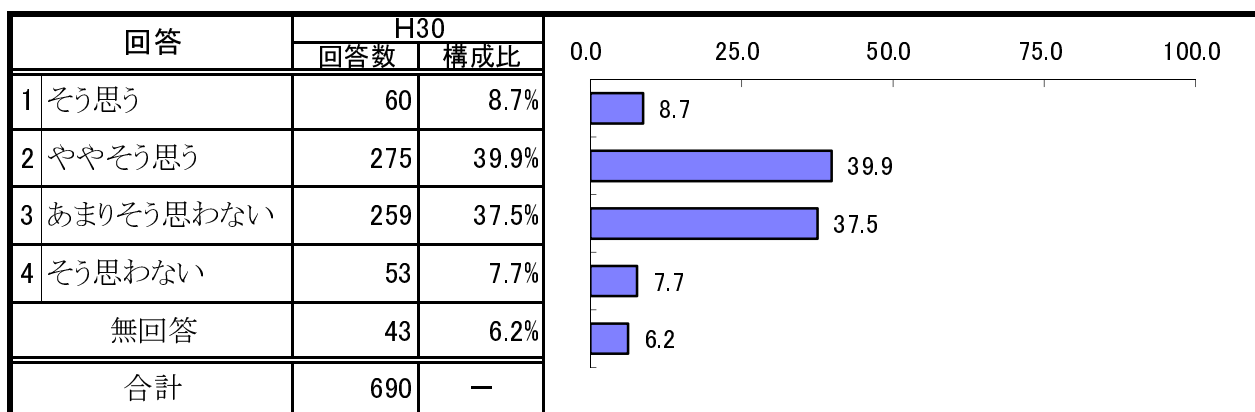


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 町内会への加入者が減少しているから	119	38.3%
b 地域活動の担い手が少ないから	71	22.8%
c コミュニティ施設が利用しにくいから	17	5.5%
d 気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから	71	22.8%
e その他	33	10.6%
有効回答数	311	—

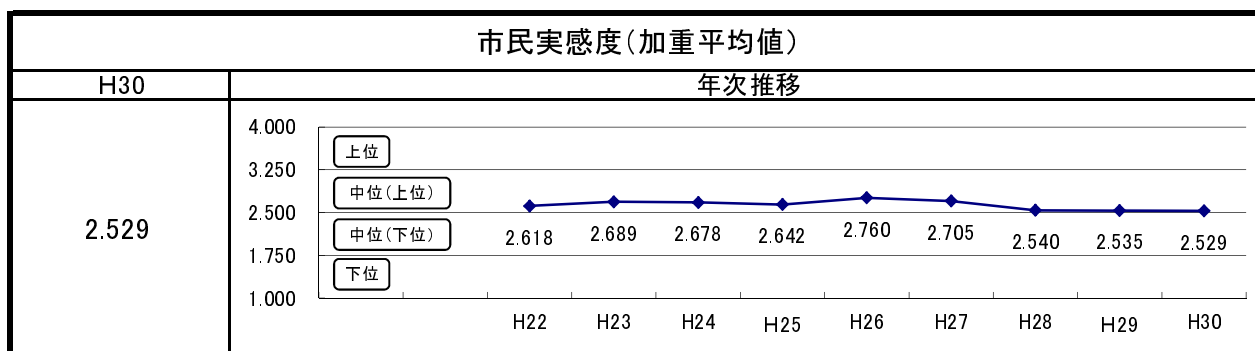


問24-C 国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が48.6%（335人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が45.2%（312人）となっています。
- 市民実感度は、2.529となっており、昨年に比べて0.006下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した312人のうち、301人がその理由を回答しており、理由として「国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから」が最も多く、48.5%（146人）となっています。

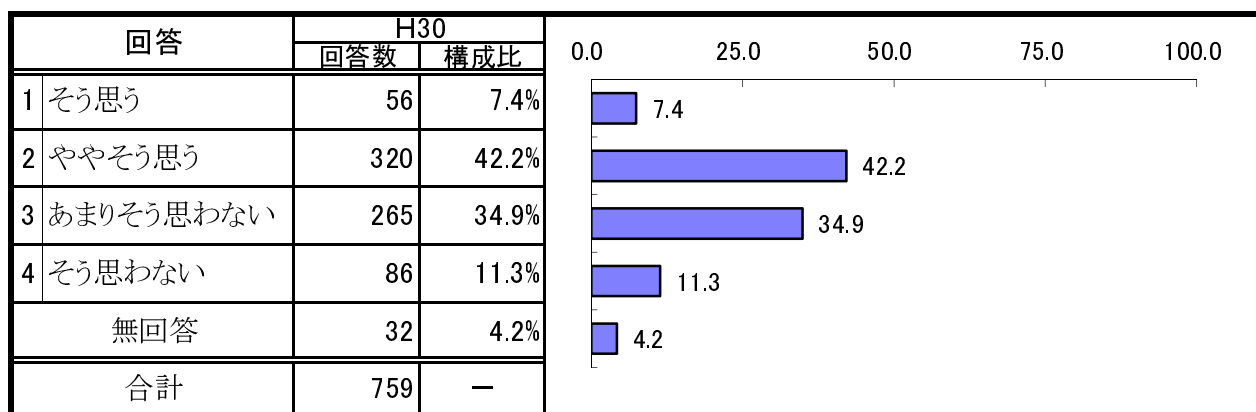


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 国内や国外の各都市との交流が活発でないから	22	7.3%
b 国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから	146	48.5%
c 参加したい異文化交流の機会が少ないから	33	11.0%
d 異文化交流の機会を知らないから	89	29.6%
e その他	11	3.7%
有効回答数	301	—

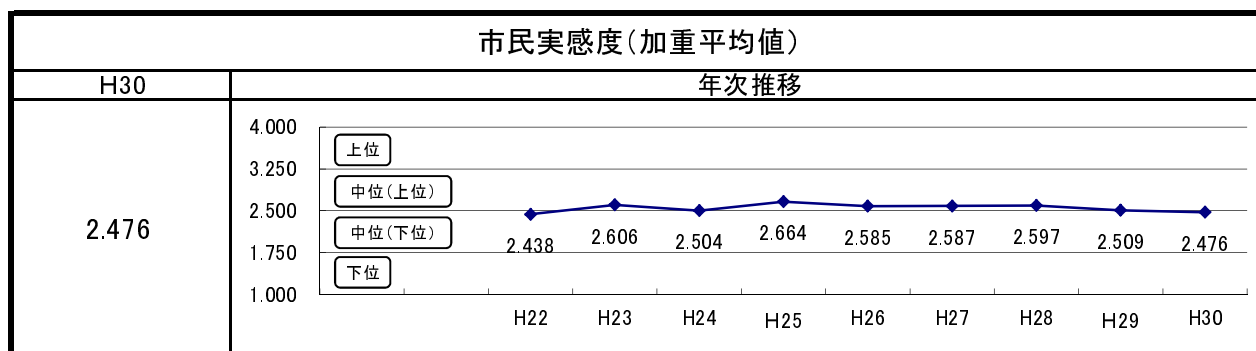


問25-A 市民と行政の協働による まちづくりがすすめられている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が49.6%（376人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が46.2%（351人）となっています。
- 市民実感度は、2.476となっており、昨年に比べて0.033下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した351人のうち、342人がその理由を回答しており、理由として「行政情報が分かりやすく提供されていないから」が最も多く、28.9%（99人）となっています。

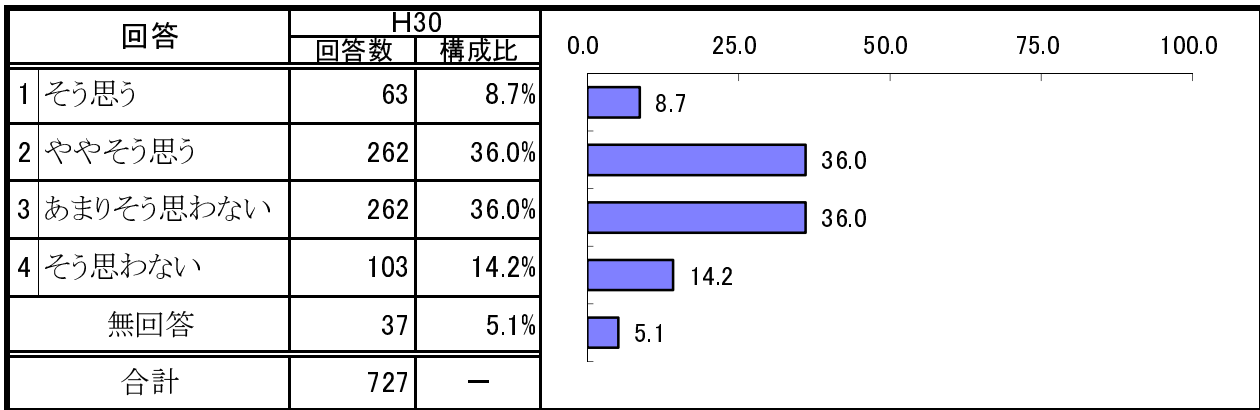


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 行政情報が分かりやすく提供されていないから	99	28.9%
b 市民がまちづくりに意見を言う機会がないから	62	18.1%
c 市民意見がまちづくりに反映されていないから	64	18.7%
d 市民のまちづくり活動への支援が十分でないから	24	7.0%
e 議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから	69	20.2%
f その他	24	7.0%
有効回答数	342	—

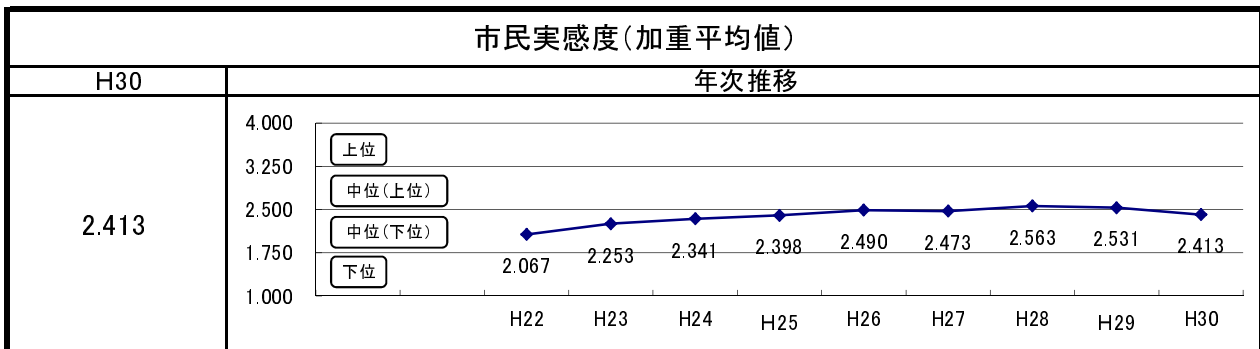


問25-B 健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が44.7%（325人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が50.2%（365人）となっています。
- 市民実感度は、2.413となっており、昨年に比べて0.118下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した365人のうち、350人がその理由を回答しており、理由として「事業の効果やコストが分からないから」が最も多く、46.9%（164人）となっています。

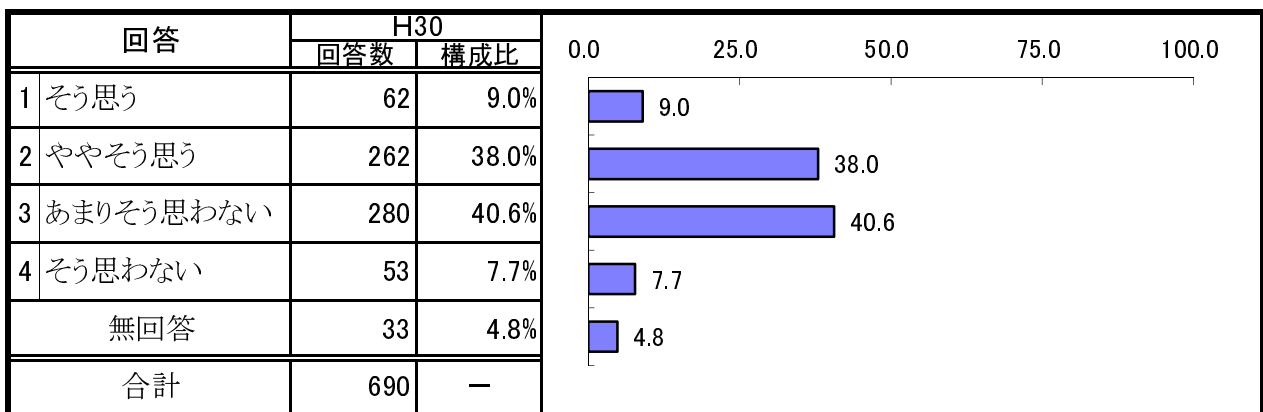


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 市の財政状況に不安があるから	127	36.3%
b 行政運営の効率化がすすんでいないから	27	7.7%
c 事業の効果やコストが分からないから	164	46.9%
d その他	32	9.1%
有効回答数	350	—

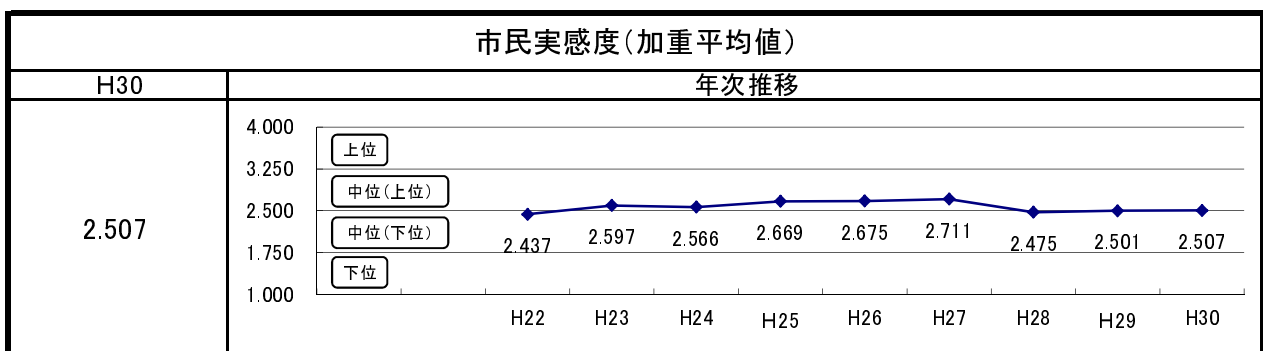


問25-C 十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が47.0%（324人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が48.3%（333人）となっています。
- 市民実感度は、2.507となっており、昨年に比べて0.006上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した333人のうち、318人がその理由を回答しており、理由として「道内各都市と連携・交流している事例がよく分からないから」が最も多く、53.5%（170人）となっています。

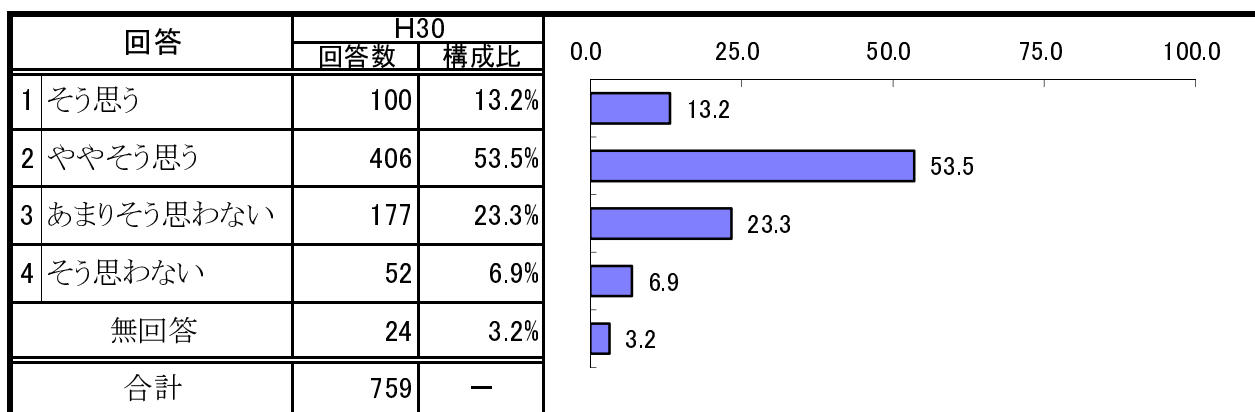


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 十勝管内町村と連携した事業が少ないから	29	9.1%
b 十勝管内町村と連携した事業がよく分からないから	110	34.6%
c 道内各都市と連携・交流している事例がよく分からないから	170	53.5%
d その他	9	2.8%
有効回答数	318	—

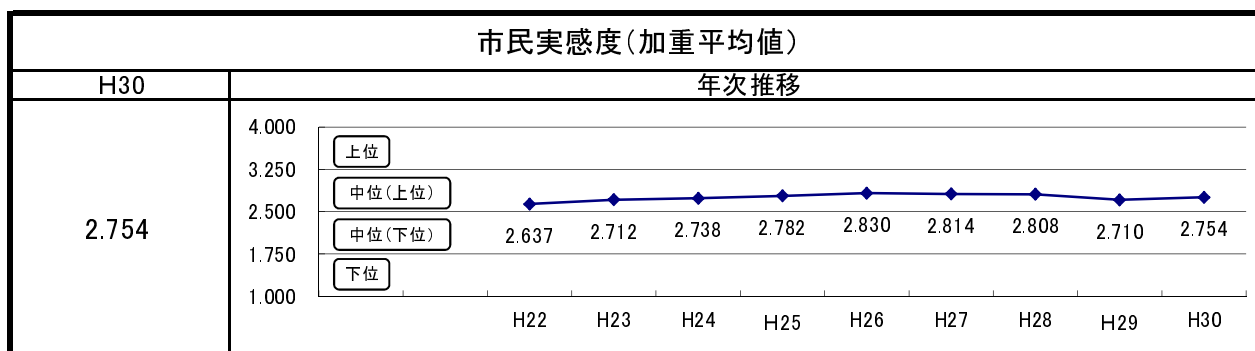


問26-A 市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が66.7%（506人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が30.2%（229人）となっています。
- 市民実感度は、2.754となっており、昨年に比べて0.044上がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した229人のうち、220人がその理由を回答しており、理由として「市役所における各種事務手続きが分かりにくいから」が最も多く、43.6%（96人）となっています。

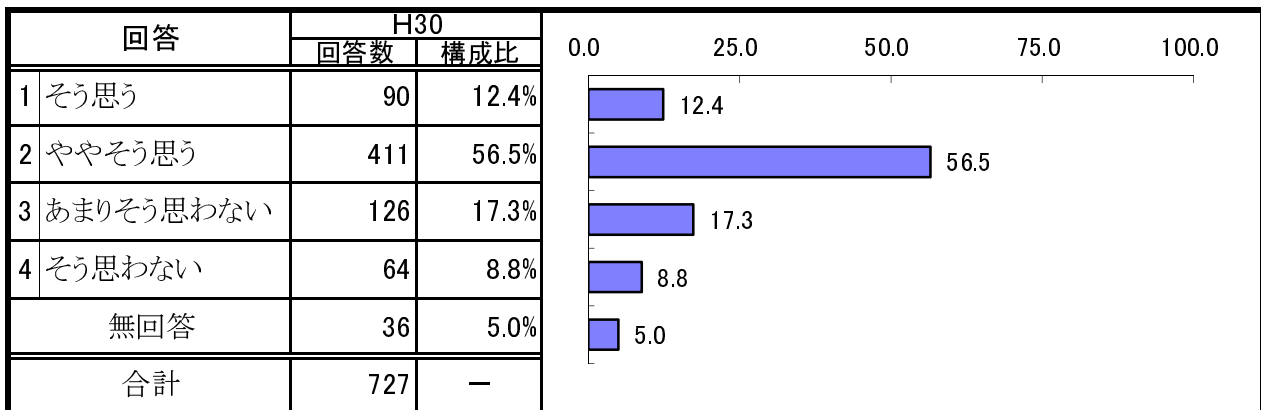


上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 職員の対応が適切でないから	55	25.0%
b 市役所における各種事務手続きが分かりにくいから	96	43.6%
c コミュニティセンターなどの窓口やインターネットでできる行政手続きが少ないから	48	21.8%
d その他	21	9.5%
有効回答数	220	—

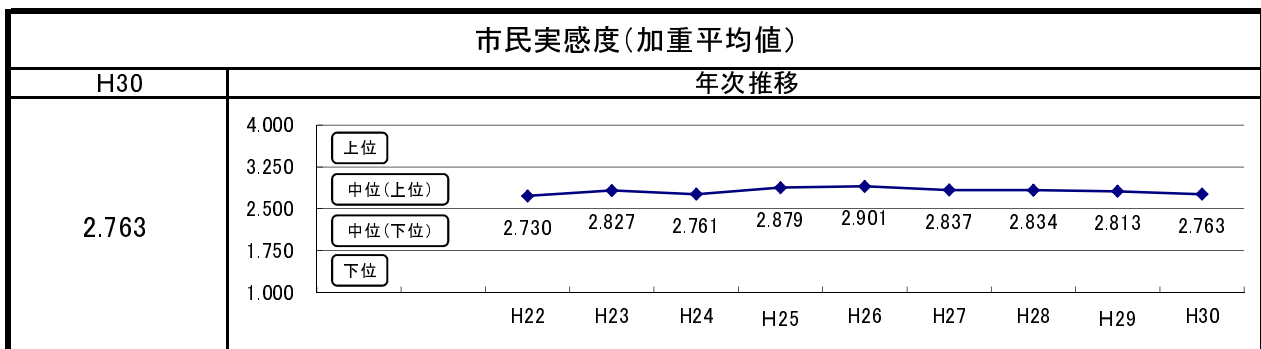


問26-B 市民に信頼される行政事務が行われている

- 「そう思う」、「ややそう思う」の合計が68.9%（501人）、「あまりそう思わない」、「そう思わない」の合計が26.1%（190人）となっています。
- 市民実感度は、2.763となっており、昨年に比べて0.050下がりました。
- 「あまりそう思わない」と「そう思わない」と回答した190人のうち、171人がその理由を回答しており、理由として「公共施設の管理が適切に行われていないから」が最も多く、29.8%（51人）となっています。



上記の回答で3(あまりそう思わない)または4(そう思わない)を選んだ理由	H30	
	回答数	構成比
a 事務処理が適切に行われていないから	46	26.9%
b 公共施設の管理が適切に行われていないから	51	29.8%
c 個人情報の保護が十分でないから	24	14.0%
d その他	50	29.2%
有効回答数	171	—



6

自由記述意見（まちづくりに対する意見・提案）

◇アンケートでは、まちづくりに対する意見や提案について自由に記述していただく欄を設け、906人の方から、1,417件のご意見・ご提案をいただきました。（お1人で複数の項目に関するご意見などをいただいていることがあるため、人数と件数は一致しません）
いただいたご意見・ご提案は、今後のまちづくりに活用させていただきます。

- ☞ いただいたご意見・ご提案を内容別に分類すると、下表のとおり、道路環境・交通ネットワークに関すること、産業・にぎわいに関することが多くなっています。

項目	件数
道路環境・交通ネットワークに関すること	351 件
産業・にぎわいに関すること	240 件
まちづくり全般に関すること	143 件
子育て支援・青少年に関すること	89 件
教育や生涯学習・スポーツに関すること	87 件
行政事務・サービスに関すること	84 件
高齢者福祉に関すること	70 件
地域の活動・支えあいに関すること	46 件
環境保全・廃棄物に関すること	44 件
公園・緑地に関すること	43 件
交通安全・防犯に関すること	38 件
社会保障と税に関すること	32 件
その他	30 件
アンケートに関すること	22 件
雇用に関すること	21 件
障害福祉に関すること	20 件
医療・保健に関すること	17 件
水道・下水道に関すること	13 件
防災に関すること	12 件
住環境に関すること	11 件
議会に関すること	3 件
墓地に関すること	1 件
（計）	1,417 件

参考資料) 市民まちづくりアンケート票

アンケートは、次の2区分について実施しています。

- (1) 帯広市の住みごち・定住意識について・・・・・・・・(問 1 ~ 9)
- (2) 市民実感について・・・・・・・・・・・・・・・・(問 10 ~ 26)

※市民実感についての設問(問10~26)は、調査票をA票、B票、C票の3つに分けて実施しています。

※C票のみ問25までとなっています。

平成30年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

問1 あなたの性別は？

1. 男 2. 女

問2 あなたの年齢は？（4月1日現在の年齢で記入してください。）

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

1. 会社員・店員 2. 商・工・サービス業等の自営業 3. 農・林・漁業 4. 公務員
5. 自由業 6. 主婦 7. 学生 8. 無職・退職 9. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

1. 1年未満 2. 1年～5年未満 3. 5年～10年未満 4. 10年～20年未満
5. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに○をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

1. 住み続けたい 2. できれば他の市町村に移りたい 3. どちらともいえない



問7へすすむ



問8、9へすすむ



問10へすすむ

問7 問6で「1.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| 1. 広々としているから | 2. 自然に恵まれているから | 3. 気候が好きだから |
| 4. 家族の都合で | 5. 人情が厚く、親切だから | 6. 親戚や知人が多いから |
| 7. 教育上の理由から | 8. まちに魅力があるから | 9. 仕事上の理由から |
| 10. 都市的な便利さがあるから | 11. 生活費が安いから | 12. わからない |
| 13. その他（ | | ） |

問8 問6で「2.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） | 2. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外） |
| 3. 札幌市 | 4. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外） |
| 5. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） | 6. 中部圏（愛知県） |
| 7. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） | 8. 他県（ |
| 9. その他（ | |

問9 問6で「2.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- | | | |
|----------------------|-------------------|--------------|
| 1. 仕事上の理由から | 2. 家族の都合から | 3. 気候がきれいだから |
| 4. 住宅地が少ないから | 5. 宅地価格が高いから | 6. 教育上の理由から |
| 7. 生活費が高いから | 8. まちに魅力が少ないから | 9. 自然が少ないから |
| 10. 知人や親戚が少ないから | 11. 人情が薄く、不親切だから | |
| 12. 都市的な便利さが不足しているから | 13. 公共サービスの質が低いから | |
| 14. その他（ | | |

3. 【市民実感】について、お聞きします。

- ◆問10～26について、あなたの実感（イメージでもかまいません）に最も近い選択肢を1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10.地震や水害など、災害への備えが整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

① 防災に関する市民一人ひとりの意識が低いから

② 行政の取り組みや周知が十分でないから

③ 食料の備蓄や避難経路の確認など、自らの災害への備えができていないから

④ 災害時に地域で助け合う仕組みが整っていないから

⑤ 自宅の耐震性が不安だから

⑥ 避難所の耐震性が不安だから

⑦ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■防災訓練の実施

災害発生に備え、防災訓練を実施しています。



■災害用備蓄品の整備

災害発生に備え、非常用食料を約18,000食分備蓄しています。



このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■防災講座・講演会の開催

■災害時要援護者の避難支援体制づくり

■避難所や学校施設等の耐震化

■木造住宅の耐震改修及び建替えに対する補助

■自主防災組織の育成

など

問11.日常生活において、交通事故にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

① 交通ルールを守らない歩行者がいるから

② 車や自転車を運転する人のマナーが悪いから

③ 危ない道路や交差点があるから

④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■交通安全教室の開催
交通事故を防ぐため、交通安全教室を開催しています。



■交通安全街頭啓発の実施
交通事故を防ぐため、街頭啓発を行っています。



街頭啓発の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

- | | |
|------------------|---------------------|
| ■歩道の整備や段差の解消 | ■ホームページ等での交通安全情報の提供 |
| ■交通安全関係団体の活動への支援 | など |

問12.ケガや病気のときに安心して医療を受けられる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

① 病院や診療所の数が不足しているから

② 診療科目が不足しているから

③ 高度な医療を受けることができないから

④ 緊急時の医療機関の情報が十分でないから

⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■休日夜間急病センターの整備・運営
夜間や休日における急な病気に対応できるよう、休日夜間急病センターを整備・運営しています。



休日夜間急病センター

休日夜間急病センターの患者数（内科・小児科）（人）

	H26	H27	H28
休日等	8,946	8,937	8,688
夜間	7,096	7,069	6,922
合計	16,042	16,006	15,610

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

- | | |
|-------------------------|-------------------|
| ■急病テレホンセンターによる救急医療情報の提供 | ■看護師・准看護師養成機関への支援 |
| ■公的病院などへの支援 | ■休日歯科診療体制の維持 など |

問13.障害のある人が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 障害や障害のある人に対する市民一人ひとりの理解が十分でないから
 - ② 障害のある人を地域で支え合う市民一人ひとりの意識が低いから
 - ③ 障害福祉サービスが十分でないから
 - ④ 障害のある人が働くことができる環境が整っていないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■手話・要約筆記通訳者の派遣

聴覚に障害のある人の社会参加促進のため、手話・要約筆記通訳者を派遣しています。

平成28年度の実績

	派遣件数	実利用人数
手話通訳	547件	79人
要約筆記	56件	32人

■障害者向けデイサービス事業の実施

身体に障害のある人の身体機能維持・回復や、生きがいを支えています。



障害者生活支援センターでのデイサービス（陶芸）の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■「ノーマライゼーション」理念の推進

■重度心身障害者医療などの医療費助成

■ホームヘルパーなど各種サービスの提供

■補装具や日常生活用具の給付

など

※ノーマライゼーション

地域の中で、障害がある人もない人も、お年寄りも若い人も区別なくともに笑い、ともに語り、ともに歩いていくことのできる社会を作ること。

問14.青少年が健全に育つ環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 家庭や地域における子どものしつけが不足しているから
 - ② 家庭、地域、学校が連携した活動が不足しているから
 - ③ 青少年の体験活動や社会参加する機会が不足しているから
 - ④ 有害な情報が氾濫するなど、子どもを取り巻く社会環境が悪化しているから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■児童会館における体験活動の実施

児童会館でプラネタリウムの投影や科学実験、工作教室などを開催しています。



工作教室の様子

■子どもの居場所づくり

放課後などに、子どもが安心して過ごせる居場所づくりに取り組んでいます。



このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■青少年リーダーや青少年団体の育成

■青少年育成活動の実施

■非行防止のための街頭巡回指導

■成人の集いなどの社会参加促進活動の実施

■子ども110番の家の設置

など

※子ども110番の家

子どもたちが学校の登下校時などに危険を感じた際に逃げ込む民家など。

問15.商店や商店街に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 商店の商品やサービスに魅力がないから
 - ② 商店の建物の外観、内装や設備に魅力がないから
 - ③ 商店街の道路や歩道、街路灯などの整備が十分でないから
 - ④ 商店街のイベントに魅力がないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ にぎわい創出への支援

商店街が行う夏まつりや冬のイルミネーションなどを支援しています。



商店街の夏まつりの様子

■ 商店街などの魅力づくりへの支援

空き店舗を活用した新規出店の取り組みなどを支援しています。



空き店舗を活用した店舗

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 商店街のロードヒーティング設備の維持や防犯灯のLED化などの環境整備に対する支援

など

問16.意欲と能力に応じて、生き生きと働くことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 若い人の働く場が少ないから
 - ② 女性や高齢者の働く場が少ないから
 - ③ 能力や経験を活かせる職場が少ないから
 - ④ 育児制度などの福利厚生が整っている会社が少ないから
 - ⑤ 働くために必要な能力を身につけるための機関や制度が十分でないから
 - ⑥ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 若年者地元企業定着支援事業

就職を希望する高校生を対象としたセミナーを行い、若者の地元企業定着の促進に取り組んでいます。



地元企業の方と高校生による話し合いの様子

■ 帯広市シルバー人材センターへの支援

高齢者がいきいきと働けるまちづくりのために、シルバー人材センターへの支援を行っています。



作業を行うシルバー人材センター会員

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ とちかち勤労者共済センターへの支援

■ 職業能力開発センターへの支援

■ 若年者離職防止セミナー実施

など

問17.自然環境が保全され、環境への負荷を低減する取り組みが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 環境保全に関する意識が低いから
 - ② 公共施設における新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから
 - ③ 一般家庭への新エネルギー・省エネルギー機器の導入がすすんでいないから
 - ④ 騒音や悪臭が気になるから
 - ⑤ 市内の良好な自然環境が守られていないから
 - ⑥ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■環境モデル都市の主な取り組み

太陽光発電システムの設置に対する補助や貸付など、新エネルギーの導入助成を行なっているほか、廃てんぷら油を回収し、バイオディーゼル燃料としてバスや公用車の燃料にリサイクルするなど、環境への負荷低減に取り組んでいます。



屋根に設置された太陽光パネル



このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■自然環境の保全

■公害の監視、立入検査や指導の実施

■環境学習の推進

など

※バイオマス

家畜の排泄物や木材などの生物を由来とする、再生可能なエネルギー資源。

問18.おいしい水道水が、いつでも安心して利用できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 水道水がおいしいと感じないから
 - ② 断水や濁水などが発生したことがあるから
 - ③ 災害時の不安があるから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ペットボトル水の製造・販売・PR

水道に関する理解や利用促進などのため、安全でおいしい水のPRや情報発信を行っています。



ペットボトル水「おびひろ極上水」

■水道水の安定供給

計画的に水道施設の維持管理・整備を行っています。



老朽化した配水管の更新の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■札内川等の水質調査

■水道メーターの更新、漏水調査

■稲田浄水場等の改修や耐震化

など

問19.都市部や農村部において、帯広・十勝らしい景観が形成されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 駅周辺の景観が損なわれているから
 - ② 駅周辺以外の市街地の景観が損なわれているから
 - ③ 農村部・山林部の景観が損なわれているから
 - ④ 景観を見て楽しめる場所が少ないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 耕地防風林の整備促進

農地保全・生産性向上、美しい農村景観維持のため、耕地防風林の整備を促進しています。



■ 魅力ある都市景観づくり

魅力ある街並みづくりをすすめています。



景観百選にも選ばれている帯広駅北口の景観

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ まちづくりデザイン賞などによる景観意識の啓発

など

問20.空港、バス、高速道路など、交通の利便性が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 航空の利便性が良くないから
 - ② 鉄道の利便性が良くないから
 - ③ バスの利便性が良くないから
 - ④ 高速道路の利便性が良くないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ とちか帯広空港の利活用・機能の充実

とちか帯広空港の施設整備や維持管理のほか、航空路線の拡充などに取り組んでいます。



■ バス交通への取り組み

赤字バス路線に対する支援や、バス交通の活性化に取り組んでいます。



帯広駅バスターミナル

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 乗合方式のバス・タクシーの運行

■ 道東自動車道、帯広・広尾自動車道の整備・利用促進

■ 石勝線・根室本線における減便・減速の解消に向けた要望活動などの取り組み

など

問21.子どもたちが安心して学べる教育環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 学校施設の改修等がすすんでいないから
- ② 特別な支援が必要な子どもたちの教育環境が十分でないから
- ③ 教育に関する情報が、保護者に十分に提供されていないから
- ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 学習サポートや読み聞かせの実施
ボランティアや地域の方など、多くの協力を得ながら、子どもに関わる活動を行っています。



学習サポートの様子

■ 教育環境の整備
学校施設の耐震化など、安心して学べる環境を整備しています。



耐震化後の校舎（明星小学校）



改築した校舎（豊成小学校）

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 小中学校の適正規模の確保等

■ 就学援助費の支給

■ 特別支援教育に関する助手・補助員・生活介助員の配置

■ 子ども安全ネットワークの運用

など

※子ども安全ネットワーク
不審者情報や災害情報を、情報通信機器で保護者に迅速に提供する連絡網。

問22.生涯にわたって学ぶことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 参加したいと思う講座が少ないから
- ② 学習に関する情報が少ないから
- ③ 社会教育施設に魅力がないから
- ④ 学習成果を活かす機会が少ないから
- ⑤ その他()

※社会教育施設
百年記念館、動物園、図書館、とちプラザなど。

市が取り組んでいる主な仕事

■ 学習機会の提供

とちプラザや百年記念館、図書館などの社会教育施設において、地域の歴史や文化などを学ぶ「市民大学講座」などの様々な学習機会を提供しています。



市民大学講座（帯広・十勝歴史講座）の様子



図書館における展示コーナー

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 自主的学習活動の支援、学習情報の提供

■ 百年記念館や動物園など社会教育施設の改修

など

問23.平和で差別や虐待がなく、市民一人ひとりが互いに人権を尊重している

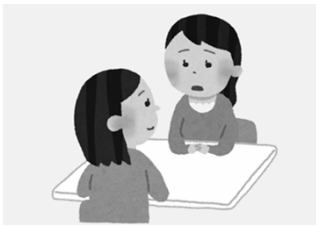
1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
 ① 平和の大切さを知る機会が少ないから
 ② 差別や偏見があるから
 ③ 子どもや高齢者の虐待、配偶者等への暴力事件が起きているから
 ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■人権擁護の取り組み

子どもや高齢者への虐待、配偶者などへの暴力防止に向けた啓発を行うほか、各種相談窓口を設置しています。



■平和に関する取り組み

平和を願う絵や詩の展示、コンサートの開催を通じて、平和意識の啓発に努めています。



「平和の絵」作品展

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

- | | |
|--------------|-------------|
| ■核兵器廃絶平和展の開催 | ■平和カレンダーの配布 |
| ■平和の絵・詩の募集 | ■平和コンサートの開催 |
- など

問24.アイヌ民族の歴史や文化などへの理解が深まり、アイヌの人たちの誇りが尊重されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
 ① アイヌ民族の歴史や文化を学習する機会が少ないから
 ② アイヌ民族の歴史や文化にふれる機会が少ないから
 ③ アイヌの人たちの生活や教育に対する支援が十分でないから
 ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■アイヌ古式舞踊保持団体への支援

アイヌ民族の伝統文化を保存・伝承するため、古式舞踊の保持団体への支援を行っています。



アイヌ古式舞踊保持団体「帯広カムイトウウボボ保存会」

■アイヌ民族に関する理解の促進

アイヌ民族の伝統的な儀式や工芸品などを紹介する展示会を開催しています。



アイヌ生活文化展の開催

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| ■アイヌの人たちの生活相談・教育相談の実施 | ■アイヌ民族文化情報センター「リウカ」の充実 |
|-----------------------|------------------------|
- など

問25.市民と行政の協働によるまちづくりがすすめられている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 行政情報が分かりやすく提供されていないから
 ② 市民がまちづくりに意見を言う機会がないから
 ③ 市民意見がまちづくりに反映されていないから
 ④ 市民のまちづくり活動への支援が十分でないから
 ⑤ 議会での論議が分かりやすく情報提供されていないから
 ⑥ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■市民からの提案事業への支援

市民グループやボランティア団体などが提案するまちづくりの活動を支援しています。



市民活動団体による交流の様子

■行政情報の発信

広報紙の配布場所の拡充やホームページ・SNSを使った情報発信など、行政情報の提供に努めています。



広報紙やSNSなどによる行政情報の発信

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■市長への手紙や地区懇談会の実施

■計画策定等におけるパブリックコメントの実施

■市民活動団体同士の交流会の開催

■様々なまちづくり協定、市民協働アクションによる情報発信

■審議会委員等への一般公募等による、女性や若者など多様な人材登用の推進

など

※SNS

「Social Network Service」の略称で、インターネット上の交流を通して、社会的ネットワークを構築するサービスのこと。

問26.市民が利用しやすく、満足できる行政サービスが提供されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 職員の対応が適切でないから
 ② 市役所における各種事務手続きが分かりにくいから
 ③ コミュニティセンターなどの窓口やインターネットでできる行政手続きが少ないから
 ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■市役所総合案内

総合案内では、市役所の利用でわからないことをお答えし、担当課へのご案内を行っているほか、観光パンフレットや広報紙等を設置しています。



総合案内の様子

■コンシェルジュ（窓口案内職員）の配置

窓口の混雑時に専門職員を配置し、申請書や届出書の記載方法などの相談に応じ、待ち時間の短縮に努めています。



戸籍住民課での専門職員配置の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■市民相談の実施

■公共施設予約システム・電子申請システムの運用

■コミュニティセンターでの証明書交付

■さわやか接遇マニュアルの活用、接遇研修の実施 など

4. 【まちづくりに関するご意見・ご提言】 ※どのような内容でも結構です。
これからのまちづくりについて、ご意見・ご提言があればご記入ください。

Blank area for writing opinions and proposals, consisting of multiple horizontal lines.

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかどうか、もう一度ご確認ください。同封の返信用封筒に入れ、**平成30年5月15日（火）までに**ポストに投函してください。（切手は不要です。）

このアンケートに関して、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1 **帯広市 政策推進部 企画課**
直通TEL：0155-65-4105、FAX：0155-23-0151、e-mail：plan@city.obihiro.hokkaido.jp

平成30年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

問1 あなたの性別は？

1. 男 2. 女

問2 あなたの年齢は？（4月1日現在の年齢で記入してください。）

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

1. 会社員・店員 2. 商・工・サービス業等の自営業 3. 農・林・漁業 4. 公務員
5. 自由業 6. 主婦 7. 学生 8. 無職・退職 9. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

1. 1年未満 2. 1年～5年未満 3. 5年～10年未満 4. 10年～20年未満
5. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに○をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

1. 住み続けたい 2. できれば他の市町村に移りたい 3. どちらともいえない


問7へすすむ


問8、9へすすむ


問10へすすむ

**問7 問6で「1.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）**

- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| 1. 広々としているから | 2. 自然に恵まれているから | 3. 気候が好きだから |
| 4. 家族の都合で | 5. 人情が厚く、親切だから | 6. 親戚や知人が多いから |
| 7. 教育上の理由から | 8. まちに魅力があるから | 9. 仕事上の理由から |
| 10. 都市的な便利さがあるから | 11. 生活費が安いから | 12. わからない |
| 13. その他（ | | ） |

問8 問6で「2.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） | 2. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外） |
| 3. 札幌市 | 4. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外） |
| 5. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） | 6. 中部圏（愛知県） |
| 7. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） | 8. 他県（ |
| 9. その他（ | |

問9 問6で「2.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- | | | |
|----------------------|-------------------|--------------|
| 1. 仕事上の理由から | 2. 家族の都合から | 3. 気候がきれいだから |
| 4. 住宅地が少ないから | 5. 宅地価格が高いから | 6. 教育上の理由から |
| 7. 生活費が高いから | 8. まちに魅力が少ないから | 9. 自然が少ないから |
| 10. 知人や親戚が少ないから | 11. 人情が薄く、不親切だから | |
| 12. 都市的な便利さが不足しているから | 13. 公共サービスの質が低いから | |
| 14. その他（ | | |

3. 【市民実感】について、お聞きします。

- ◆問10～26について、あなたの実感（イメージでもかまいません）に最も近い選択肢を1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10.消火活動や救急活動が迅速に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

① 消火や防火の取り組みが十分でないから

② 救急車や消防車の到着時間が遅いから

③ 救急車による病院までの搬送がスムーズでないから

④ 応急手当ができる市民が少ないから

⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 消防・救急車両の適切な整備・更新

消火や救急活動が迅速に行えるよう、消防・救急車両を適切に整備・更新しています。



平成29年度に更新した消防車両



消火栓を点検している様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 消火栓・防火水槽の整備

■ AED（自動体外式除細動器）の設置事業所へのサポート

■ 応急手当普及講習の開催

■ 災害弱者世帯への防火訪問

など

問11.悪質な訪問販売や契約トラブルなどにあうことなく、安全に消費生活を送れる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 消費生活に関する情報提供が十分でないから
 - ② 消費者トラブルなどを相談できるところを知らないから
 - ③ 消費者トラブルの際の対処方法が分からないから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 消費者講座・講演会の開催

消費者トラブルにあわないよう、講座や講演会を開催しています。



■ 消費生活アドバイスセンターの運営

消費生活アドバイスセンターをとまちプラザ内に設置し、悪質商法や契約トラブルなどの相談に応じています。



消費生活アドバイスセンター

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 小中学校や高校などでの消費者教育講座の実施

■ 町内会や老人クラブなどへの出前講座の実施

■ 消費者トラブルの情報提供と被害防止啓発の実施

など

問12.地域の支え合いにより、安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 地域住民の互いに支え合う意識が低いから
 - ② 不安や心配事を地域で相談できるところがないから
 - ③ 福祉ボランティアの活動が活発でないから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 成年後見制度の利用支援

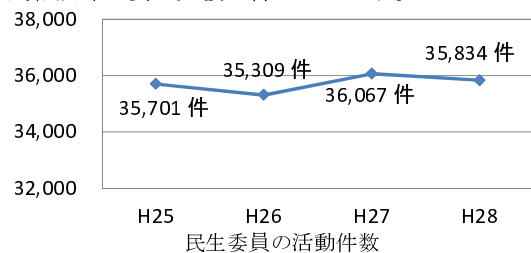
本人に代わり、契約や財産管理を行う「成年後見制度」の利用を支援しています。



成年後見支援センター「みまもーる」での相談の様子

■ 民生委員の活動支援

民生委員は社会福祉の増進のため、各担当地域で住民相談や必要な支援を行っています。



このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 地域福祉を推進する福祉団体への支援

■ ボランティアの養成・活動支援

など

問13. 社会保障制度の周知や適切な運用が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 制度のしくみに疑問を感じるから
 - ② 給付が増大していて、安定的な運営に不安を感じるから
 - ③ 社会保障にかかる家計の負担が大きいから
 - ④ 制度の周知が十分でないから
 - ⑤ その他()

※社会保障制度
健康保険（国民健康保険、後期高齢者医療制度など）、介護保険、生活保護、国民年金などの制度を指します。

市が取り組んでいる主な仕事

■ 国民健康保険・後期高齢者医療制度

国民健康保険・後期高齢者医療制度の運営のほか、市独自事業として人間ドックなどを実施するとともに、保険料の軽減を行っています。

■ 介護保険

介護保険制度の運営のほか、市独自事業として保険料及び介護サービス利用料の軽減を行っています。

■ 生活保護

生活保護の決定・実施や、生活保護受給者への就労支援、及び生活困窮者への早期自立に向けた支援を行っています。

■ 国民年金

国民年金の各種届出・保険料免除申請等の受付や相談のほか、国民年金制度の周知などを行っています。

問14. 安全で良質な農畜産物が生産され、農業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 安全で良質な地場農畜産物が地元で手に入りにくいから
 - ② 地場農畜産物の加工・販売や地域ブランドづくりがすすんでいないから
 - ③ 農業に関する具体的な取り組み内容が分からないから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

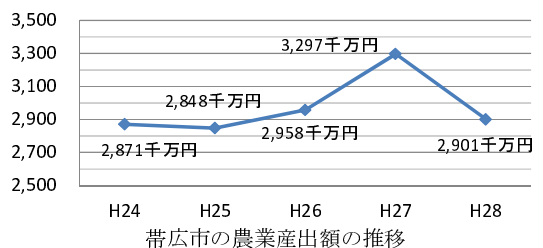
■ クリーン農業技術などの普及

環境に配慮した、安全・安心で品質の高い農産物の生産をすすめています。



■ 農業生産基盤の整備促進

農業用排水施設の整備や土地改良などの生産基盤整備を促進し、農業の生産性などの向上を図っています。



このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 地産地消の促進（イベントの開催、地場農畜産物販売所マップの作成）

など

※クリーン農業

堆肥などの有機物の施用や化学肥料の使用抑制などにより、環境に配慮した、安全・安心で、品質の高い農産物の生産をすすめる農業。

問15.地元の企業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 地元企業の経営が悪化しているから
 - ② 中小企業を支える人材（後継者・従業員など）が育成されていないから
 - ③ 地元企業の創業・起業や新分野への進出が少ないから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 地元の中小企業への経営支援

地元の中小企業に対し、資金調達円滑化や相談窓口の設置などの経営支援を実施しています。

平成28年度実績

中小企業振興融資	547件	3,959,080千円
信用保証料補助	421件	63,811千円
経営相談	25件	-

■ 地域における創業・起業の促進と人材育成

地域における創業・起業を促す取り組みや地域経済の発展に寄与する人材の育成などの取り組みを実施しています。



新たな事業アイデアを生み出す「とちぎ・イノベーション・プログラム」の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ フードバレーとちち人材育成事業

■ 中小企業の人材育成の支援

■ 雇用創出事業の実施

■ 中小企業振興融資のあっせん、信用保証料の補給

■ 中小企業振興基本条例に基づく取り組み

など

※フードバレーとちち
十勝の強みである食と農林漁業を生かした産業振興の取り組み。

※中小企業振興基本条例
中小企業の基盤強化や健全な発展を促進するための基本的な事項を定めた条例。

問16.中心市街地に魅力とにぎわいがある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 魅力ある店舗が少ないから
 - ② 中心市街地への交通の利便性が悪いから
 - ③ 各種イベントに魅力がないから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 中心市街地のにぎわい創出の支援

歩行者天国やまちなかのイルミネーションなど、中心市街地のにぎわいを創出するための取り組みを支援しています。



歩行者天国の様子



帯広駅前のイルミネーション

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 市民活動交流センターなど交流施設の管理運営

■ 駅北多目的広場の管理・イベントなどへの活用促進

■ まちなか居住や開業などの相談対応

■ 市営駐車場の管理運営

など

問17.ごみの減量やリサイクルなど、廃棄物の資源化や適正な処理が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① ごみの分別や排出日が守られていないから
 - ② 再使用や資源化に関する意識が低いから
 - ③ 事業者のごみ減量や資源再生利用の取り組みが十分でないから
 - ④ 行政の取り組みや周知が十分でないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ごみ・資源ごみの分別収集

ごみの分別収集をすすめ、再資源化を促進します。



■環境学習の実施

子どもの環境に対する意識の向上につなげるため、ごみの収集体験や分別体験などを行っています。



環境学習の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■町内会等の資源集団回収の支援

■生ごみ堆肥化容器・電動生ごみ処理機の購入支援

■リサイクルまっつりの開催

■ごみに関する懇談会の開催

など

問18.生活廃水や雨水が適切に処理されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 下水道が普及していないところがあるから
 - ② 降雨時に浸水するところがあるから
 - ③ 災害時の不安があるから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■汚水管や雨水管の整備

生活廃水や雨水を適切に処理するため、汚水管や雨水管などの整備を行っています。



■下水道の利用促進

下水道施設の整備や、トイレなどの水洗化への普及啓発に取り組んでいます。

下水道普及率及び水洗化率の推移

	H26	H27	H28
下水道普及率	96.9%	96.9%	96.9%
水洗化率	98.2%	98.4%	98.6%

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■下水道への接続の普及啓発

■帯広川下水終末処理場の改修

■合併浄化槽の整備

■下水道管の長寿命化の取り組み

など

問19.墓地の整備や火葬場の管理運営が適切に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 市民ニーズに対応した墓地が提供されていないから
- ② 墓地の管理が十分でないから
- ③ 火葬場の管理が十分でないから
- ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 墓地や火葬場の整備・管理

中島霊園やつつじが丘霊園などの墓地や火葬場の整備や管理を行っています。また、平成27年4月より「合同納骨塚」の供用を開始しています。



合同納骨塚（中島霊園）



火葬場

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 既存墓地の管理・運営

など

問20.高速インターネットなど、情報通信サービスを日常生活や仕事に活用できる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 高速インターネットを利用できる環境が整っていないから
- ② パソコンやインターネットの使い方が分からないから
- ③ 利用したい情報サービスが少ないから
- ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 情報通信基盤の整備促進

平成30年4月現在、農村地域を含め、市内全域でインターネットの超高速通信が利用可能となっています。



■ 高齢者向けパソコン講座の開催

高齢者向けのパソコン講座を開催しています。



講座の様子

問21.高等学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 特色ある教育が行われていないから
 - ② 学習内容が身につけていないから
 - ③ 社会性を育む教育が行われていないから
 - ④ その他()

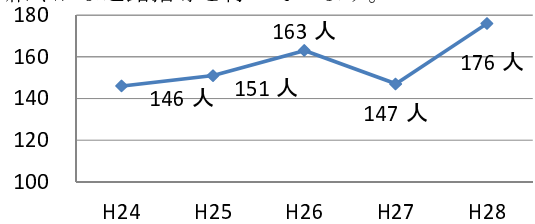
市が取り組んでいる主な仕事

■市立帯広南商業高校における充実した教育

帯広南商業高校では、各種検定の取得促進や一年次からのきめ細やかな進路指導を行っています。



帯広南商業高校での面接指導の様子



帯広南商業高校での三年生における検定3種目(1級)以上取得者の推移

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■私立高等学校生徒授業料及び教材整備等への支援

■高校生への奨学資金の貸付

など

問22.芸術や文化に親しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 芸術・文化の発表や活動の場が少ないから
 - ② 芸術・文化に関する情報が十分でないから
 - ③ 芸術・文化に親しむ時間がないから
 - ④ 芸術・文化に関する指導者が少ないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■芸術・文化活動の促進

市民主体の芸術文化活動の支援や、「市民文藝」の発行、優れた芸術文化や子ども向けの鑑賞機会の提供などに取り組んでいます。



毎年5月に開催している「おびひろ市民芸術祭」



市民の手づくりによるオペラの公演

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■北海道立帯広美術館との共催による特別企画展の開催

■小中学生のための札幌交響楽団によるコンサートの開催

■帯広市文化賞、帯広市文化奨励賞、帯広市文化活動功労賞の贈呈

など

問23.男女が互いに尊重し合い、個性や能力を発揮できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 性別による固定的な役割分担意識や社会慣行が残っているから
 - ② 仕事と家庭が両立できる環境が整備されていないから
 - ③ 女性の社会参画がすすんでいないから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■男女共同参画セミナーなどの開催

セミナーや講演会の開催などにより、男女共同参画の啓発を行っています。



男女共同参画情報誌「カスタネット」
(市民ボランティアのご協力により、年2回発行)

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

- | | |
|-------------------|--------------------------|
| ■各種審議会等への女性の登用推進 | ■交際相手からの暴力(デートDV)予防講座の開催 |
| ■配偶者等からの暴力被害者への支援 | ■育児・介護休業制度の周知 |
- など

問24.町内会やNPO・ボランティアなどによる地域活動が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 町内会への加入者が減少しているから
 - ② 地域活動の担い手が少ないから
 - ③ コミュニティ施設が利用しにくいから
 - ④ 気軽に地域活動に参加できる機会が少ないから
 - ⑤ その他()

※NPO
「Non Profit Organization」の略称で、様々な社会貢献活動を行い、公益的・非営利活動を行なうことを目的とする団体の総称。

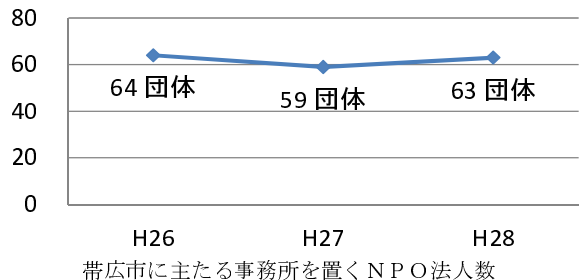
市が取り組んでいる主な仕事

■町内会やNPO、ボランティアへの支援

町内会やNPO、ボランティアなどの自主的な活動を支援しています。



町内会による清掃活動



このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

- | | |
|-----------------------|--------------------------|
| ■町内会への加入促進 | ■「町内会活性化マニュアル」の配布などの意識啓発 |
| ■市民活動団体同士の交流会の開催 | ■市民活動相談窓口の設置 |
| ■地域運営委員会とのコミュニティ施設の管理 | ■市民相互の交流の場の整備 |
- など

問25.健全な財政運営や効果的・効率的な行政運営が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

① 市の財政状況に不安があるから

② 行政運営の効率化がすすんでいないから

③ 事業の効果やコストが分からないから

④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 自主財源の確保

市の印刷物や庁舎内への広告掲載など、自主財源の確保に取り組んでいます。



市役所のロビー広告

取組みの効果額
53,207千円 (H28)

■ 公共施設マネジメントの推進

長期的な視点をもって、公共施設などの長寿命化や施設総量の適正化などに取り組む公共施設マネジメントを推進しています。



平成28年度に策定した「帯広市公共施設マネジメント計画」の概要版

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 市税等の収納率向上対策の実施 ■ 市の財政状況を分かりやすく解説した「帯広市の台所事情」の作成・公表

■ 政策・施策評価の実施 ■ 行政サービスの向上・効率化につながる31項目の取り組み

■ 民間委託等の推進、指定管理者制度の活用 (114施設)

など

※公共施設マネジメント

老朽化が進んでいる公共施設や道路や橋といったインフラを、長期的かつ計画的に、管理・活用するための仕組み。

問26.市民に信頼される行政事務が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

① 事務処理が適切に行われていないから

② 公共施設の管理が適切に行われていないから

③ 個人情報の保護が十分でないから

④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 個人情報保護に関する取り組み

個人情報保護条例などに基づき、情報セキュリティ環境の整備や職員研修などを通じ、個人情報の適正な取扱いを確保しています。

また、個人情報の開示請求などに対応しているほか、市役所5階の情報室において、個人情報取扱事務登録簿を備え、個人情報保護に関する相談を受け付けています。



情報室では庁内外の刊行物も閲覧できます

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 未利用財産の売払いや貸付け ■ 地元企業への優先的な発注

■ 監査等の実施

など

4. 【まちづくりに関するご意見・ご提言】 ※どのような内容でも結構です。
これからのまちづくりについて、ご意見・ご提言があればご記入ください。

Blank area for writing opinions and proposals, consisting of multiple horizontal lines.

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかどうか、もう一度ご確認ください。同封の返信用封筒に入れ、**平成30年5月15日（火）までに**ポストに投函してください。（切手は不要です。）

このアンケートに関して、ご不明な点がありましたら、下記までお問い合わせください。

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1 **帯広市 政策推進部 企画課**
直通TEL：0155-65-4105、FAX：0155-23-0151、e-mail：plan@city.obihiro.hokkaido.jp

平成30年度 市民まちづくりアンケート

1. 【あなたご自身に関すること】について、お聞きします。

問1～4について、あてはまるものを1つ選んで○をつけてください。

問1 あなたの性別は？

1. 男 2. 女

問2 あなたの年齢は？（4月1日現在の年齢で記入してください。）

1. 20歳代 2. 30歳代 3. 40歳代 4. 50歳代 5. 60歳代 6. 70歳以上

問3 あなたの職業は？（パートタイマーを含む）

1. 会社員・店員 2. 商・工・サービス業等の自営業 3. 農・林・漁業 4. 公務員
5. 自由業 6. 主婦 7. 学生 8. 無職・退職 9. その他（ ）

問4 あなたは帯広市にお住まいになってどのくらいになりますか？

1. 1年未満 2. 1年～5年未満 3. 5年～10年未満 4. 10年～20年未満
5. 20年以上

2. 【住みごこち】について、お聞きします。

問5～9について、あてはまるものに○をつけてください。

問5 帯広市の住みごこちについて、どう感じていますか？（1つ選んでください）

1. 住みやすい 2. どちらかといえば住みやすい 3. どちらともいえない
4. どちらかといえば住みにくい 5. 住みにくい

問6 これからも帯広市に住み続けたいと思いますか？（1つ選んでください）

1. 住み続けたい 2. できれば他の市町村に移りたい 3. どちらともいえない



問7へすすむ



問8、9へすすむ



問10へすすむ

問7 問6で「1.住み続けたい」とお答えの方にお聞きします。
その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- | | | |
|------------------|----------------|---------------|
| 1. 広々としているから | 2. 自然に恵まれているから | 3. 気候が好きだから |
| 4. 家族の都合で | 5. 人情が厚く、親切だから | 6. 親戚や知人が多いから |
| 7. 教育上の理由から | 8. まちに魅力があるから | 9. 仕事上の理由から |
| 10. 都市的な便利さがあるから | 11. 生活費が安いから | 12. わからない |
| 13. その他（ | | ） |

問8 問6で「2.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。どこに移りたいですか？（1つ選んでください）

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1. 帯広圏の3町（音更町・芽室町・幕別町） | 2. 十勝管内の町村（帯広圏の3町以外） |
| 3. 札幌市 | 4. 道内他市町村（札幌市及び十勝管内以外） |
| 5. 首都圏（東京都・埼玉県・神奈川県・千葉県） | 6. 中部圏（愛知県） |
| 7. 近畿圏（大阪府・兵庫県・京都府） | 8. 他県（ |
| 9. その他（ | |

問9 問6で「2.できれば他の市町村に移りたい」とお答えの方にお聞きします。その理由は何ですか？（2つまで選んでください）

- | | | |
|----------------------|-------------------|--------------|
| 1. 仕事上の理由から | 2. 家族の都合から | 3. 気候がきれいだから |
| 4. 住宅地が少ないから | 5. 宅地価格が高いから | 6. 教育上の理由から |
| 7. 生活費が高いから | 8. まちに魅力が少ないから | 9. 自然が少ないから |
| 10. 知人や親戚が少ないから | 11. 人情が薄く、不親切だから | |
| 12. 都市的な便利さが不足しているから | 13. 公共サービスの質が低いから | |
| 14. その他（ | | |

3. 【市民実感】について、お聞きします。

- ◆問10～25について、あなたの実感（イメージでもかまいません）に最も近い選択肢を1つ選んで番号に○をつけてください。
- ◆3（あまりそう思わない）と4（そう思わない）を選択した場合は、その理由として最も近い選択肢を1つ選んで記号に○をつけてください。
- ◆「その他」の場合は、（ ）内にその理由をお書きください。

問10.日常生活において、犯罪にあうことなく安心して暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 防犯に関する意識が低いから
 - ② 暗がりや人目につきにくい場所があるから
 - ③ 身近なところで不審者や空き巣などが発生しているから
 - ④ 地域で見守る防犯活動が十分でないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

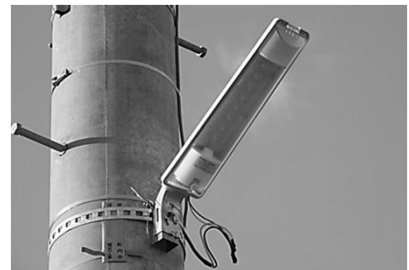
■防犯パトロールの実施

市内の防犯パトロールを実施しています。



■町内会防犯灯の設置支援

町内会による防犯灯の設置を支援しています。



このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■防犯関係団体活動への支援

■ホームページ等による防犯情報の提供

など

問11.各種検診の受診や保健指導などにより、健康に暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 健康づくりに対する関心がないから
 ② 各種検診や健康診査を受診しやすい環境が整っていないから
 ③ 予防接種が受けやすい環境が整っていないから
 ④ 気軽に健康相談できるところがないから
 ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 検診の実施

健康診断やがん・結核・肝炎ウイルス検診では、お子様連れの方のために、「託児つき検診」も実施しています。



託児つきがん検診の様子

■ 予防接種の実施

各種予防接種を実施しています。

		(人)	
四種混合	5,242	水痘	2,239
二種混合	1,053	ヒブ	5,077
ポリオ	140	小児用肺炎球菌	5,192
麻しん・風しん混合	2,517	子宮頸がん予防	1
日本脳炎(標準)	4,990	B C G	1,297
日本脳炎(特例)	1,231	B型肝炎	2,122

平成28年度 予防接種の実績

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■健康相談などの保健指導の実施

■インフルエンザなどの任意の予防接種費用の助成

など

問12.高齢者が地域で生き生きと暮らせる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 社会参加の機会が少ないから
 ② 在宅の福祉サービスが利用しにくいから
 ③ 老人ホームなどの施設が不足しているから
 ④ 高齢者を地域で支える環境が整っていないから
 ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 高齢者バス無料乗車証の交付

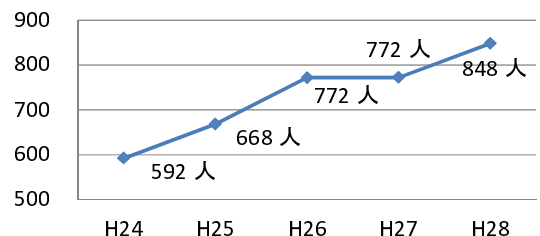
70歳以上の高齢者のバス利用を無償化し、社会参加や健康づくりを支援しています。

年度	交付者数(人)	利用者数(延・人)
H26年度	19,111	981,199
H27年度	20,471	955,020
H28年度	22,148	921,331

高齢者バス無料乗車証の実績

■ 高齢者のための居住施設の整備

老人ホームなどを整備しています。



特別養護老人ホーム(地域密着型)とグループホームの定員数

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■介護予防事業の実施

■ひとり暮らし高齢者の訪問活動の実施

■地域包括支援センターの運営

■高齢者への虐待防止の取り組み

■「きづきネットワーク」など高齢者の見守り体制の強化

など

問13.安心して子どもを生き育てることができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 利用したい保育サービスが受けられないから
 - ② 子育てに関する情報が不足しているから
 - ③ 子育てと仕事を両立できる職場環境が整っていないから
 - ④ 経済的な不安があるから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 保育所での保育の実施

保育所の管理・運営により、安定した保育サービスを提供しています。



■ 育児相談や遊び場の提供

地域子育て支援センターにおいて、育児相談、遊び場の提供などに取り組んでいます。



地域子育て支援センターの様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

- | | |
|-----------------------------|-------------------------|
| ■ 幼稚園の教育環境の充実、保育料・入園料に対する支援 | ■ 妊婦・乳幼児健康診査の実施、訪問指導の実施 |
| ■ 特定不妊治療費の助成・不育症治療費の助成 | ■ 乳幼児等医療費・ひとり親家庭等医療費の助成 |
| ■ 産後ケア事業、産前産後サポート事業の実施 | ■ 「子育てメール通信」の配信 など |

問14.ものづくり産業に活気がある

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 地元の資源を活かした新製品の開発が少ないから
 - ② 地元製品の市場拡大がすすんでいないから
 - ③ 製造業の設備投資、企業立地がすすんでいないから
 - ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 製品開発、販路開拓などの支援

企業などによる新製品の開発や、国内外の販路開拓を支援しています。



地域の原料を使った清涼飲料水



タイでの展示会の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

- | | |
|--------------------------------|-----------|
| ■ (公財) とから財団による研究開発支援 | ■ 企業立地の促進 |
| ■ 知的財産の活用促進をはかるための相談会、セミナー等の実施 | など |

問15.企業が大学などと連携し、新たな製品開発が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 地元の農業者と商工業者等との連携がすすんでいないから
- ② 地元の企業と大学の連携がすすんでいないから
- ③ 新たに開発された地元製品のPRが不足しているから
- ④ 具体的な取り組み内容が分からないから
- ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■産業間の連携支援

事業者と研究機関との連携による製品開発を支援しています。



公的研究機関と企業の共同開発商品

■地場農産物の付加価値向上・販路拡大

十勝産食材を使用した商品のPRや販路拡大を促進しています。



フードバレーとかちのロゴマークがついた商品

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■大学等の研究成果を活用した新たな事業の創出支援

■農業者や企業などの人材交流、人材育成等促進

など

問16.自然や特産物など、地域の魅力を活かした観光振興が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 魅力ある観光地が少ないから
- ② 観光イベントに魅力がないから
- ③ 観光情報の発信やPRが不足しているから
- ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■三大まつり等開催事業

帯広三大まつり（平原まつり、菊まつり、氷まつり）などの開催を支援しています。



平原まつりの様子

■地域イベントへの協力・支援

市民や観光客の参加・交流など、イベント内容の充実により、魅力あるイベントを開催しています。



帯広駅周辺で開催された「とちマルシェ」の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■国内外での観光プロモーションの実施

■幸福駅などの観光拠点の魅力づくり

■物産展の開催、とち物産センターへの支援

■とち観光情報センターの運営

■観光ポスター・パンフレットの作成・配布

など

問17.公園、街路樹などが良好に管理され、身近に緑や花に親しむことができる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

① 身近なところに緑に親しめる公園が少ないから

② 身近なところに緑が少ないから

③ 公園の管理が十分に行われていないから

④ 街路樹の管理が十分に行われていないから

⑤ 緑化に関する意識が低いから

⑥ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■花いっぱい推進事業

フラワー通り整備や花壇コンクールなどを通じ、市民主体による花の植栽などを支援しています。



フラワー通り整備事業の様子

■公園の管理運営・街路樹の維持管理

公園や帯広の森などの維持管理や、街路樹の剪定を行っています。



街路樹の剪定の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■公園・緑地の整備

■帯広の森の整備及び利活用

■家庭用剪定枝の受入

■慶事記念樹贈呈事業の実施

など

問18.快適で住みやすい居住空間が確保されている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。

① 住宅地の価格が高いから

② 住宅や住宅地に関する情報が少ないから

③ 公営住宅を希望しても入れないから

④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■公営住宅の管理・整備

公営住宅の維持修繕や建て替えなどを行い、良好な住環境を提供しています。



平成27年に建て替えた「大空団地 3街区光1号棟」

■住環境の充実にむけた取り組み

住宅の取得や改修費用の一部を助成しています。

平成28年度の主な実績

◎おびひろ住宅づくり奨励金 100件

※ 若年世帯の住宅取得に20万円を助成

◎住まいの改修助成 396件

※ 10万円以上の改修工事に5万円を助成

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■民間事業者による小規模な開発行為に対する支援

■住まいの総合相談窓口の設置

■住まいに関する情報をまとめたパンフレットの作成・配布

■おびひろスマイル住宅補助金

など

問19.幹線道路や生活道路が整備されており、安全に通行できる

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 整備されていない道路があるから
 ② 道路が適切に維持管理されていないから
 ③ 道路や歩道の除雪が十分でないから
 ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 橋りょうの補修

安全な交通を確保するため、橋りょうの補修や点検、長寿命化に取り組んでいます。



橋りょうの補修の様子

■ 市道の除雪

除雪により、安全で円滑な交通の確保に取り組んでいます。



除雪作業の様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 特殊舗装道路の改良、道路側溝の整備

■ 町内会を主体とする「パートナーシップ除排雪」の促進

■ 自転車・歩行者道の利用環境の整備

など

問20.小学校・中学校において充実した教育が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 子どもの学力が低下しているから
 ② 子どもの体力が低下しているから
 ③ 子どもの道徳心が育っていないから
 ④ 教師の指導力が不足しているから
 ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 郷土体験学習や自然体験学習の実施

地元の基幹産業などについて体験的に学ぶ「郷土体験学習」やふるさとの自然について学ぶ「自然体験学習」を行っています。



郷土体験学習（施設見学）の様子

■ いじめや不登校、非行などへの対策

市内の全小中学校の児童会、生徒会の役員が一堂に会して、いじめや非行の防止などについて話し合うことで、「思いやり運動」など各学校の取り組みにつながっています。



合同サミットの様子

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ リーダーとなる教師の育成

■ 地域特性を活かした教材の研究

■ 小・中学校への外国語指導講師の派遣

■ 絆支援事業、学び支援事業の実施

■ 安全・安心な学校給食の提供と食育指導

■ 教師の指導力充実に向けた研修会の開催

など

問21. 大学や専修学校など、高度な教育を受けることができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 大学や短大、資格を取得できる専修学校が少ないから
 - ② 地元の大学などに学びたい分野（学部、学科、コース）がないから
 - ③ 働きながら学ぶことのできる環境が整っていないから
 - ④ 地域産業を支える人材育成の取組みが充実していないから
 - ⑤ 大学などを活用した市民の生涯学習機会が充実していないから
 - ⑥ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 高等教育機関との連携

帯広畜産大学をはじめとする高等教育機関と連携し、地域の発展に必要な人材育成や、教育機関の整備・充実に取り組んでいます。



帯広畜産大学との連携事業

(フードバレーとから人材育成事業ビジネスコースの様子)



帯広畜産大学サテライトブース (おびひろ動物園内)

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ 地域発展に必要な高等教育機関の整備・充実に向けた検討 (とから高等教育推進まちづくり会議の開催)

■ 帯広畜産大学との包括連携協定に基づく各種事業の推進

など

問22. スポーツを楽しむことができる環境が整っている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① スポーツに親しむことができる機会が少ないから
 - ② スポーツ教室・講習会などに魅力がないから
 - ③ スポーツ施設が利用しにくいから
 - ④ 一流選手が出場する大会などが少ないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■ 各種スポーツ教室の開催

水泳やパークゴルフ、スケートなど、各種スポーツ教室を開催しています。



スケート教室

■ スポーツ大会の開催

フードバレーとからマラソンなどのスポーツ大会を開催しています。



フードバレーとからマラソン

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■ スポーツ少年団への支援、指導者育成の支援

■ プロスポーツや全国・全道大会の誘致、開催支援

■ 小・中学校の体育館の地域への開放

■ 体育施設やパークゴルフ場の管理・運営

■ 総合体育館の改築

など

問23.誰もが利用しやすいユニバーサルデザインによるまちづくりが行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 道路や公園、市役所などの公共施設のUD化がすすんでいないから
 - ② 住宅や店舗などの民間施設のUD化がすすんでいないから
 - ③ 市民一人ひとりの思いやりや支え合いの意識が低いから
 - ④ 障害のある人や高齢者などに配慮した行政サービスの提供が行われていないから
 - ⑤ その他()

※ユニバーサルデザイン（UD）
年齢、性別、身体的能力、障害の有無、国籍など、人の持つ様々な違いに関わらず、はじめから、できる限り多くの人にとって利用しやすいように、まち・もの・環境などをつくること。手すりの設置や段差の解消など、社会の中の様々な障害を取り除く「バリアフリー」も含まれます。

市が取り組んでいる主な仕事

■ユニバーサルデザインの意識啓発

幅広い年代を対象とした講座などの開催を通じて、UDの普及・啓発に取り組んでいます。



UD講座や車イス体験の実施

■ユニバーサルデザインに基づく公共施設の整備

誰にでも利用しやすいように、道路や公園、公共施設を整備しています。



段差のない平らな入口（豊成小学校）

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■UD住宅の新築・増改築・改造に対する補助

など

問24.国内や国外の都市と人や文化の交流が活発に行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

- 3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
- ① 国内や国外の各都市との交流が活発でないから
 - ② 国内や国外の各都市との交流に関する内容がよく分からないから
 - ③ 参加したい異文化交流の機会が少ないから
 - ④ 異文化交流の機会を知らないから
 - ⑤ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■国内外の姉妹・友好都市との交流

国内外の姉妹・友好都市（大分県大分市・静岡県松崎町・徳島県徳島市、スワード市・マディソン市（米国）、朝陽市（中国））との交流をすすめています。



徳島市との交流の様子（子ども親善訪問団）



スワード市の氷河にて（高校生相互派遣事業）

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■東京帯広会・関西帯広会との交流

■国際交流員や外国人講師による異文化紹介

■森の交流館・十勝における国際交流イベントの実施

など

問25.十勝管内町村との広域事業や、道内各都市と連携・交流が行われている

1	そう思う
2	ややそう思う
3	あまりそう思わない
4	そう思わない

3または4を選んだ理由を1つ選んで○をつけてください。
 ① 十勝管内町村と連携した事業が少ないから
 ② 十勝管内町村と連携した事業がよく分からないから
 ③ 道内各都市と連携・交流している事例がよく分からな
 いから
 ④ その他()

市が取り組んでいる主な仕事

■管内町村との共同による事業の実施

フードバレーとかちの推進をはじめ、消防業務やごみ処理施設の運営、図書館の広域利用などについて、十勝管内の町村と連携しながら取り組んでいます。



一般廃棄物中間処理施設（くりりんセンター）



とかち広域消防事務組合の運営

このほか、次のような仕事にも取り組んでいます。

■十勝定住自立圏の協定に基づく各種事業の推進（地域医療体制の充実、保育所の広域入所の充実など）

■道内観光地との連携（ルートづくりなど）

■管内町村や道内各都市と連携した国や北海道への要望活動

■道東5空港連携による利用促進

など

4. 【まちづくりに関するご意見・ご提言】 ※どのような内容でも結構です。
これからのまちづくりについて、ご意見・ご提言があればご記入ください。

Blank area for writing opinions and suggestions, consisting of multiple horizontal lines.

アンケートはこれで終了です。ご協力ありがとうございました。

記入漏れがないかどうか、もう一度ご確認ください、同封の返信用封筒に入れ、**平成30年5月15日（火）までに**ポストに投函してください。（切手は不要です。）

このアンケートに関して、ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

〒080-8670 帯広市西5条南7丁目1

帯広市 政策推進部 企画課

直通TEL：0155-65-4105、FAX：0155-23-0151、e-mail：plan@city.obihiro.hokkaido.jp

平成30年度市民まちづくりアンケート

(集計結果)



平成30年8月

帯 広 市

政策推進部 企画課

〒 080-8670

帯広市西5条南7丁目1番地

TEL 0155-65-4105

FAX 0155-23-0151

E-Mail plan@city.obihiro.hokkaido.jp